I-O DATA

ET-FPS1L

109823-01

【本書での呼び方】

呼び方	意味
Windows XP	Microsoft® Windows® XP Professional Operating Systemおよび Microsoft® Windows® XP Home Edition Operating Systemの総称
Windows 2000	Microsoft® Windows® 2000 Professional Operating System
Windows Me	Microsoft® Windows® Millennium Edition Operating System
Windows 98	Microsoft® Windows® 98 Operating Systemおよび Microsoft® Windows® 98 Second Edition Operating Systemの総称
Windows 95	Microsoft® Windows® 95 Operating System
Windows Me/98/95	Windows Me, Windows 98, Windows 95の総称
Windows NT 4.0	Microsoft® Windows NT® Operating System Version 4.0 Workstation
Windows XP/2000 /NT 4.0	Windows XP, Windows 2000, Windows NT 4.0の総称
Windows 2000/Me/98/ 95/NT 4.0	Windows 2000, Windows Me, Windows 98, Windows 95, Windows NT 4.0の総称
Windows	Windows XP, Windows 2000, Windows Me, Windows 98, Windows 95, Windows NT 4.0の総称
Mac OS X	Mac OS 10.1 ～ 10.1.2の総称
Mac OS（Classic）	Mac OS 7.6 ～ 9.2.2の総称
Mac OS	Mac OS（Classic）, Mac OS Xの総称
EtherTalk	Ethernet上で利用可能なAppleTalk

【ご注意】

1) 本製品および本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品および本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
3) 本製品及び本書の内容について、不審な点やお気づきの点がございましたら、弊社PLANTコールセンターまでご連絡ください。
4) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。
5) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資等輸出規制製品に該当する場合があります。国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
6) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関る設備や機器、及び海底中継機、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
7) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan.　We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
8) お客様は、本製品または、その使用権を第三者に対する再使用許諾、譲渡、移転またはその他の処分を行うことはできません。
9) 弊社は、お客様が【ご注意】の諸条件のいずれかに違反されたときは、いつでも本製品のご使用を終了させることができるものとします。

- I-O DATA,PLANTは、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
- Microsoft,Windows,Windows NTは、米国 Microsoft Corporationの登録商標です。
- Apple,Macintosh,Power Macintosh,PowerBook,Mac,AppleTalk,EtherTalk,Mac OSロゴおよびその標章は、米国Apple　Computer,Inc.の登録商標です。
- iMac,iBookは、米国Apple Computer,Inc.の商標です。
- その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

もくじ

もくじ ····· 1
必ずお守りください····· 4
本製品の特長 ····· 7
本書の読みかた····· 8

1 使う前に

箱の中を確認する ····· 10
対応している機種とOS ····· 11
各部の名称・機能を確認する ····· 14

2 設置する

1．設置前に確認する ····· 18
2．ネットワーク形態を選ぶ ····· 22
3．プリンタにつなぐ ····· 26
4．テスト印刷する ····· 31

3 設定用パソコンの環境設定

1．IPアドレスを設定する ····· 34
2．Webブラウザを設定する ····· 48
3．設定画面を起動する ····· 55

4 Windows XP/2000/NT 4.0 から印刷する

TCP/IP での印刷(LPR) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・58

5 Windows Me/98/95 から印刷する

SMB での印刷 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・82

6 Mac OS X から印刷する

TCP/IP での印刷(LPR) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・92
EtherTalk での印刷 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・97

7 Mac OS(Classic)から印刷する

AppleTalk が使用できることを確認する ・・・・・・・・・102
PostScript プリンタへの印刷 ・・・・・・・・・・・・・・・・・103
キヤノン製プリンタへの印刷例 ・・・・・・・・・・・・・・・・104
エプソン製プリンタへの印刷例 ・・・・・・・・・・・・・・・・107

8 インターネット経由で 印刷する

IPP 印刷 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・112

9 他の設定をする

設定画面の起動 ……126
設定内容の概要 ……127
基本的な変更手順 ……129
［TCP/IP］の設定 ……132
［EtherTalk］の設定 ……136
［SMB］の設定 ……142
［SNMP］の設定 ……146
［ROM バージョン］の確認……147
［イーサネットステータス］の設定 ……148
［パラレルポート］の設定 ……149
［エラーコード］の確認 ……151
［印刷バッファクリア］ ……152
［プリントサーバリセット］ ……153
［プリンタステータス］ ……154
［ブートディレイ］の設定 ……155
［パスワード変更］ ……156
ファームウェアのアップデート ……157

付録

困った時には ……162
用語集 ……170
テスト印刷仕様 ……175
工場出荷時設定 ……180
仕様 ……183

PLANTコールセンターへのお問い合わせ …… 184
ファームウェアのバージョンアップ …… 185
修理について …… 186
お問い合わせ時にお知らせいただく事項 …… 188

必ずお守りください

ここでは、お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。
ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。
弊社の本製品以外の製品全般についての内容も記載しています。

■警告及び注意表示

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人体に多大な損傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性又は物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵記号の意味

△

この記号は注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。
例）　「発火注意」を表す絵表示

⃠

この記号は禁止の行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。
例）　「分解禁止」を表す絵表示

●

この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。
例）　「電源プラグを抜く」を表す絵表示

⚠ 警告



本製品を使用する場合は、ご使用のパソコンや周辺機器のメーカーが指示している警告、注意表示を厳守してください。



本製品をご自分で修理・分解・改造しないでください。

火災や感電、やけど、故障の原因になります。
修理は弊社修理係にご依頼ください。分解したり、改造した場合、保証期間であっても有償修理となる場合があります。



煙が出たり、変な臭いや音がしたら、すぐに使用を中止してください。



本製品を接続する場合は、必ず本書で接続方法をご確認になり、以下のことをご注意ください。

- ケーブルにものをのせたり、引っ張ったり、折り曲げ・押しつけ・加工などは行わないでください。火災や故障の原因となります。
- 接続するコネクタやケーブルを間違えると、パソコン本体やケーブルから発煙したり火災の原因となることがあります。
- 給電されているLANケーブルは絶対に接続しないでください。給電されているLANケーブルを接続した場合には発煙したり、火災の原因となることがあります。

⚠注意



本製品を使用中に誤った操作をしてデータが消失した場合でも、データの保証は一切いたしかねます。

故障に備えて定期的にバックアップをお取りください。



本製品は以下のような場所(環境)で保管・使用しないでください。

故障の原因となることがあります。

- ●振動や衝撃の加わる場所
- ●直射日光のあたる場所
- ●湿気やホコリが多い場所
- ●温湿度差の激しい場所
- ●熱の発生する物の近く（ストーブ、ヒータなど）
- ●強い磁力電波の発生する物の近く
  （磁石、ディスプレイ、スピーカ、ラジオ、無線機など）
- ●水気の多い場所（台所、浴室など）
- ●傾いた場所
- ●腐食性ガス雰囲気中（Cl_2、H_2S、NH_3、SO_2、NO_Xなど）
- ●静電気の影響の強い場所
- ●保温性・保湿性の高い（じゅうたん・カーペット・スポンジ・ダンボール箱・発泡スチロールなど）場所での使用（保管は構いません）



本製品は精密部品です。以下のことにご注意ください。

- ●落としたり、衝撃を加えない
- ●本製品の上に水などの液体や、クリップなどの小部品を置かない
- ●重いものを上にのせない
- ●そばで飲食・喫煙などをしない
- ●本製品内部に液体、金属、たばこの煙などの異物を入れない



本製品は情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づく製品です。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

本製品の特長

■コンパクト設計

・プリンタポートへ直結タイプ
・ACアダプタも小型・軽量（スイッチング電源採用）

■カンタンWebブラウザ設定・ソフトレス設計

・ブラウザ設定対応で設定するパソコンのOSを選びません
Windows: Internet Explorer 4.0以上
Macintosh: Internet Explorer 5.0以上
・OS標準機能のみで印刷が可能、専用プログラムのインストールの必要はありません(LPR,SMB,EtherTalk,IPP)

■インターネット経由での印刷に対応

・IPP(Internet Printing Protocol)に対応しているので遠隔地のパソコンからインターネット経由による印刷が可能です

■Macintoshから非PostScriptプリンタへ印刷可能

・EtherTalk対応プリンタドライバがあれば、Macintoshから非PostScriptプリンタへの印刷が可能です

■TESTスイッチによるイージー・メンテナンス

・本体のテストスイッチ押すだけで、現在のプリントサーバの状態と設定値を印刷することができるので管理が簡単に行えます
・テストスイッチの印刷が行えるかどうかでネットワーク障害かプリンタ障害かの切り分けが簡単に行えます

■100BASE-TX Fast Ethernet（IEEE802.3u）対応

・大量データの転送に耐えられる100BASE-TX Fast Ethernetに対応しています

本書の読みかた

本製品を使用するには、本製品を設定する必要があります。
もくじの *1*～*3* を順にお読みになると設定パソコンの準備が完了します。
準備ができたら、もくじの *4*～*8* のうちお使いのOSに合った個所を
お読みになれば、印刷できます。

設定準備するときに読む

1 ***使う前に***
内容物や動作環境などを確認します。

▼

2 ***設置する***
本製品を設置します。

▼

3 ***設定用パソコンの環境設定***
本製品を設定するためのパソコンを設定します。

設定と印刷するときに読む

お使いの環境（OS）をご確認ください。

4 *Windows XP/2000/NT 4.0から印刷する*

5 *Windows Me/98/95から印刷する*

6 *Mac OS Xから印刷する*

7 *Mac OS（Classic）から印刷する*

8 *インターネット経由で印刷する*

1 使う前に

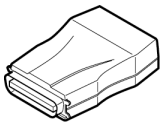
箱の中を確認する …… 10
対応している機種とOS …… 11
各部の名称・機能を確認する …… 14

箱の中を確認する

ご使用の前に以下のものがそろっていることをご確認ください。
万一、不足品がありましたら、弊社PLANTコールセンターまでお知らせください。

箱・梱包材は大切に保管し、修理などの輸送の際にご利用ください。

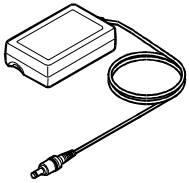
☐ 本製品（1台）



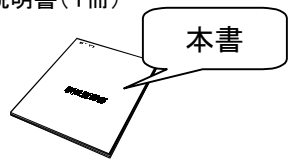
☐ ハードウェア保証書（1枚）



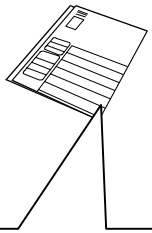
☐ 専用ACアダプタ（1個）



☑ 取扱説明書（1冊）



☐ ユーザー登録カード（1枚）

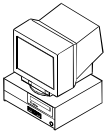


ユーザー登録はお済みですか？
「ユーザー登録カード」に登録方法が記載されています。
登録してから次ページへ進みましょう。

対応している機種とOS

本製品の設定に必要な環境

本製品を使用するには、以下の環境の設定用パソコンで設定する必要があります。
（設定は本製品の管理者のみが行ってください。）



●LANアダプタを搭載し、TCP/IPが正常に動作するパソコンで、Webブラウザがインストールされた下記の環境

サポート対象環境

パソコン	NEC PC98-NX シリーズ DOS/V マシン NEC PC-9800 シリーズ PowerPC を搭載した Apple Macintosh シリーズ
OS （日本語版）	Windows XP（NEC PC-9800 シリーズを除く） Windows 2000 Windows Me（NEC PC-9800 シリーズを除く） Windows 98（Second Edition 含む） Windows 95 Windows NT 4.0（SP3 以上） Mac OS X 10.1～10.1.2 Mac OS 7.6～9.2.2
LAN環境	LAN アダプタが正常に動作し、TCP/IP が利用できること
Webブラウザ	Windows：Internet Explorer 4.0 以上 Mac OS：Internet Explorer 5.0 以上

印刷できるパソコン

サポート対象環境

下記（*1*～*4*）のいずれかの組み合わせで印刷できます。

1

パソコン	NEC PC98-NX シリーズ DOS/V マシン NEC PC-9800 シリーズ
OS （日本語版）	Windows XP（NEC PC-9800 シリーズを除く） Windows 2000 Windows NT 4.0
LAN環境	LAN アダプタが正常に動作し、TCP/IP が利用できること

2

パソコン	NEC PC98-NX シリーズ DOS/V マシン NEC PC-9800 シリーズ
OS （日本語版）	Windows Me（NEC PC-9800 シリーズを除く） Windows 98(Second Edition 含む） Windows 95
LAN環境	LAN アダプタが正常に動作し、TCP/IP または NetBEUI が利用できること

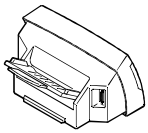
3

パソコン	G3 プロセッサ以上の PowerPC を搭載した Apple Macintosh シリーズ
OS （日本語版）	Mac OS X 10.1～10.1.2
LAN環境	LAN アダプタが正常に動作し、Ethernet 上で TCP/IP または AppleTalk が利用できること （EtherTalk が利用できること）

4

パソコン	Apple Macintosh シリーズ
OS （日本語版）	Mac OS 7.6～9.2.2
LAN環境	LAN アダプタが正常に動作し、Ethernet 上で AppleTalk が利用できること （EtherTalk が利用できること）

本製品を接続できるプリンタ



IEEE1284 準拠 アンフェノール 36 ピン
パラレルポートを持つプリンタ

注意！

- **Microsoft Windows Printing System(WPS)専用のプリンタは、仕様上本製品でのご利用はできません。**
- **プリンタメーカーが独自に採用しているプリンティングシステムには対応していない場合があります。**
- **Macintosh から非 PostScript プリンタへ印刷する場合はプリンタメーカが供給する EtherTalk 対応プリンタドライバが必要です。**
- **通常、本製品はプリンタに直結できますが、プリンタのコネクタ付近の形状により直結できない場合があります。その場合は、別途オプションケーブル「P36PS-0.3」(30cm)をご購入ください。**

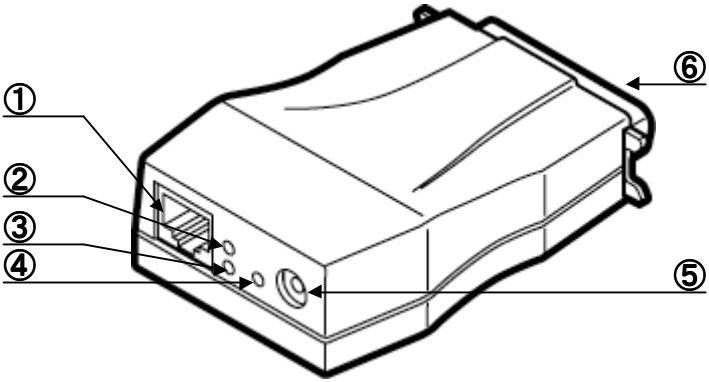
本製品の対応プロトコル

対応プロトコル	TCP/IP NetBEUI EtherTalk(Ethernet 上で利用可能な AppleTalk)

注意！

NetBEUI のサポート対象 OS は、Windows Me/98/95 のみです。

各部の名称・機能を確認する



No	名称	意味
①	ネットワーク コネクタ	10BASE-T/100BASE-TX用ネットワークケーブルを接続します。
②	[STATUS] ランプ	現在の状態表示用のランプです。 （詳しくは次ページをご覧ください。）
③	[LINK] ランプ	ネットワーク状態表示用のランプです。 （詳しくは次ページをご覧ください。）
④	[TEST] ボタン	テスト印字を行う場合や工場出荷時の設定に戻すボタンです。（詳しくは【4. テスト印刷する】(31ページ)をご覧ください。）
⑤	[DC-IN] コネクタ	付属の専用ACアダプタを接続します。
⑥	プリンタコネクタ	プリンタのプリンタポートに接続します。 プリンタのコネクタ付近の形状によっては直結できない場合があります。その場合は、オプションケーブル「P36PS-0.3」をお買い求めください。

本体の状況に応じて下表のように点灯、点滅します。

ランプ / 状態	[STATUS](橙色)	[LINK](緑色)
電源 ON 時	点灯→消灯	点灯→消灯
起動中	-	点滅
通常時(LINK)	パケット受信で点滅	点灯
通常時(非 LINK)	-	点滅
ステータス印刷中	点滅	点滅
設定初期化中	点滅(ゆっくり)	点滅(ゆっくり)
エラー時	点灯	点灯
バージョンアップ中	消灯→点灯(交互)	消灯→点灯(交互)
パラレルネゴシエーション失敗時	3 秒に 1 回消灯	3 秒に 1 回消灯



注意！

・プリンタとの接続確認時にエラーとなった場合(パラレルネゴシエーション失敗時)は、印刷できません。Parallel Support Mode が ECP/Nibble に固定されている場合は、ご使用のプリンタが、ECP/Nibble をサポートしているかどうか、本製品のモードと一致しているかをご確認ください。

・ファームウェアのバージョンアップ時に、パケットを受信した場合は[STATUS]ランプが点滅して上記の表と異なる動作に見える場合がありますが、本製品の仕様ですので問題はありません。

MEMO

2 設置する

1. 設置前に確認する ····· 18
2. ネットワーク形態を選ぶ····· 22
3. プリンタにつなぐ ····· 26
4. テスト印刷する····· 31

1. 設置前に確認する

ここでは、ネットワーク内に本製品と同一の IP アドレスが存在しないことを確認します。

確認方法：パソコンの PING コマンドでの確認



注意！

・[PING]コマンドを実行する（本製品を使用する場合も含む）には、ネットワークを構成するすべてのパソコンに TCP/IP がインストールされている必要があります。TCP/IP のインストール方法その他詳細については、LAN アダプタの取扱説明書を参照してください。

・ネットワークが Mac OS(Classic)のみで構成されている場合は、各 Macintosh の TCP/IP コントロールパネルで“192.168.0.100”が設定されていないことをご確認ください。Mac OS X の場合は、【Mac OS X の場合】（20 ページ）をご覧ください。

Windowsの場合

1 設定用パソコンの電源を入れます。

2 [コマンドプロンプト]（MS-DOSプロンプト）を起動します。

・*Windows XPの場合*

[スタート]→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[コマンドプロンプト]をクリックします。

・*Windows 2000の場合*

[スタート]→[プログラム]→[アクセサリ]→[コマンドプロンプト]をクリックします。

・*Windows Meの場合*

[スタート]→[プログラム]→[アクセサリ]→[MS-DOSプロンプト]をクリックします。

・*Windows 98/95の場合*

[スタート]→[プログラム]→[MS-DOSプロンプト]をクリックします。

・*Windows NT 4.0の場合*

[スタート]→[プログラム]→[コマンドプロンプト]をクリックします。

3 PING 192.168.0.100　　と入力し、[Enter]キーを押します。

```
C:¥>PING 192.168.0.100
```

4 [Request timed out]や[Destination host unreachable]などと表示された場合は、そのまま【ネットワーク形態を選ぶ】(22ページ)へお進みください。

```
Pinging 192.168.0.100 with 32 bytes of data:

Request timed out.
Request timed out.
Request timed out.
Request timed out.

Ping statistics for 192.168.0.100:
    Packets: Sent = 4, Received = 0, Lost = 4 (100% loss),
Approximate round trip times in milli-seconds:
    Minimum = 0ms, Maximum =  0ms, Average =  0ms
```

[Reply from 192.168.0.100 …]と表示される場合…

⇒本製品と同一のIPアドレスを持つネットワーク機器が存在します。
“192.168.0.100”のIPアドレスに設定されているネットワーク機器のIPアドレスを変更するか、取り外してください。
（詳しくは、ネットワーク管理者へご相談ください。）

Mac OS Xの場合

1 [Macintosh HD]→[Applications]→[Utilities]→[Network Utility]をダブルクリックします。

2 確認作業を行います。

①[Ping]タブをクリックします。

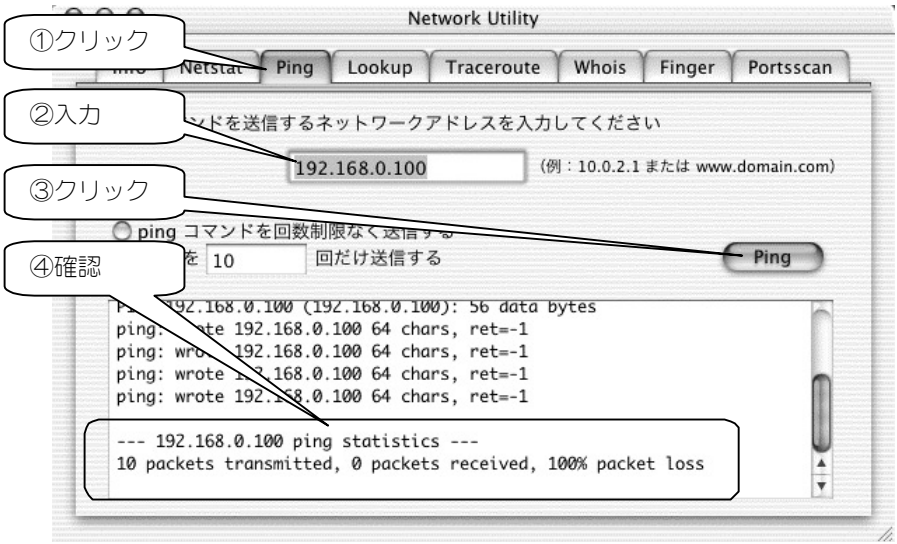
②[192.168.0.100]※を入力します。

③[Ping]ボタンをクリックします。

④下記のように表示されることを確認します。

```
--- 192.168.0.100 ping statistics ---
10 packets transmitted, 0 packets received, 100% packet loss
```

※本製品の工場出荷時IPアドレスです。



[64 bytes from 192.168.0.100: icmp_seq=x ttl=255 time=x.x ms]（x部分は場合によって異なります）と表示される場合…

⇒本製品と同一のIPアドレスを持つネットワーク機器が存在します。

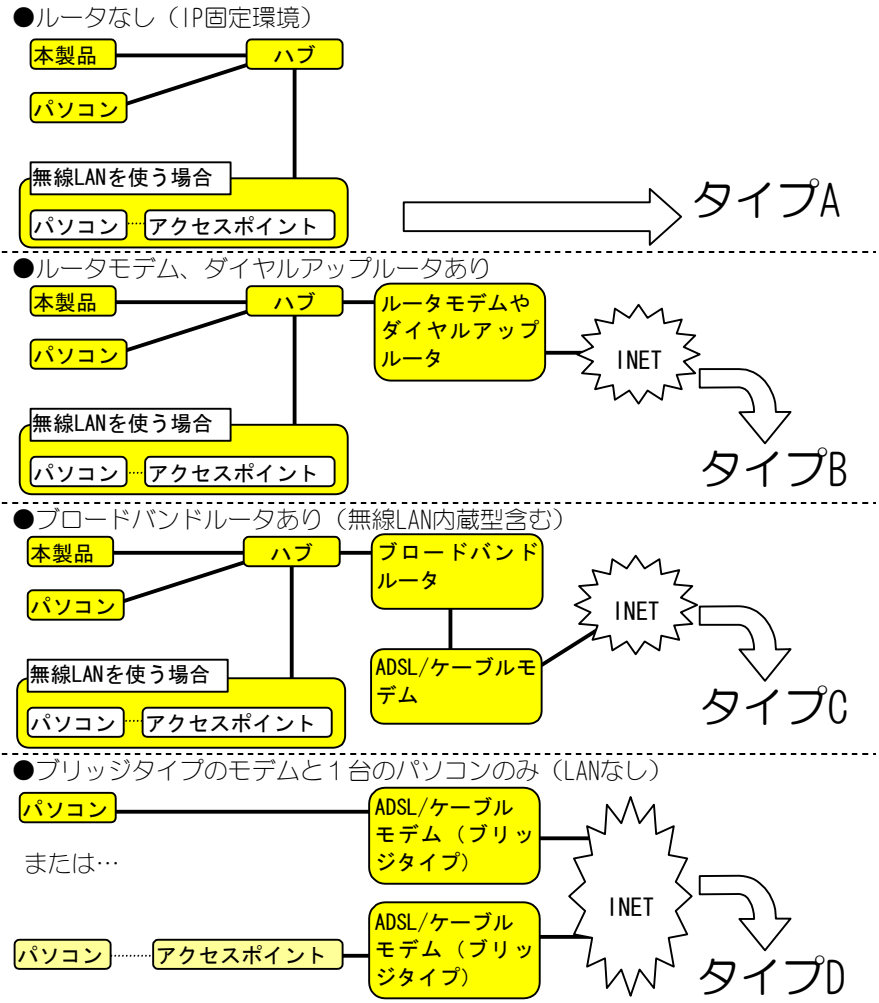
“192.168.0.100”のIPアドレスに設定されているネットワーク機器のIPアドレスを変更するか、取り外してください。

（詳しくは、ネットワーク管理者へご相談ください。）

2. ネットワーク形態を選ぶ

お使いのネットワークの形態によって、設定方法が異なります。
ネットワークのタイプを選びましょう。

お使いのネットワーク形態は？



ネットワークの形態が分かったら、下記にしたがってください。

お使いのタイプの手順にしたがって設定する

タイプA

本製品と設定用パソコンのみを接続した状態にして、
【3．プリンタにつなぐ】（26ページ）へお進みください。

タイプB

⇒次ページをご覧になり、設定用パソコンのIPアドレスを確認してください。

タイプC

⇒次ページをご覧になり、設定用パソコンのIPアドレスを確認してください。

タイプD

⇒本製品は導入できません。別途ブロードバンドルータを導入してタイプC
の環境にする必要があります。

IPアドレスを確認する（タイプB、タイプCのみ）

タイプ B、タイプ C の場合は各 OS 毎での以下および次ページの手順にしたがって、［IP アドレス］と［サブネットマスク］を確認してください。

IPアドレス	→ 192.168.0.xxx （xxxは100以外の数）
サブネットマスク	→ 255.255.255.0
確認結果が上記の場合は、【3．プリンタにつなぐ】へお進みください。	
確認結果が、上記以外の場合は、本製品と設定用パソコンのみで設定を行います。本製品と設定用パソコンのみを接続した状態にして、【3．プリンタにつなぐ】へお進みください。	

・Windows XPでの確認方法

1 ［スタート］→［すべてのプログラム］→［アクセサリ］→［コマンドプロンプト］をクリックします。

2 IPCONFIG と入力し、［ENTER］キーを押します。

3 表示されたIPアドレス、サブネットマスクを確認してください。

・Windows 2000での確認方法

1 ［スタート］→［プログラム］→［アクセサリ］→［コマンドプロンプト］をクリックします。

2 IPCONFIG と入力し、［ENTER］キーを押します。

3 表示されたIPアドレス、サブネットマスクを確認してください。

・Windows Me/98/95での確認方法

1 [スタート]→[ファイル名を指定して実行]をクリックします。

2 [名前]に WINIPCFG を入力し、[OK]ボタンをクリックします。

3 お使いのLANアダプタを選択し、表示されたIPアドレス、サブネットマスクを確認してください。

・Mac OS（Classic）での確認方法

1 [アップルメニュー]→[コントロールパネル]内の[TCP/IP]をクリックします。

2 [経由先：]でお使いのLANアダプタを選択します。

3 表示された[IPアドレス][サブネットマスク]を確認してください。

・Mac OS Xでの確認方法

1 [アップルメニュー]→[場所]→[ネットワーク環境設定]をクリックします。

2 [表示：]でお使いのLANアダプタを選択します。

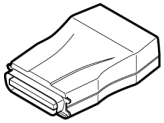
3 表示された[IPアドレス][サブネットマスク]を確認してください。

3. プリンタにつなぐ

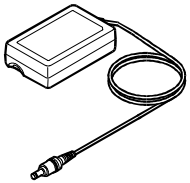
本製品をプリンタに接続し、設定用パソコンとも接続します。

用意するもの

■本製品



■ACアダプタ



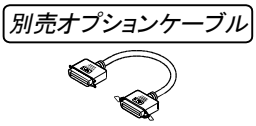
注意！

AC アダプタは必ず添付のものをご使用ください。添付のもの以外を使用すると故障の原因となります。

・プリンタ

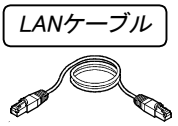
本製品とプリンタは、通常直接接続しますが、プリンタのコネクタの形状により直結できない場合は、別途弊社製オプションケーブル『P36PS-0.3』をご購入ください。





・LANケーブルおよびハブ

LANケーブルで本製品とハブ（あるいはパソコン）を接続します。ハブに接続する場合は、LANストレートケーブルを、パソコンと直接接続する場合は、LANクロスケーブルをご用意ください。



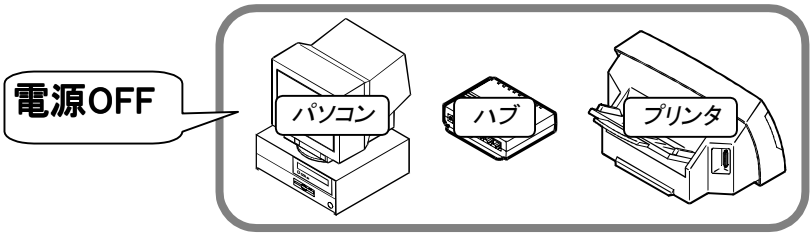


接続する

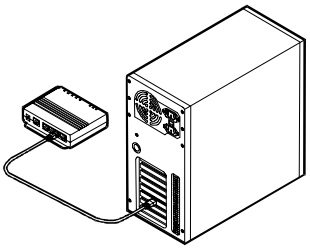
注意！

本製品をプリンタに接続する際は、プリンタの電源を切っておいてください。

1 パソコン、ハブ、プリンタの電源を切ります。



2 パソコンとハブを接続しておきます。本製品を利用するパソコンが複数台ある場合はすべてのパソコンを接続しておきます。



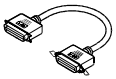
注意！

タイプBやCの場合で、確認したIPアドレスやサブネットマスクが下記の場合は、設定用のパソコンのみを接続してください。

IPアドレス→ 192.168.0.xxx （xxxは100以外の数）
サブネットマスク → 255.255.255.0

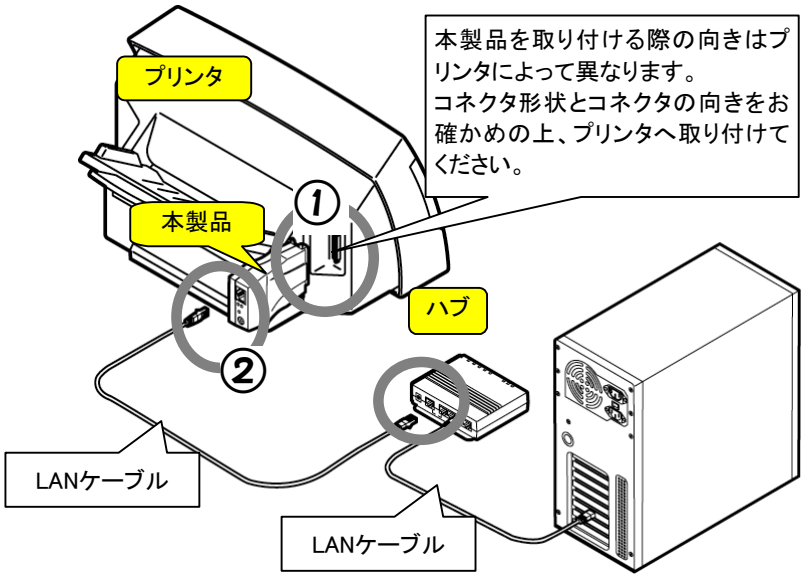
3 本製品をプリンタに接続します。

※プリンタのコネクタ付近の形状によって直結できない場合は、
オプションケーブル「P36PS-0.3」をご購入ください。



P36PS-0.3

LANケーブルで本製品とハブを接続します。



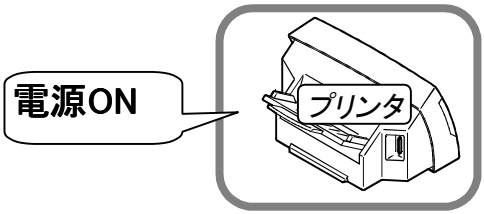
注意！

・[LAN ケーブルについて]

①本製品とハブを接続する LAN ケーブルは、カテゴリ 5 の UTP(または STP)のストレートケーブルをご使用ください。
本製品とパソコンを直接接続する場合は、クロスケーブルをご使用ください。

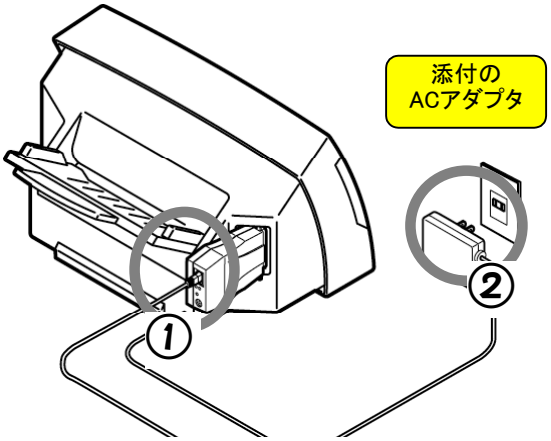
②LANケーブル（RJ-45）は、ISDN機器（S/T点）に差し込まないでください。
差し込むと故障の原因となります。

4 プリンタの電源を入れます。



5 添付のACアダプタを接続し、電源コンセントに接続します。

※電源コンセントに接続すると本製品の電源が入りますので、以下のランプ表示をご確認ください。



電源を入れた後の本製品のランプ表示

電源を入れると以下の順にランプ表示を行います。

①数秒後、LINK(緑色)、STATUS(橙色)ともに点灯

②一度すべて消灯

③LINK(緑色)点灯、STATUS(橙色)はパケット受信で点滅

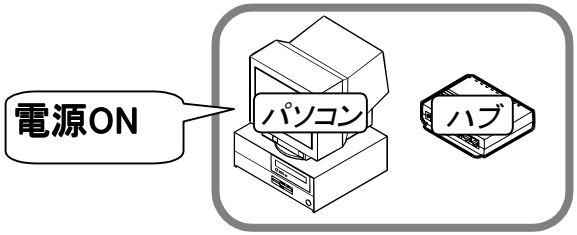
電源投入時の点灯・点滅が不規則な場合は、製品に問題があります。
弊社PLANTコールセンターまでお問い合わせください。(184ページ参照)



注意！

本製品に電源を入れてから、ランプが①の状態になるまでに数秒かかりますが、本製品の仕様であり、故障ではありません。

6 すべてのパソコンおよびハブの電源を入れます。



以上で接続は終了です。次ページへお進みください。

4. テスト印刷する

本製品はネットワーク設定を行っていなくても、本製品とプリンタのみでテスト印刷を行うことができます。
この機能により印刷が行えない場合、プリンタまたは本製品の問題か、ネットワークの問題かといった障害に対する原因の切り分けが簡単に行えます。
まずは本製品とプリンタのみでテスト印刷をしましょう。

参考

・本製品のテスト印字機能は、本製品の現在の設定をプリンタに印字します。
・テスト印字では、A4 サイズ固定で印字されます。

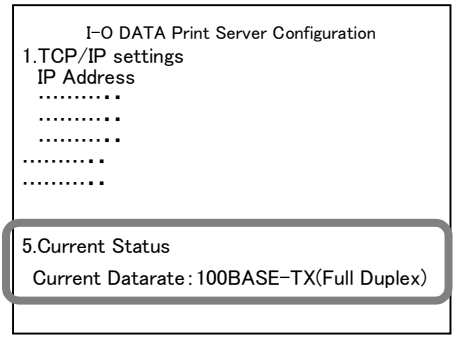
1 本製品とプリンタが接続され、本製品およびプリンタの電源が入っていることを確認します。

2 [LINK]ランプと[STATUS]ランプが点灯し、印刷されるまで[TEST]ボタンを押します。
→しばらくすると、プリンタから本製品の現在の設定を印刷した用紙が出力されます。

3 印刷された内容の[5. Current Status]欄の[Current Datarate]の状態を確認してください。

(正常な場合)
Current Datarate:
100BASE-TX(Full Duplex)
※100BASE-TX Full Duplexで接続した場合の例

(エラーの場合)
Current Datarate:No Link



注意！

テスト印刷を行った際、1 行目に文字が重なって印刷されますが、異常ではありません。
また、この現象はテスト印刷を行ったときのみです。

次に、【設定用パソコンの環境設定】33ページへお進みください。

MEMO

3 設定用パソコンの環境設定

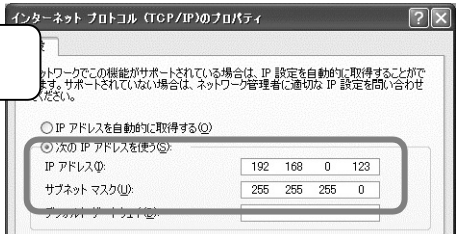
1. IPアドレスを設定する ····· 34
2. Webブラウザを設定する ····· 48
3. 設定画面を起動する ····· 55

1. IPアドレスを設定する

本製品を使用するには本製品の設定が必要です。本製品を設定するパソコン（**設定用パソコン**）のIPアドレスを設定する必要があります。

IP アドレスを設定

Windows XPでの
IPアドレス設定画面例



以下の手順で設定してください。

1 設定用パソコンの電源を入れます。

2 設定用パソコンのIPアドレスの設定を行います。
設定はご使用のOSによって異なります。以下の該当する個所へお進みください。

- Windows XPをお使いの場合 → 次ページを参照してください。
- Windows 2000をお使いの場合 → 38ページを参照してください。
- Windows Me/98/95をお使いの場合 → 41ページを参照してください。
- Windows NT 4.0をお使いの場合 → 43ページを参照してください。
- Mac OS Xをお使いの場合 → 45ページを参照してください。
- Mac OS（Classic）をお使いの場合 → 47ページを参照してください。

Windows XP

1 管理者権限でWindows XPにログオンします。

2 [スタートボタン]をクリックし、現れたスタートメニューの中にある[コントロール パネル]をクリックします。



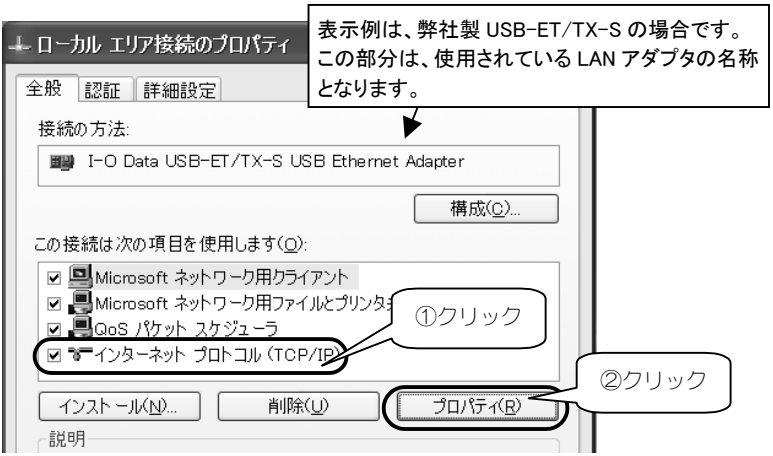
3 [ネットワークとインターネット接続]をクリックし、開いたウィンドウの中にある[ネットワーク接続]をクリックします。



4 [ローカルエリア接続]を右クリックし、メニュー内の[プロパティ]をクリックします。



5 [インターネットプロトコル（TCP/IP）]をクリックし、[プロパティ]ボタンをクリックします。

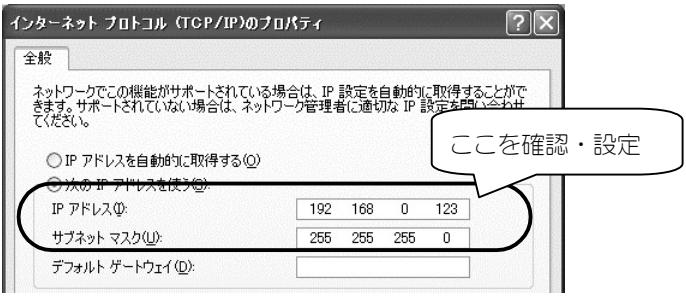


6 設定用パソコンのIPアドレスを確認・設定します。

設定用パソコンで本製品を設定するには、
設定用パソコンのIPアドレスが下記を
満たしている必要があります。

本製品のIPアドレス
192.168.0 . 100
①　②
（出荷時）

①が“192.168.0”である
（本製品のIPアドレスと同じクラスである）
②が“100”と異なる数である
（別のIPアドレスである）



「IP アドレスを自動的に取得する」に設定している場合

別のクラスの IP アドレス
（「172. xxx. xxx. xxx」など）

本製品と同じ IP アドレス
（「192. 168. 0. 100」）
に設定している場合

一時的に、パソコンの IP アドレスを「192.168.0.123」などの同じクラスで、かつ、別の IP アドレスに変更し［OK］ボタンをクリック後、すべての画面を閉じてパソコンを一度、再起動してください。

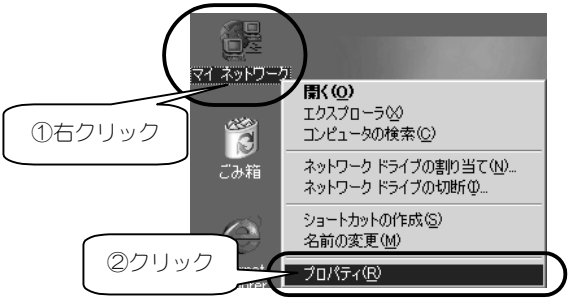
※パソコンのこの設定は、一時的な設定です。本製品のすべての設定が終了した後に、ご利用環境に合わせて再度設定し直してください。

確認・設定後、【2. Webブラウザを設定する】(48ページ)へお進みください。

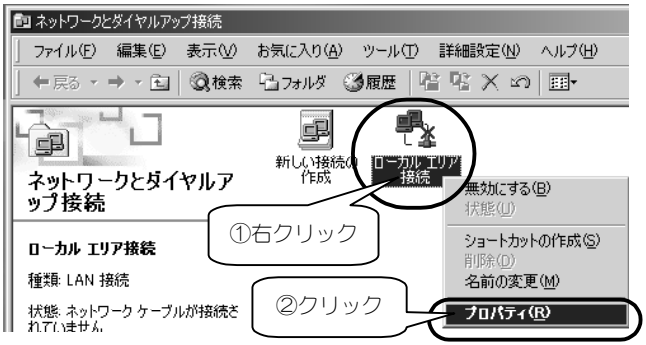
Windows 2000

1 Administrator権限でWindows 2000にログオンします。

2 [マイ ネットワーク]を右クリックし、
メニュー内の[プロパティ]をクリックします。



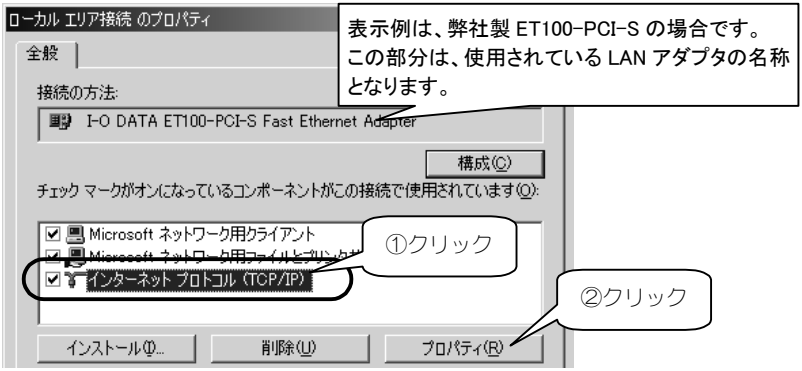
3 [ローカルエリア接続]を右クリックし、メニュー内の
[プロパティ]をクリックします。



注意！

[ローカルエリア接続]が表示されない場合は、LAN アダプタの設定が正しく行われていません。ご使用の LAN アダプタメーカーへお問い合わせください。

4 [インターネットプロトコル（TCP/IP）]をクリックし、[プロパティ]ボタンをクリックします。



参考

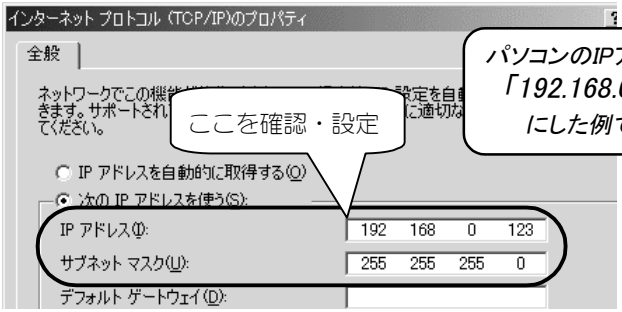
上記の表示以外に[NetBEUI プロトコル]など他のクライアントやプロトコルおよびサービスなどが表示されていても問題ありません。

5 設定用パソコンのIPアドレスを確認・設定します。

設定用パソコンで本製品を設定するには、
設定用パソコンのIPアドレスが下記を
満たしている必要があります。

本製品のIPアドレス
192.168.0 . 100
①　②
（出荷時）

①が“192.168.0”である
（本製品のIPアドレスと同じクラスである）
②が“100”と異なる数である
（別のIPアドレスである）



パソコンのIPアドレスを「192.168.0.123」にした例です。

「IP アドレスを自動的に取得する」に設定している場合

別のクラスの IP アドレス
（「172. xxx. xxx. xxx」など）

本製品と同じ IP アドレス
（「192. 168. 0. 100」）
に設定している場合

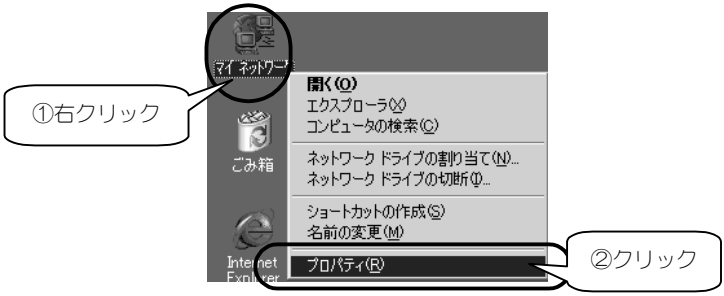
パソコンの IP アドレスを一時的に、
「192.168.0.123」などの
同じクラスで、かつ、別の IP アドレスに
変更し［OK］ボタンをクリック後、すべての画面を閉じてパソコンを一度、再起動してください。

※パソコンのこの設定は、一時的な設定です。本製品のすべての設定が終了した後に、ご利用環境に合わせて再度設定し直してください。

確認・設定後、【2. Webブラウザを設定する】(48ページ)へお進みください。

Windows Me/98/95

1 [マイ ネットワーク]（ネットワークコンピュータ）を右クリックして、[プロパティ]をクリックします。



2 [TCP/IP]をクリックし、[プロパティ]ボタンをクリックします。

※アダプタが複数ある場合は、[TCP/IP－>xxxxxxxx]をダブルクリックします。（xxxxxxxxはLANアダプタのデバイス名の名称です。）



参考

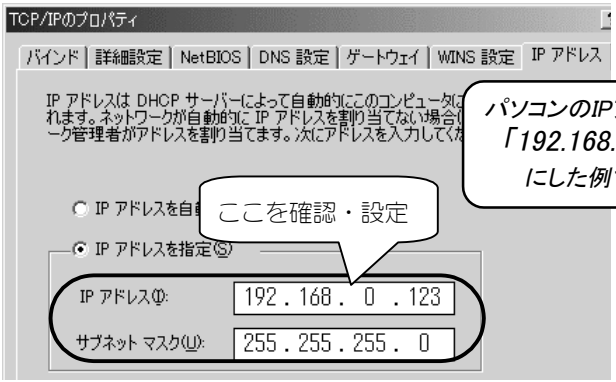
上記の表示以外に[NetBEUI]など他のクライアントやプロトコルおよびサービスなどが表示されていても問題ありません。

3 設定用パソコンのIPアドレスを確認・設定します。

設定用パソコンで本製品を設定するには、
設定用パソコンのIPアドレスが下記を
満たしている必要があります。

本製品のIPアドレス
192.168.0 . 100
①　②
（出荷時）

①が“192.168.0”である
（本製品のIPアドレスと同じクラスである）
②が“100”と異なる数である
（別のIPアドレスである）



パソコンのIPアドレスを「192.168.0.123」にした例です。

「IP アドレスを自動的に取得する」に設定している場合

別のクラスの IP アドレス
（「172. xxx. xxx. xxx」など）

本製品と同じ IP アドレス
（「192. 168. 0. 100」）
に設定している場合

パソコンの IP アドレスを一時的に、
「192.168.0.123」などの
同じクラスで、かつ、別の IP アドレスに
変更し［OK］ボタンをクリック後、すべての画面を閉じてパソコンを一度、再起動してください。

※パソコンのこの設定は、一時的な設定です。本製品のすべての設定が終了した後に、ご利用環境に合わせて再度設定し直してください。

4 ［OK］ボタンをクリック後、パソコンを一度再起動します。

確認・設定後、【2. Webブラウザを設定する】(48ページ)へお進みください。

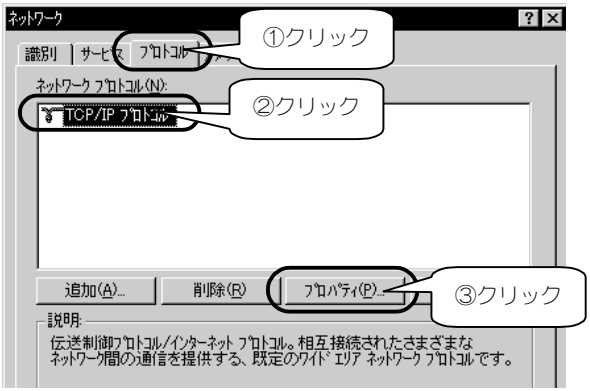
Windows NT 4.0

1 Administrator権限でWindows NT 4.0にログオンします。

2 [ネットワークコンピュータ]を右クリックし、
メニュー内の[プロパティ]をクリックします。



3 [プロトコル]タブをクリックし、[TCP/IP プロトコル]をクリック後、
[プロパティ]ボタンをクリックします。

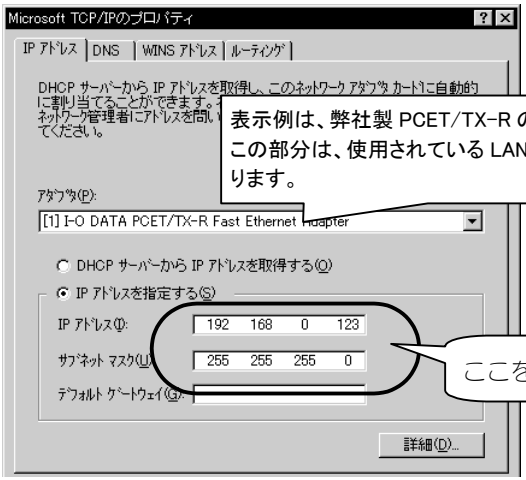


4 設定用パソコンのIPアドレスを確認・設定します。

設定用パソコンで本製品を設定するには、
設定用パソコンのIPアドレスが下記を
満たしている必要があります。

本製品のIPアドレス
192.168.0 . 100
①　②
（出荷時）

①が“192.168.0”である
（本製品のIPアドレスと同じクラスである）
②が“100”と異なる数である
（別のIPアドレスである）



「IP アドレスを自動的に取得する」に設定している場合

別のクラスの IP アドレス
（「172. xxx. xxx. xxx」など）

本製品と同じ IP アドレス
（「192. 168. 0. 100」）
に設定している場合

パソコンの IP アドレスを一時的に、
「192.168.0.123」などの
同じクラスで、かつ、別の IP アドレスに
変更し［OK］ボタンをクリック後、すべての画面を閉じてパソコンを一度、再起動してください。

※パソコンのこの設定は、一時的な設定です。本製品のすべての設定が終了した後に、ご利用環境に合わせて再度設定し直してください。

確認・設定後、【2. Web ブラウザを設定する】(48 ページ)へお進みください。

Mac OS X

1 [Appleメニュー]→[場所]→[ネットワーク環境設定]をクリックします。



2 設定用パソコンのIPアドレスを確認・設定します。

①[表示:]から[内蔵Ethernet]を選択します。

②[TCP/IP]タブで[設定:]から[手入力]を選択します。

③IPアドレスに、本製品のIPアドレスと重ならない、未使用のIPアドレスを入力します。(ネットワーク管理者に確認してください)



「IP アドレスを自動的に取得する」に設定している場合

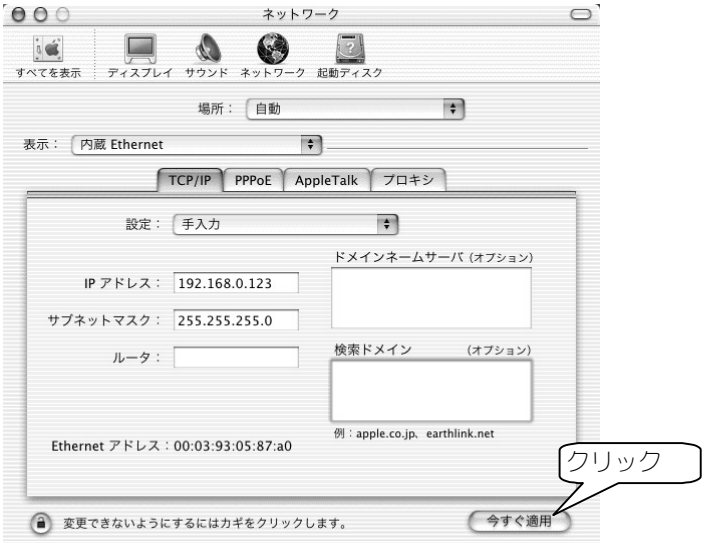
別のクラスの IP アドレス（「172. xxx. xxx. xxx」など）

本製品と同じ IP アドレス（「192. 168. 0. 100」）に設定している場合

パソコンの IP アドレスを一時的に、「192.168.0.123」などの同じクラスで、かつ、別の IP アドレスに変更後、すべての画面を閉じてパソコンを一度、再起動してください。

※パソコンのこの設定は、一時的な設定です。本製品のすべての設定が終了した後に、ご利用環境に合わせて再度設定し直してください。

3 [今すぐ適用]ボタンをクリックします。



4 タイトルバーの（×）ボタンをクリックして画面を閉じます。

確認・設定後、【2. Web ブラウザを設定する】(48 ページ)へお進みください。

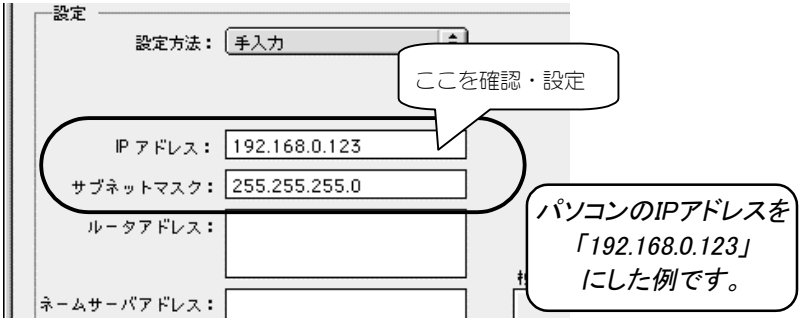
Mac OS（Classic）

1 ［アップルメニュー］→［コントロールパネル］内の［TCP/IP］をクリックします。

2 管理用パソコンのIPアドレスを確認・設定します。

管理用パソコンで本製品を設定するには、管理用パソコンのIPアドレスが本製品のIPアドレスと同じクラスで、かつ、別のIPアドレスとなっている必要があります。

本製品のIPアドレス
192.168.0.100
（出荷時）



「DHCP サーバを参照」に設定している場合

別のクラスの IP アドレス（「172. xxx. xxx. xxx」など）

本製品と同じ IP アドレス（「192. 168. 0. 100」）に設定している場合

一時的に、
［設定方法：］を［手入力］に設定し、
パソコンの IP アドレスを
「192.168.0.123」などの
同じクラスで、かつ、別の IP アドレスに
変更し、すべての画面を閉じてパソコンを一度再起動してください。

※パソコンのこの設定は、一時的な設定です。本製品のすべての設定が終了した後に、ご利用環境に合わせて再度設定し直してください。

確認・設定後、【2. Web ブラウザを設定する】(次ページ)へお進みください。

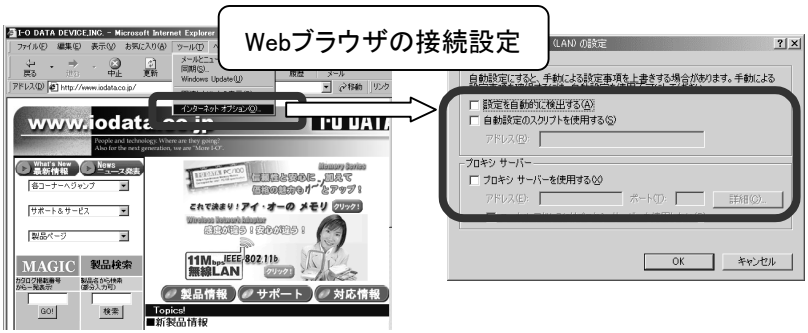
2. Webブラウザを設定する

本製品を設定するには、Web ブラウザ（Internet Explorer）の接続設定をしておく必要があります。

※インターネットに接続しない場合にも設定する必要があります。

下記２点を行います。

①LANを使用してインターネットに接続する。
②プロキシサーバーを設定する。



注意！

インターネット利用時には、プロバイダによっては、プロキシについての設定を指示している場合があります。
まず、プロバイダから入手した資料をご用意ください。

WindowsでのInternet Explorerの設定手順

注意！

プロバイダによっては、プロキシについての設定を指示している場合があります。
まず、プロバイダから入手した資料をご用意ください。

1 [Internet Explorer]画面を表示させます。

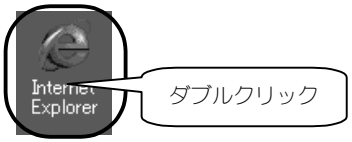
・*Windows XPの場合*

[スタート]→[すべてのプログラム]→[Internet Explorer]（または[インターネット Internet Explorer]）をクリックします。



・*Windows 2000、Windows Me/98/95、Windows NT 4.0の場合*

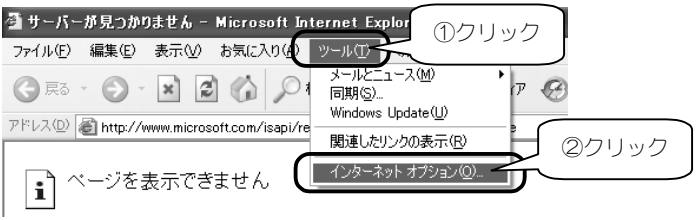
デスクトップ画面上の[Internet Explorer]アイコンをダブルクリックします。



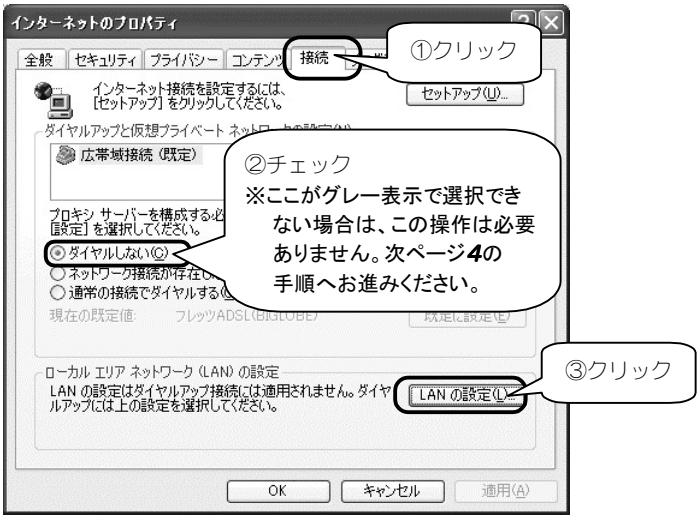
注意！

この時点でインターネットに接続されていない場合は、「ページを表示できません」など正常に画面が表示されませんが、ここでは Internet Explorer 自体の設定を行うため、この時点で正常に画面が表示されていなくても問題ありません。

2 [Internet Explorer]画面の
[ツール]メニューの[インターネット オプション]をクリックします。
※本手順以降、画面は[Internet Explorer 6.0]を例にしています。

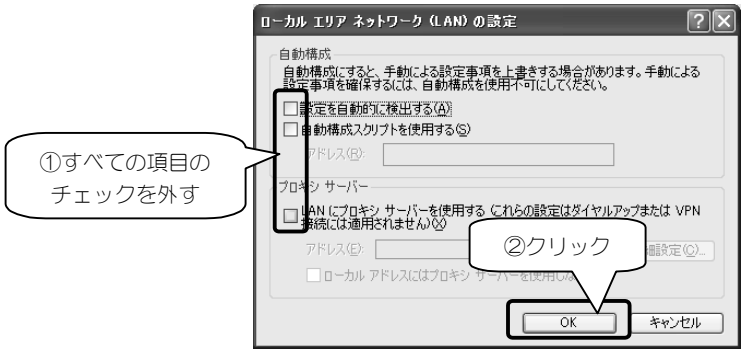


3 [接続]タブをクリックし、
[ダイヤルしない]をチェックします。続けて、[LANの設定]ボタンをクリックします。

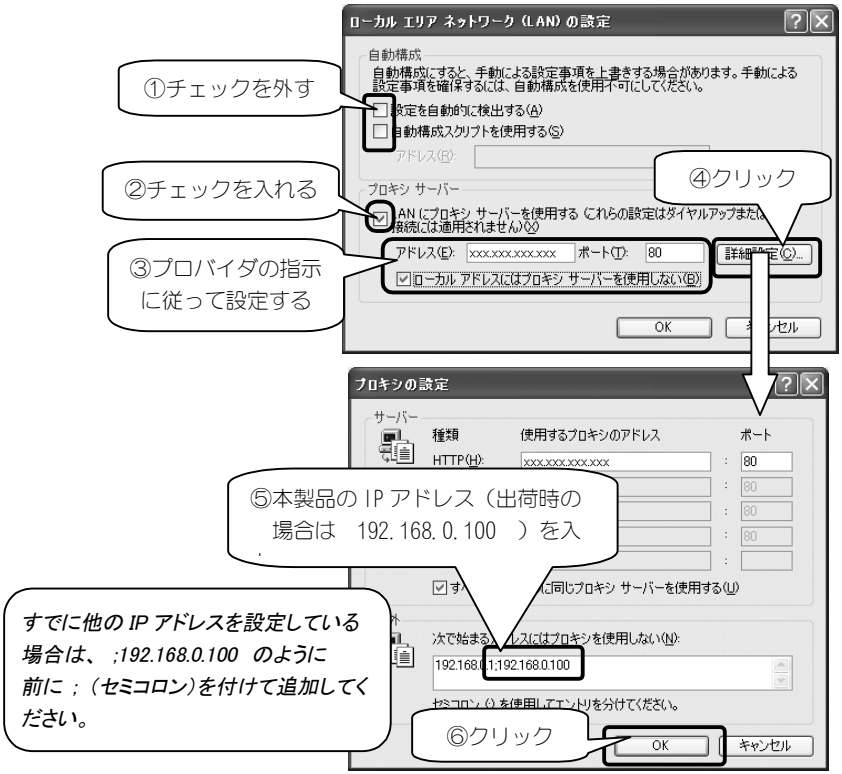


4 プロバイダからの資料を参照し、[プロキシ]に関する設定の指示がないか確認し、以下の設定を行います。

・*プロバイダから[プロキシ]に関する設定の<u>指示がない</u>場合*



・*プロバイダから[プロキシ]に関する設定の<u>指示がある</u>場合*



すでに他の IP アドレスを設定している場合は、 ;192.168.0.100 のように前に ;（セミコロン）を付けて追加してください。

5 [ローカルエリアネットワーク(LAN)の設定]画面で[OK]ボタンをクリックし、画面を閉じます。

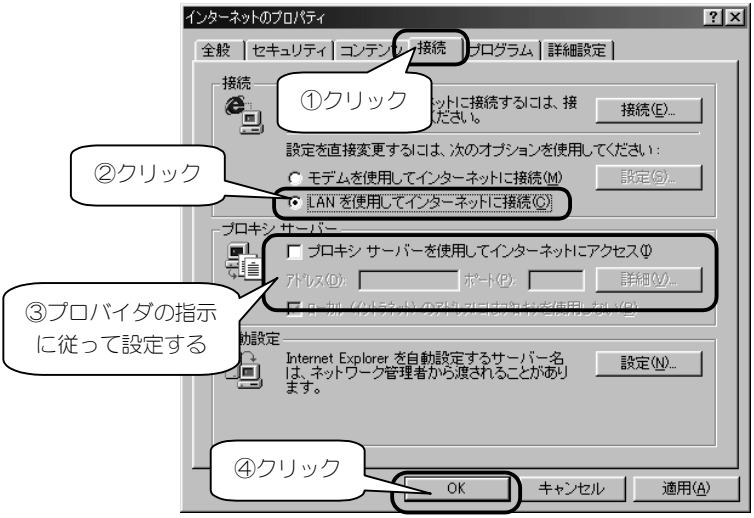
6 [インターネット オプション](または[インターネットのオプション])画面へ戻りますので、[OK]ボタンをクリックし、画面を閉じます。

この後、【3. 設定画面を起動する】(55 ページ)へお進みください。

参考

Internet Explorer のバージョンによっては、4の手順の時に以下の画面となる場合があります。
その場合は、[接続]タブで[LAN を使用してインターネットに接続]をチェックします。
その後、以下の手順を行います。

- **プロバイダからプロキシに関する設定の指示がない場合**
  [プロキシサーバーを使用してインターネットにアクセス]のチェックを外し、[OK]ボタンをクリックします。
- **プロバイダからプロキシに関する設定の指示がある場合**
  [プロキシサーバーを使用してインターネットにアクセス]をチェックし、[アドレス]と[ポート]を入力後、[詳細]ボタンをクリックします。
  [プロキシの設定]画面での設定は、前ページを参照してください。
  設定後、[OK]ボタンをクリックします。



Mac OSでのInternet Explorerの設定手順

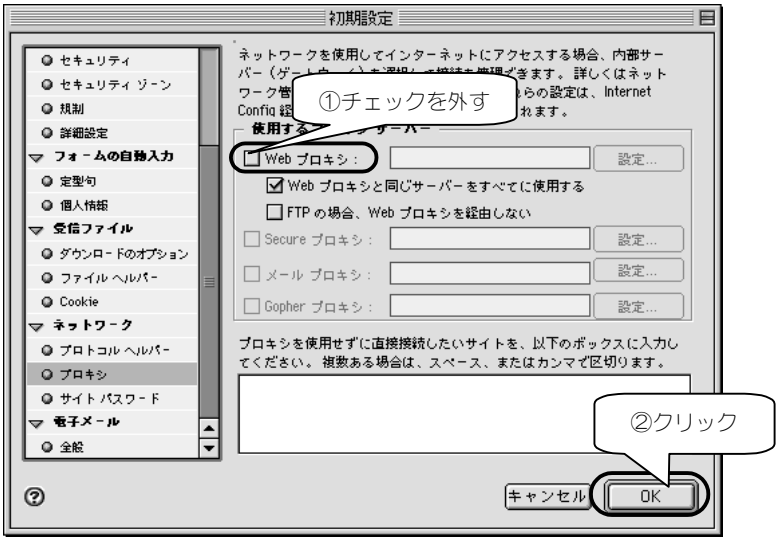
1 Internet Explorerを起動します。

2 [編集]→[初期設定...]を選択します。

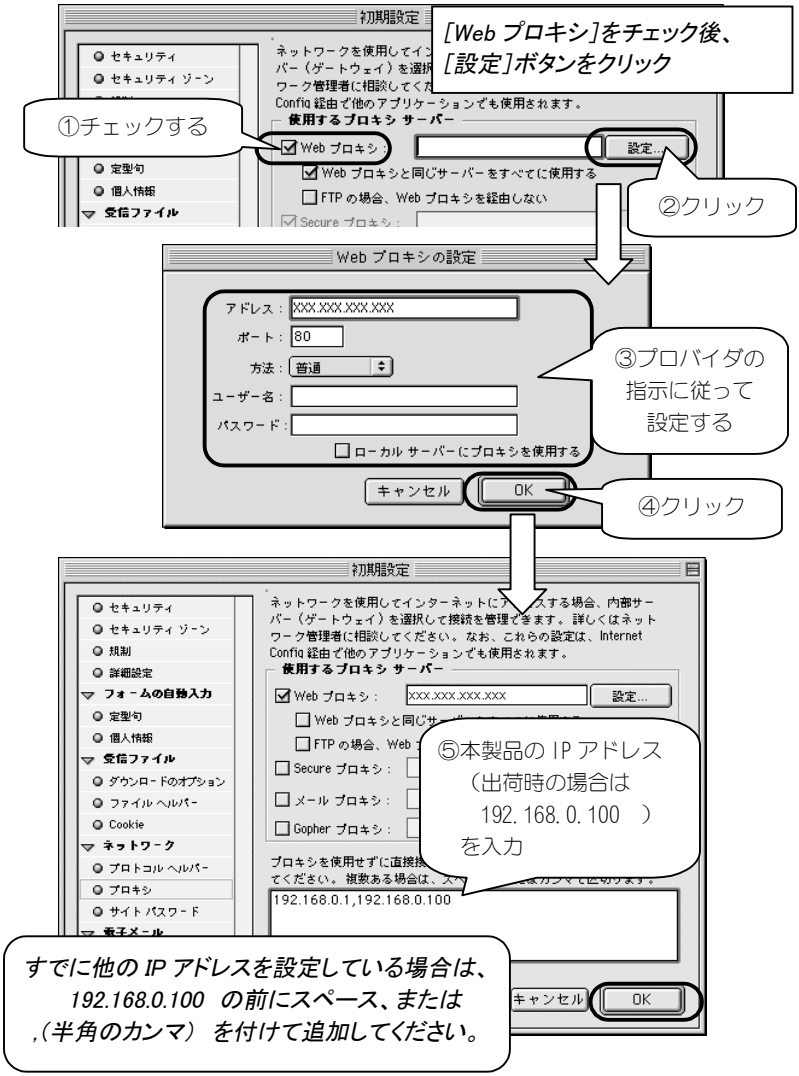
3 [▽ネットワーク]の[プロキシ]を選択します。

4 インターネットを利用しない場合は以下の設定を行ってください。インターネット利用時は、プロバイダからの資料を参照し、[プロキシ]に関する設定の指示がないか確認し、以下および次ページの設定を行います。

●*インターネットを利用しない場合、あるいは、インターネットを利用するが、プロバイダから［プロキシ］に関する設定の指示がない場合*



●インターネットを利用する場合で、プロバイダから［プロキシ］に関する設定の指示がある場合



この後、【3．設定画面を起動する】(次ページ)へお進みください。

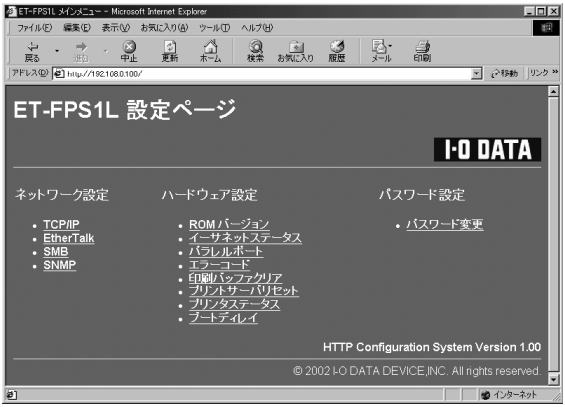
3. 設定画面を起動する

Webブラウザの設定画面は以下の手順で起動します。

1 Webブラウザを起動し、
192.168.0.100
を入力し、[Enter]キーを押します。



2 設定ページ画面(ET-FPS1Lメインメニュー)が表示されます。



設定画面が表示されない！

設定用パソコンの IP アドレスを確認してください。→【1. IP アドレスを設定する】(34 ページ)

Web ブラウザの設定を確認してください。
→【2. Web ブラウザを設定する】(48 ページ)

次の章へ進む前に

本製品の設定画面を起動した後は、各OSの印刷形態にあわせて本製品を
設定します。お使いの環境（OS）をご確認になり、該当するページをご覧ください。

4 *Windows XP/2000/NT 4.0から印刷する* 57ページ

5 *Windows Me/98/95から印刷する* 81ページ

6 *Mac OS Xから印刷する* 91ページ

7 *Mac OS（Classic）から印刷する* 101ページ

8 *インターネット経由で印刷する* 111ページ

4 Windows XP/2000/NT 4.0 から印刷する

TCP/IPでの印刷（LPR） ····· 58



参考

・NetBEUI プロトコルでの印刷について

Windows 2000/NT 4.0 でも Windows Me/98/95 と同様に NetBEUI プロトコルでの印刷を行うことは可能※ですが、印刷中にアプリケーションが、次の動作に移れない等、OS 側での制限事項が多いため弊社では NetBEUI プロトコルでの印刷を推奨しておりません。また本製品の設定には TCP/IP プロトコルが必須となり、本製品を使用する上で NetBEUI プロトコルのみのネットワーク環境は基本的に存在しません。

よって、これらの OS 上で NetBEUI プロトコルを利用した印刷設定はサポート対象外とさせていただきます。

TCP/IP プロトコルを利用し、LPR 印刷で設定を行い印刷を行ってください。

※Windows XP は NetBEUI プロトコルをサポートしていないため、NetBEUI プロトコルでの印刷はできません。

TCP/IPでの印刷(LPR)

Windows XP/2000/NT 4.0で、TCP/IPプロトコル（LPR）を使用して印刷する方法を説明しています。

本製品のIPアドレスを設定する

印刷設定の前に、本製品のIPアドレスの設定が必要な場合があります。
あらかじめ以下のことをご確認ください。

① 設定画面が正常に起動できること※
② 本製品へ割り当てるIPアドレスが決定されていること

※【3．設定画面を起動する】（55ページ）をご覧ください。
本製品の初期値である192.168.0.100から変更の必要がない場合は、
IPアドレス設定は行わずに印刷設定を行ってください。



参考

IP アドレスを変更する必要がある場合とは？
・既にネットワーク上で、“192.168.0.100”を使用している場合
・印刷するパソコンの IP アドレスが、“192.168.0.xxx”以外の場合
（xxx は 100 を除く、1～254）

1 [設定ページ]画面の[TCP/IP]をクリックします。
⇒[TCP/IP設定]画面が表示されます。

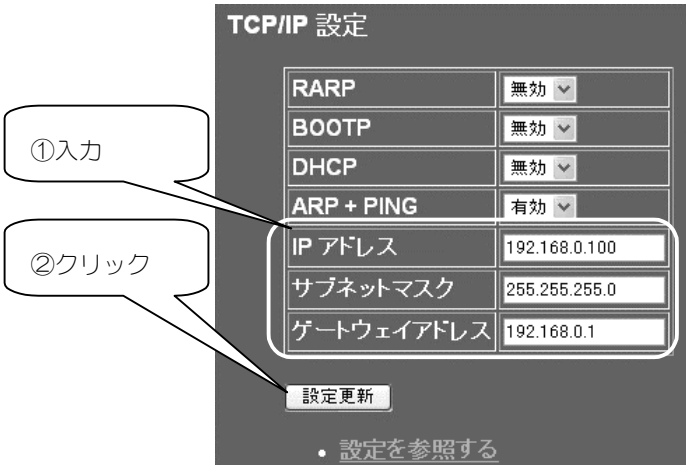
2 [設定を変更する]をクリックします。
⇒[パスワード入力]画面が表示されます。

3 以下を入力後、[OK]ボタンをクリックします。

ユーザー名
→入力する必要はありません。
パスワード
→PLANT　（半角大文字）
※パスワードを変更した場合は、
変更したパスワードを入力します。



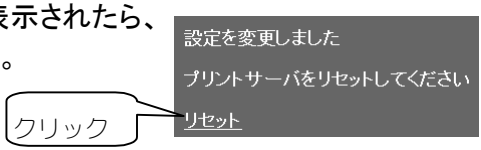
4 本製品のIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスを入力し、[設定更新]ボタンをクリックします。



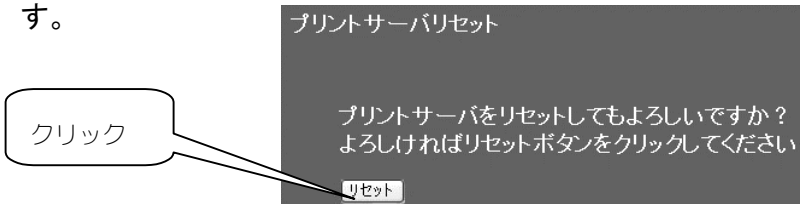
注意！

IP アドレス、サブネットマスクを変更する場合は、ゲートウェイアドレスも設定してください。通常、ネットワーク内に設置されたルータのアドレスを設定します。
ルータがネットワーク内に存在しない場合は、そのまま設定更新をクリックします。
その場合、エラー表示されますが、そのまま[リセット]をクリックしてください。

5 [設定を変更しました]と表示されたら、[リセット]をクリックします。



6 [プリントサーバリセット]という画面で、[リセット]をクリックします。



以上で、本製品のIPアドレスは変更されました。設定ページを閉じてください。

印刷設定をする

印刷設定はOSによって異なりますので、必要なページのみご覧ください。

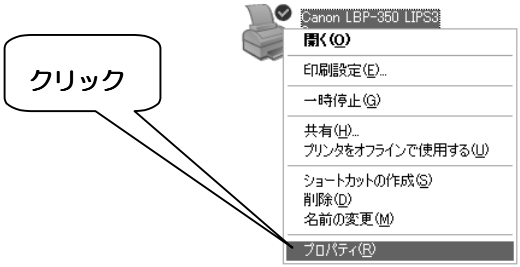
●Windows XPをお使いの場合	→ 次ページを参照してください。
●Windows 2000をお使いの場合	→ 65ページを参照してください。
●Windows NT 4.0をお使いの場合	→ 71ページを参照してください。

●Windows XPで印刷する

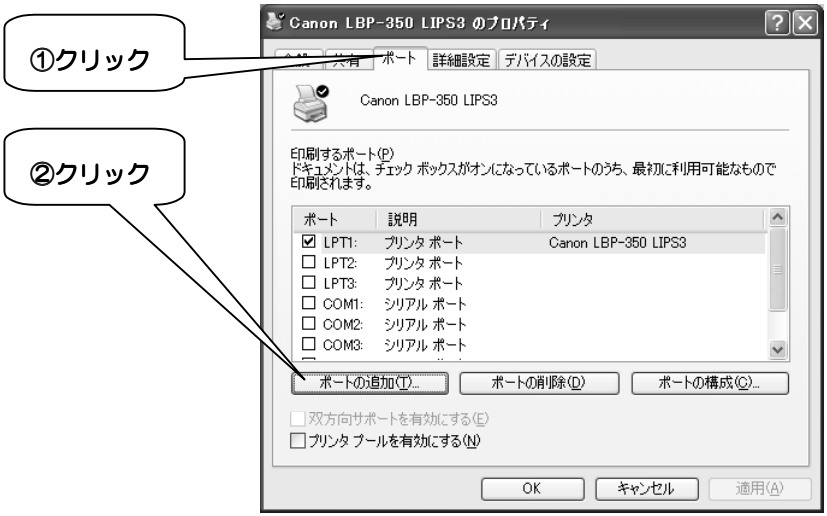
1 [スタート]→[プリンタとFAX]→[プリンタのインストール]をクリックし、ポートをLPT1:にしてプリンタを登録します。

プリンタメーカーによっては、独自にインストールプログラムが付属している場合があります。その場合はメーカーの指定するインストール方法にしたがってください。

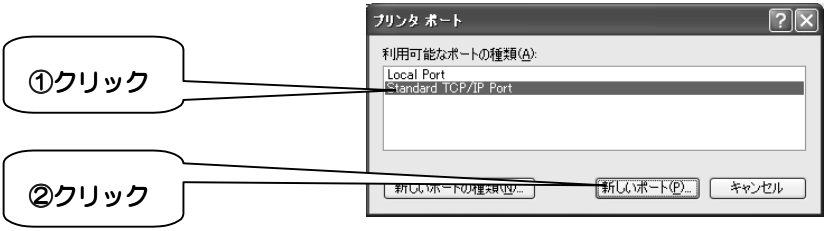
2 登録したプリンタのアイコンを右クリックして、表示されたメニューから[プロパティ]を選択します。



3 [ポート]タブを選択し、[ポートの追加]ボタンをクリックします。

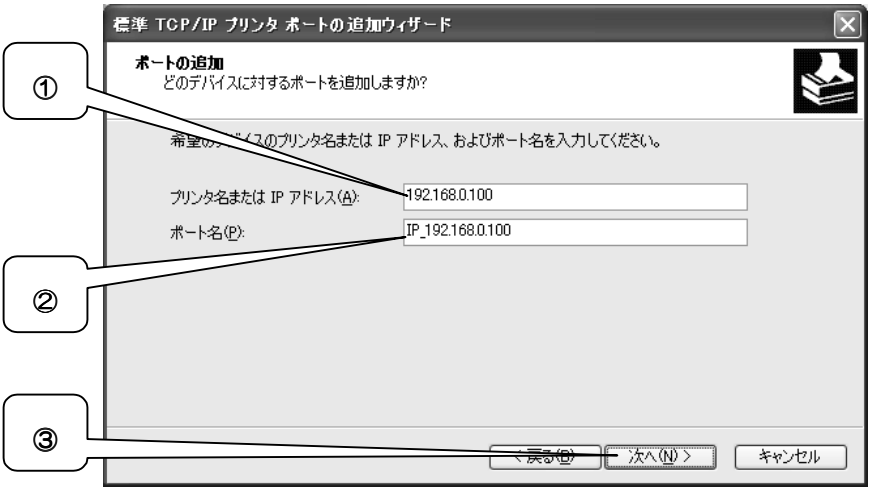


4 [利用可能なポートの種類]で、[Standard TCP/IP Port]を選択し、[新しいポート]ボタンをクリックします。

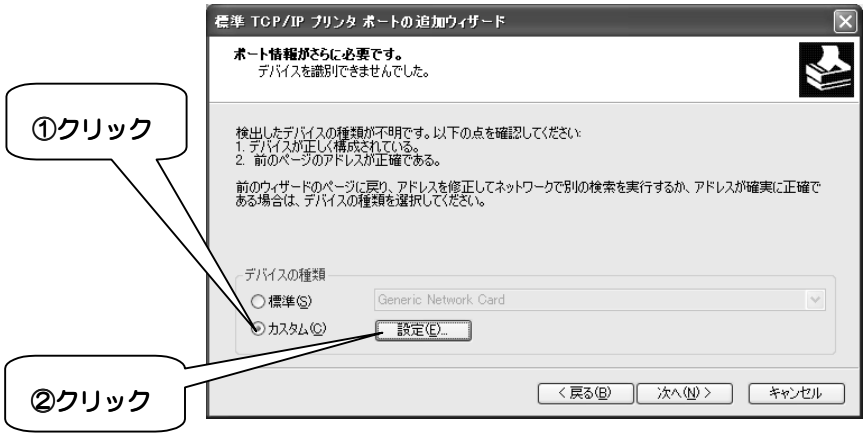


5 [標準TCP/IPプリンタポートの追加ウィザード]が開始されますので、[次へ]ボタンをクリックします。

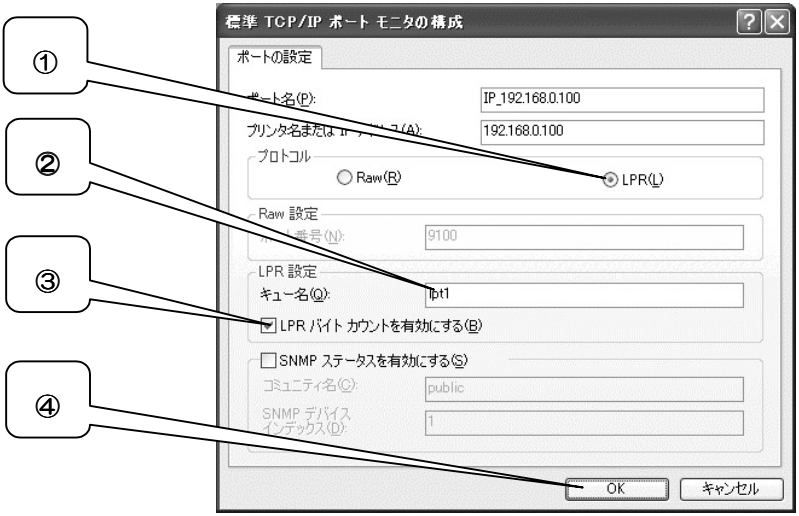
6 ①[プリンタ名またはIPアドレス]に本製品のIPアドレスを入力します。
②[ポート名]は[プリンタ名またはIPアドレス]に入力した文字列から 自動生成されますが、任意の文字列を入力することも可能です。
③入力が終わったら[次へ]ボタンをクリックします。



7 [デバイスの種類]で[カスタム]にチェックを付け、[設定]ボタンをクリックします。

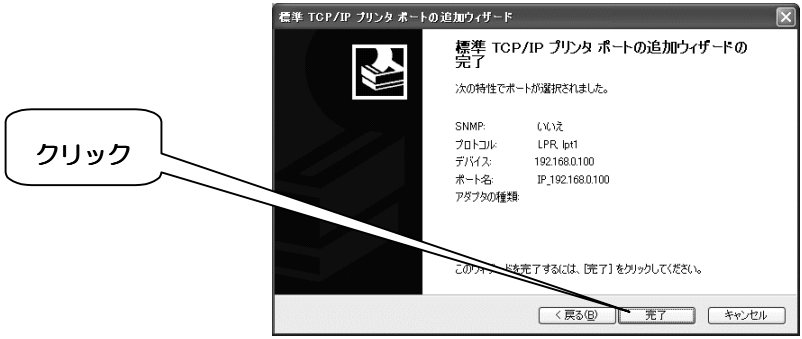


8 ①[プロトコル]で[LPR]にチェックを付けます。
②[LPR設定]の[キュー名]に[lpt1]と入力します。
③[LPRバイトカウントを有効にする]へチェックを入れます。
④[OK]ボタンをクリックします。



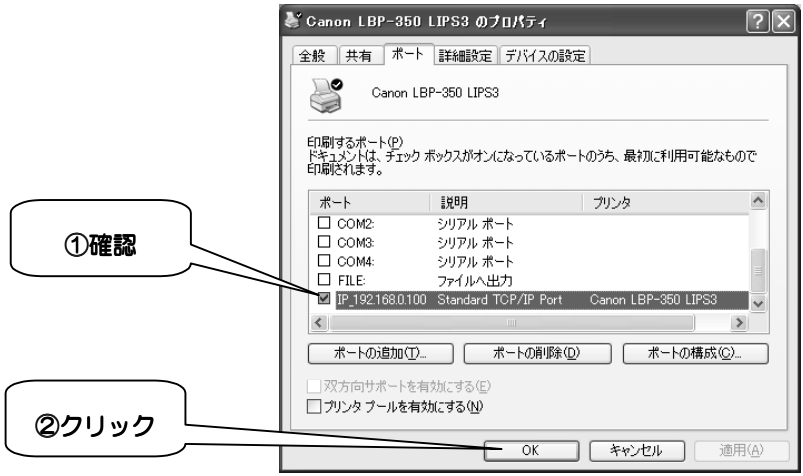
9 [デバイスの種類]選択画面で、[次へ]ボタンをクリックします。

10 画面に表示されている[プロトコル]、[デバイス]、[ポート名]を確認し、[完了]ボタンをクリックします。



11 [プリンタポート]画面で、[閉じる]ボタンをクリックします。

12 ①設定したポートがチェックされ、[プリンタ]欄にプリンタ名が表示されていることを確認します。
②[OK]ボタンをクリックします。

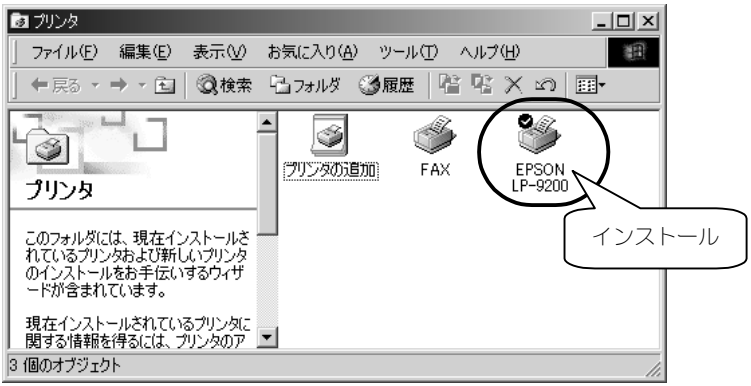


以上で、プリンタドライバのインストールとポートの設定は終了です。

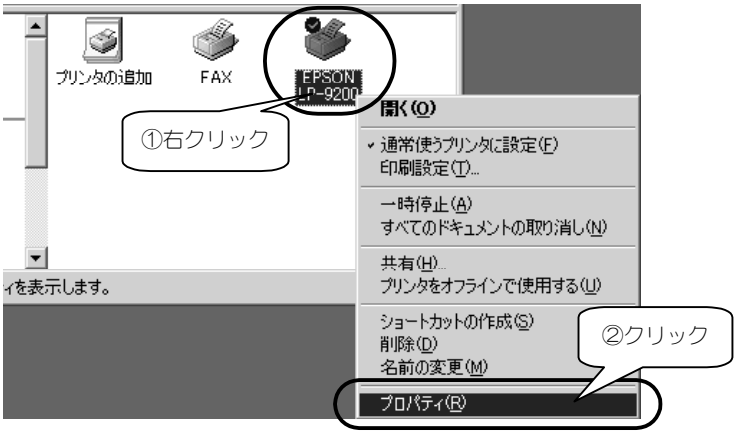
●Windows 2000で印刷する

1 [スタート]→[設定]→[プリンタ]をクリックし、ポートをLPT1:にしてプリンタを登録します。

プリンタメーカーによっては、独自にインストールプログラムが付属している場合があります。その場合はメーカーの指定するインストール方法にしたがってください。



2 プリンタのアイコンを右クリックし、メニュー内の[プロパティ]をクリックします。



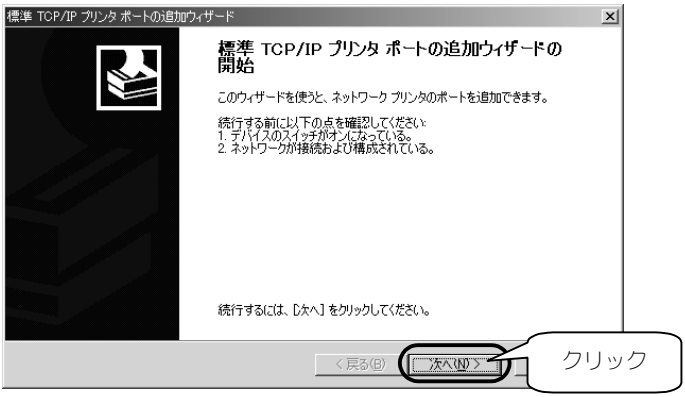
3 [ポート]タブをクリックし、[ポートの追加]ボタンをクリックします。



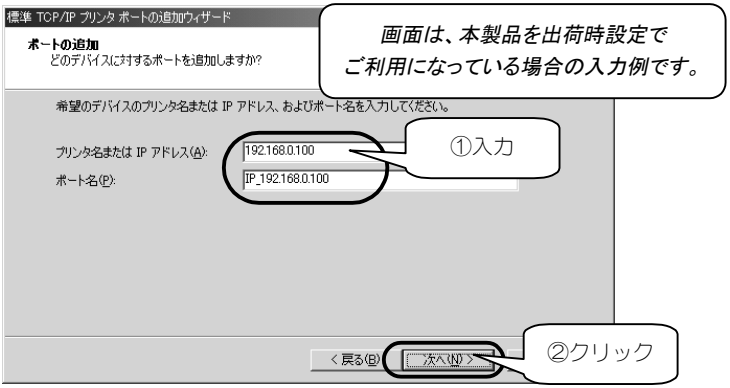
4 [Standard TCP/IP Port]をクリック後、[新しいポート]ボタンをクリックします。



5 [次へ]ボタンをクリックします。

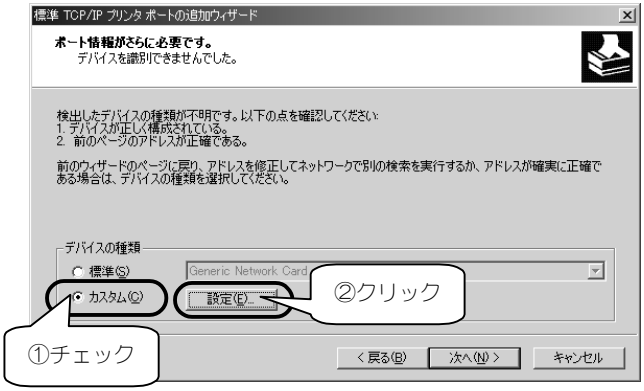


6 以下を入力後、[次へ]ボタンをクリックします。



プリンタ名または IPアドレス	本製品に設定したIPアドレス （本製品のIPアドレスを変更していない場合は、出荷時設定の192.168.0.100）
ポート名	自動的に作成（入力）されます。

7 [デバイスの種類]で[カスタム]をチェックし、[設定]ボタンをクリックします。



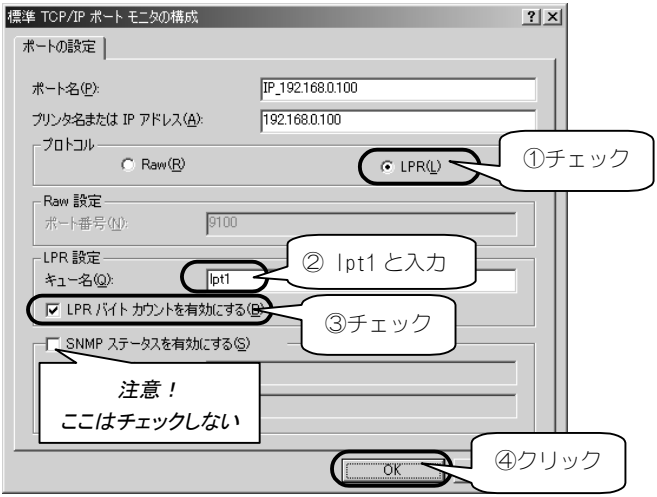
8 以下の設定後、[OK]ボタンをクリックします。

・[プロトロル]では[LPR]をチェックします。

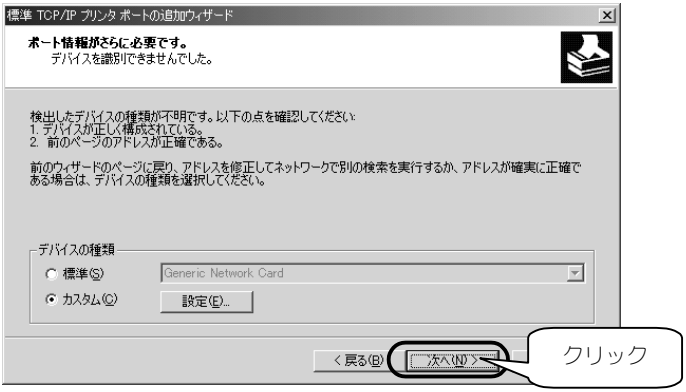
・[LPR設定]の[キュー名]に[lpt1]と入力します。

・[LPRバイトカウントを有効にする]をチェックします。

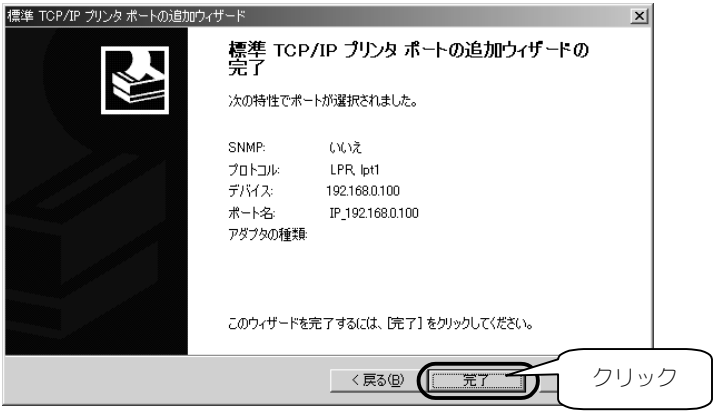
※[SNMPステータスを有効にする]はチェックしないでください。



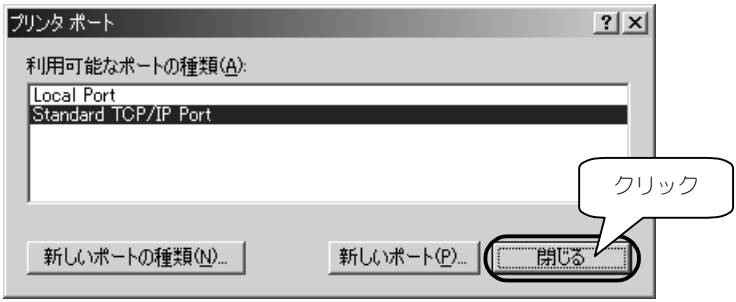
9 [次へ]ボタンをクリックします。



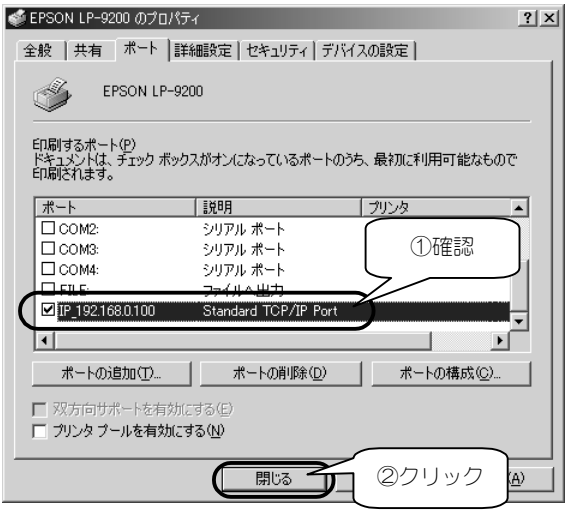
10 [完了]ボタンをクリックします。



11 [閉じる]ボタンをクリックします。



12 [ポート]タブの画面に戻りますので、IP_xxx.xxx.xxx.xxx (xxx.xxx.xxx.xxx は本製品に設定した IP アドレス)というポートが作られており、先頭にチェックが付いている事を確認して、[閉じる]ボタンをクリックします。



13 [プリンタ]画面を閉じます。



以上ですべての設定は終了です。本製品を利用して実際に印刷できるかお試しください。

●Windows NT 4.0で印刷する

注意！

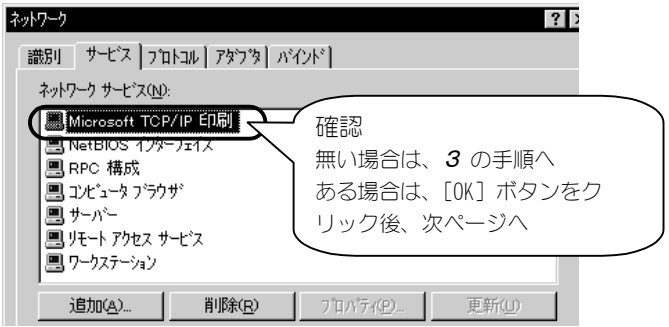
Windows NT 4.0 にて使用する場合には、Service Pack 3 以上をインストールすることが最低必要です。推奨する環境としては、Service Pack 5 以上をインストールすることをお勧めします。

① LPR機能の組み込み

1 [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]を順にクリック後、[ネットワーク]アイコンをダブルクリックします。



2 [サービス]をクリックし、[ネットワークサービス]欄に[Microsoft TCP/IP 印刷]が組み込まれているか確認してください。
組み込まれていない場合は、以下の**3** の手順へ、
組み込まれている場合は、[OK]ボタンをクリック後、【プリンタの作成】(73 ページ)へお進みください。



注意！

既に組み込まれている場合は、【2. プリンタの作成】(73 ページ)へお進みください。

3 [Microsoft TCP/IP 印刷]が組み込まれていない場合は、[追加]ボタンをクリック後、[Microsoft TCP/IP 印刷]をクリックし、[OK]ボタンをクリックして[Microsoft TCP/IP 印刷]を組み込んでください。

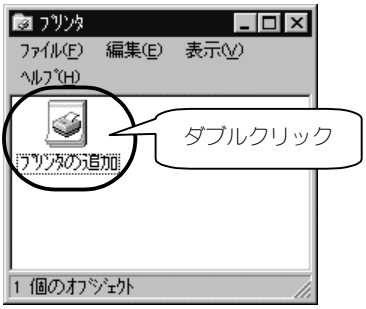
4 [ネットワーク]の画面に戻りましたら、[ネットワークサービス]欄に[Microsoft TCP/IP 印刷]が表示されている事を確認後、[OK]ボタンをクリックします。

5 [ネットワーク設定の変更]画面が表示されますので、[再起動]ボタンをクリックして、パソコンを再起動してください。

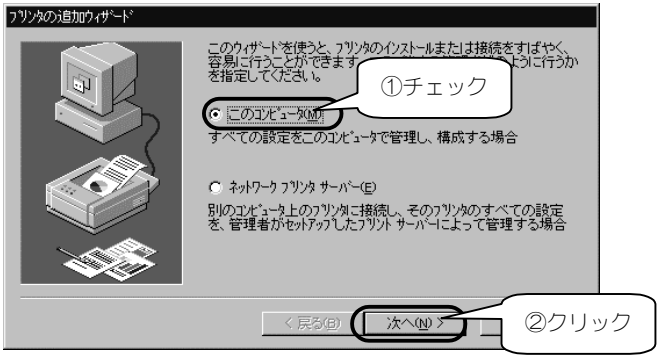
次にプリンタを作成します。
次ページへお進みください。

② プリンタの作成

1 [スタート]→[設定]→[プリンタ]をクリックし、
[プリンタの追加]をダブルクリックします。



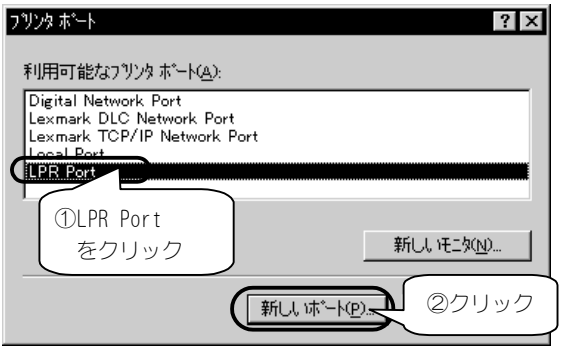
2 [このコンピュータ]をチェック後、
[次へ]ボタンをクリックします。



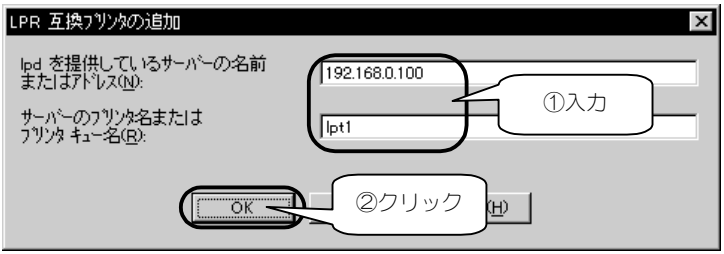
3 [ポートの追加]ボタンをクリックします。



4 [LPR Port]をクリック後、[新しいポート]をクリックします。



5 以下を入力後、[OK]ボタンをクリックします。

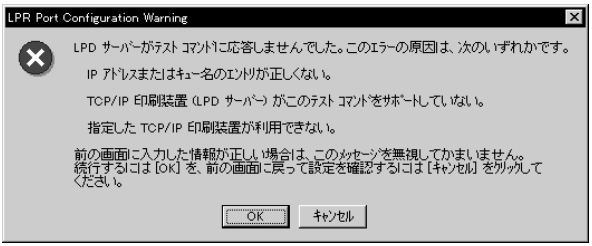


lpdを提供している サーバの名前または アドレス	本製品に割り当てたIPアドレス （本製品のIPアドレスを変更していない場合は、 出荷時設定の192.168.0.100）
サーバのプリンタ名 またはプリントキュー	lpt1 ※lpt1固定です。変更しないでください。



注意！

右のエラーが表示される場合は、上記の入力に間違いあることが考えられますので、確認してください。



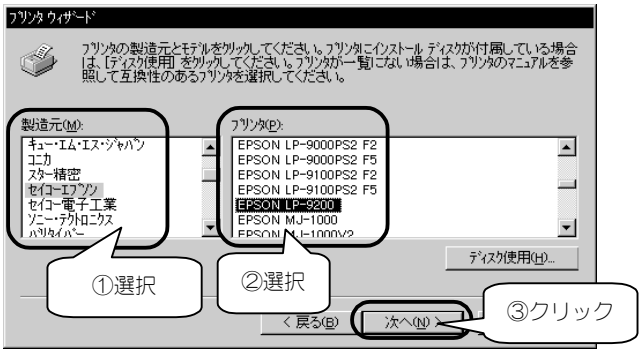
6 [閉じる]ボタンをクリックします。



7 「利用可能なポート」欄に作成したプリンタポートが追加表示されチェックされているのを確認して[次へ]ボタンをクリックします。



8 お使いのプリンタの[製造元]と[プリンタ]を選択して、[次へ]ボタンをクリックします。



注意！

お使いのプリンタが表示されない場合は Windows NT 4.0 にプリンタドライバが収録されておりません。
お使いのプリンタの取扱説明書を参照し、[ディスク使用]ボタンをクリックしてプリンタ ドライバのインストールを行ってください。

9 プリンタ名を入力する画面では、判別しやすい名前(Windows NT 4.0 上でのプリンタ名になります)を入力し[次へ]ボタンをクリックしてください。



10 [共有しない]をチェック後、[次へ]ボタンをクリックします。



11 [はい]または[いいえ]をチェック後、[完了]ボタンをクリックします。



以上ですべての設定は終了です。
本製品を利用して実際に印刷できるかお試しください。
ファイルシステムに NTFS を使用している場合は、次ページの注意も参照してください。

ファイルシステムがNTFSの場合のご注意

ファイルシステムにNTFSを使用している場合で、Windows NTからLPR印刷を行った際に［書き込みエラー］とエラー表示される場合があります。
この場合、ユーザに与えられたスプールディレクトリのアクセス権が適切でないことがありますので、以下のことを確認してください。

1 ［エクスプローラ］を起動し、¥WINNT¥system32¥spool ディレクトリを右クリック後、［プロパティ］をクリックします。

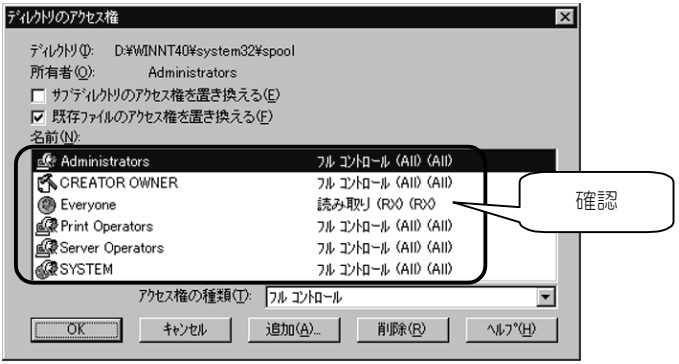


2 ［セキュリティ］を選択し、［アクセス権］をクリックします。

3 以下の 2 点を確認します。

・「ディレクトリのアクセス権」に印刷を行うユーザに与えられたグループが存在していることを確認します。

・そのグループに与えられたアクセス権の種類が、「フルコントロール」または「追加と読み取り」、「変更」になっていることを確認します。



・*印刷を行うユーザのグループがない場合*

［追加］を選択してグループを追加してください。

・*アクセス権が、[フルコントロール][追加と読みとり][変更]以外の場合*

そのグループを選択して［アクセス権の種類］で上記のアクセス権を与えてください。

・*アクセス権の種類が[特殊なディレクトリのアクセス権]になっている場合*

［読み取り］、［書き込み］、［実行］のアクセス権を与えられていることを確認してください。この3つのアクセス権が与えられていない場合は、不足している権利を与えてください。

4 同様に［spool］ディレクトリ下の［Printers］というディレクトリアクセス権もご確認ください

MEMO

5 Windows Me/98/95 から印刷する

SMBでの印刷 …… 82



参考

[SMB]とは

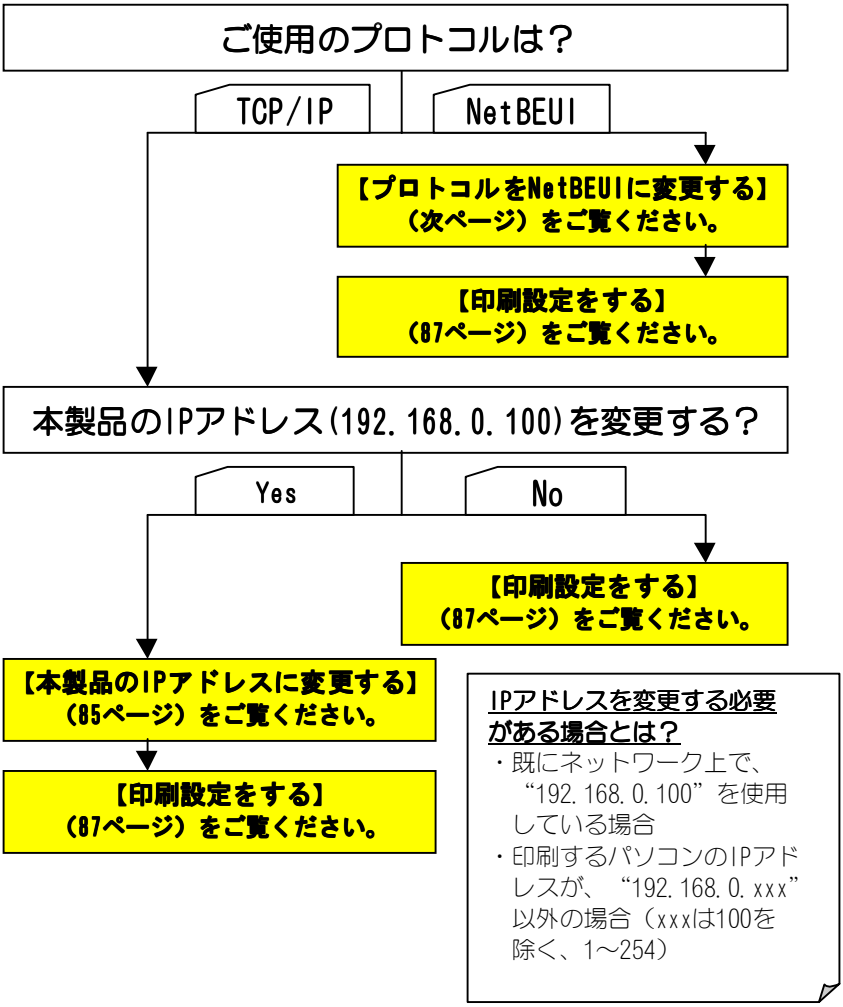
→SMB（Server Message Block）とは、Windows でネットワークを通じてファイル・プリンタ共有を実現するプロトコルです。

SMBでの印刷

Windows Me/98/95で印刷する方法を説明しています。

●お使いのネットワーク環境は？

以下をご覧になりネットワーク環境が分かったら、それぞれのページを参照し設定を行ってください。



プロトコルをNetBEUIに変更する

NetBEUIで印刷する場合、最初に使用するプロトコルを初期値の「TCP/IP」から「NetBEUI」へ変更をする必要があります。
あらかじめ以下のことをご確認ください。

NetBEUIプロトコルが正常に使用できること

TCP/IPで印刷する場合は、SMBの変更は行わずに【本製品のIPアドレスを設定する】（85ページ）へお進みください。



参考

また SMB over NetBEUI を利用して印刷を行う場合に必須の設定ではありませんが、使用するネットワーク形態に合わせて「ホスト名(コンピュータ名)」「ワークグループ名」を設定することが可能です。詳しくは、【9 他の設定をする】(125 ページ)をご覧ください。

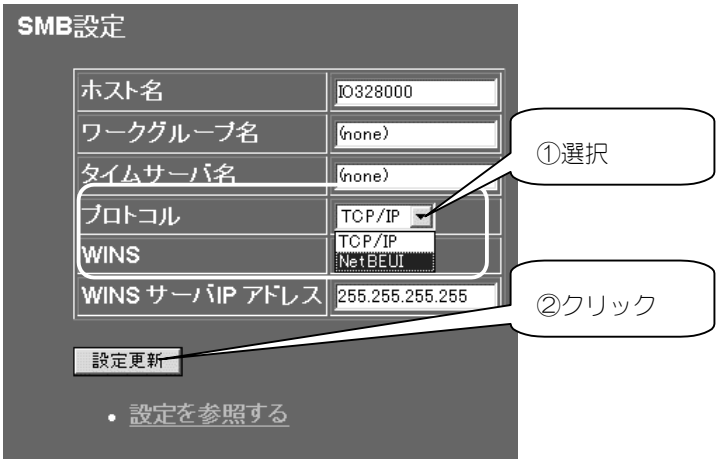
1 [設定ページ]画面の[SMB]をクリックします。
⇒[SMB設定]画面が表示されます。

2 [設定を変更する]をクリックします。

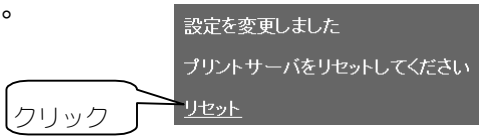
3 以下を入力後、[OK]ボタンをクリックします。
ユーザー名　→入力する必要はありません。
パスワード　→PLANT　（半角大文字）
※パスワードを変更した場合は、変更したパスワードを入力します。



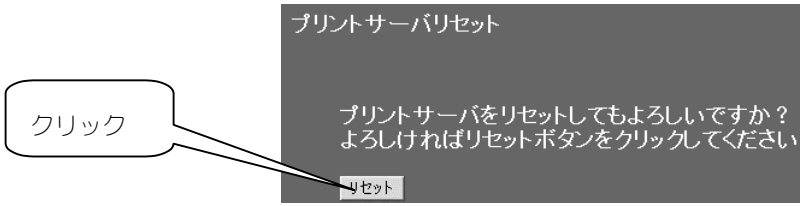
4 使用するプロトコルを[NetBEUI]に変更し、[設定更新]ボタンをクリックします。



5 [リセット]をクリックします。
変更を有効にします。



6 以下の画面で[リセット]をクリックします。



本製品を自動的にリセット(再起動)し、設定が反映されます。
以上で、SMBのプロトコルは[NetBEUI]変更されました。
【印刷設定をする】(87ページ)へお進みください。

本製品のIPアドレスを変更する

TCP/IPで印刷する場合、本製品のIPアドレスの変更が必要な場合があります。
あらかじめ以下のことをご確認ください。

① 設定画面が正常に起動できること※
② 本製品へ割り当てるIPアドレスが決定されていること

※【3．設定画面を起動する】（55ページ）をご覧ください。
本製品の初期値であるIPアドレス（192.168.0.100）から変更の必要がない場合と、NetBEUIで印刷する場合は、IPアドレス設定は行わずに【印刷設定をする】（87ページ）へお進みください。



参考

SMB over TCP/IP を利用して印刷を行う場合に必須の設定ではありませんが、「SMB設定」にて使用するネットワーク形態に合わせ、「ホスト名(コンピュータ名)」「ワークグループ名」「タイムサーバ名」「WINS サーバの IP アドレス」を設定することができます。詳しくは、【9 他の設定をする】(125 ページ)をご覧ください。

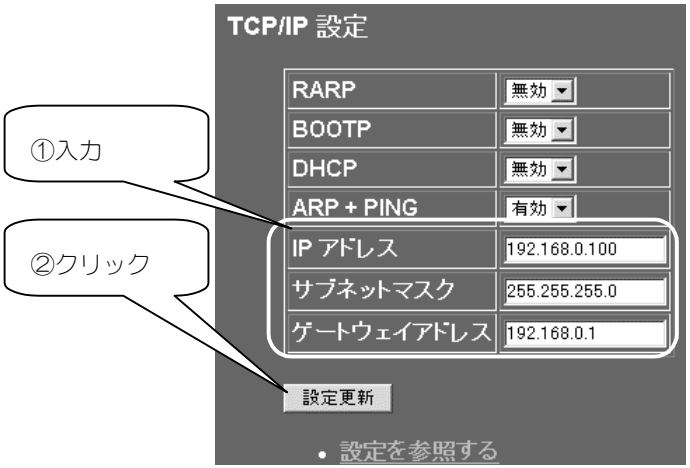
1 [設定ページ]画面の[TCP/IP]をクリックします。
⇒[TCP/IP設定]画面が表示されます。

2 [設定を変更する]をクリックします。

3 以下を入力後、[OK]ボタンをクリックします。
ユーザー名　→入力する必要はありません。
パスワード　→PLANT　（半角大文字）
※パスワードを変更した場合は、変更したパスワードを入力します。



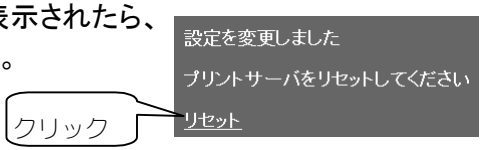
4 本製品のIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスを入力し、[設定更新]ボタンをクリックします。



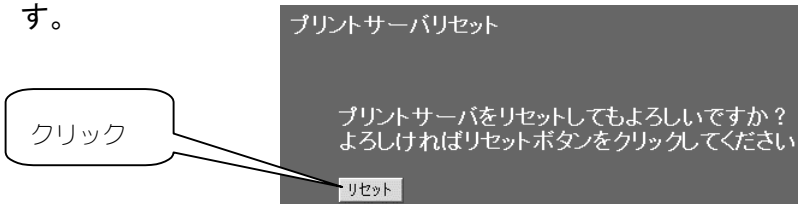
注意！

IP アドレス、サブネットマスクを変更する場合は、ゲートウェイアドレスも設定してください。通常、ネットワーク内に設置されたルータのアドレスを設定します。
ルータがネットワーク内に存在しない場合は、そのまま設定更新をクリックします。
その場合、エラー表示されますが、そのまま[リセット]をクリックしてください。

5 [設定を変更しました]と表示されたら、[リセット]をクリックします。



6 [プリントサーバリセット]という画面で、[リセット]をクリックします。



以上で、本製品のIPアドレスは変更されました。設定ページを閉じてください。

印刷設定をする

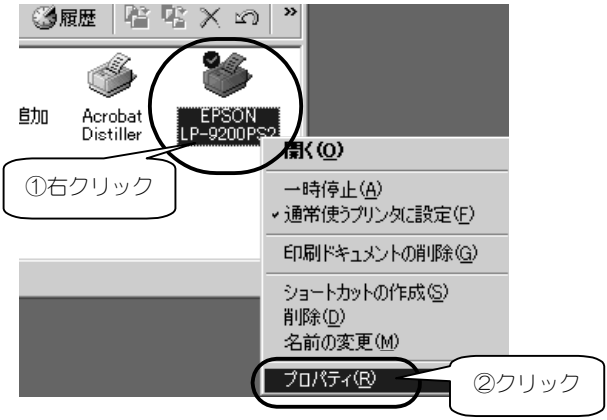
1 ご使用のプリンタのプリンタドライバをインストールします。
プリンタドライバについては、プリンタの取扱説明書またはプリンタメーカーにご確認ください。



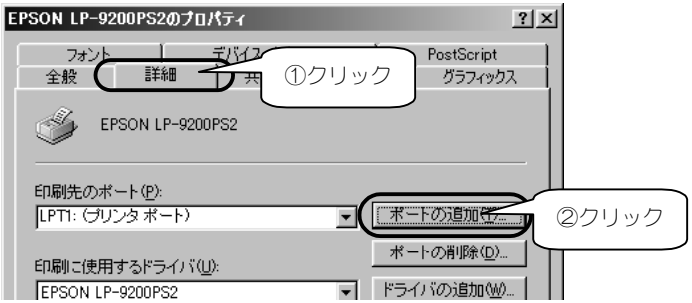
注意！

上記のプリンタドライバをインストール中に指定する[ポートの選択]では、[ローカルポート]を選択してください。（ローカルポート例：“LPT1”、“FILE”など）
[ネットワーク]は選択しないでください。

2 プリンタのアイコンを右クリックし、
メニュー内の[プロパティ]をクリックします。



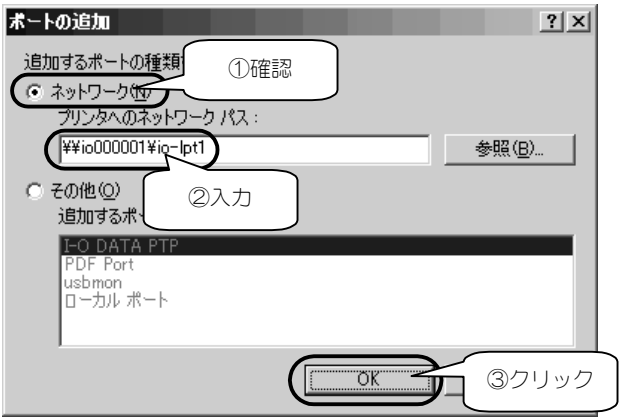
3 [詳細]タブをクリック後、[ポートの追加]ボタンをクリックします。



4 [ネットワーク]にチェックが付いていることを確認し、
以下を入力後、[OK]ボタンをクリックします。

¥¥ioxxxxxx¥io-lpt1

（上記「ioxxxxxx」の io（アイオー）の後の「xxxxxx」には MAC アドレスの「00A0B0」の後の下6桁を入力します。
MAC アドレスは、本製品底面のラベル面に記載されています。）



参考

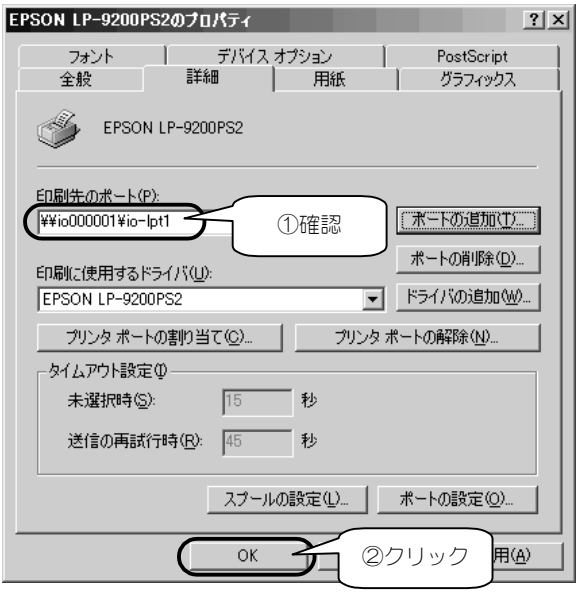
上記は「¥¥io000001¥io-lpt1」を入力した例です。（MAC アドレスが「00A0B0000001」での例です。）

注意！

以下のエラーが表示される場合は、上記の入力に間違いあることが考えられますので、確認してください。



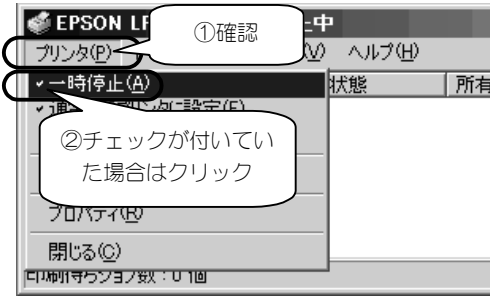
5 [印刷先のポート]に設定したパスが表示されている事を確認後、[OK]ボタンをクリックします。



6 設定したプリンタのアイコンをダブルクリックします。



7 [プリンタ]メニューをクリックし、[一時停止]にチェックが付いていた場合は、[一時停止]をチェックし、一時停止を解除してください。



以上ですべての設定は終了です。本製品を利用して実際に印刷できるかお試しください。

6 Mac OS X から印刷する

TCP/IPでの印刷（LPR） ····· 92
EtherTalkでの印刷 ····· 97

TCP/IPでの印刷(LPR)

Mac OS Xで、TCP/IPプロトコルを使用して印刷する方法を説明しています。

本製品のIPアドレスを設定する

印刷設定の前に、本製品のIPアドレスの設定が必要な場合があります。
あらかじめ以下のことをご確認ください。

① 設定画面が正常に起動できること※
② 本製品へ割り当てるIPアドレスが決定されていること

※【3. 設定画面を起動する】(55ページ)をご覧ください。
本製品の初期値である192.168.0.100から変更の必要がない場合は、
以下のIPアドレス設定は行わずに【印刷設定をする】(94ページ)へ
お進みください。



参考

IP アドレスを変更する必要がある場合とは？
・既にネットワーク上で、"192.168.0.100"を使用している場合
・印刷するパソコンの IP アドレスが、"192.168.0.xxx"以外の場合
(xxx は 100 を除く、1～254)

1 [設定ページ]画面の[TCP/IP]をクリックします。
⇒[TCP/IP設定]画面が表示されます。

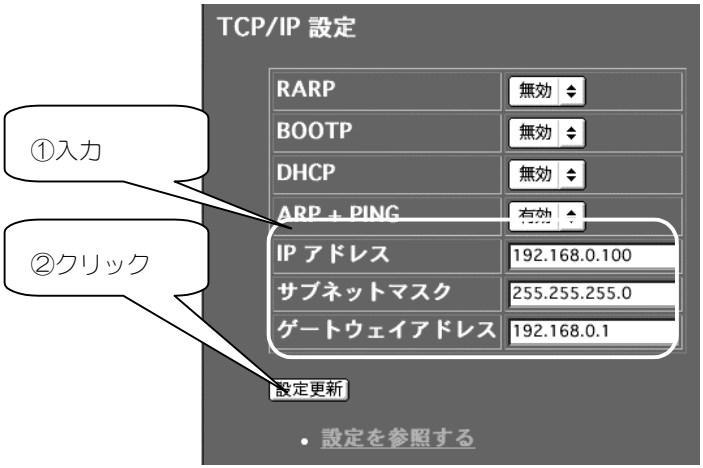
2 [設定を変更する]をクリックします。
⇒[パスワード入力]画面が表示されます。

3 以下を入力後、[OK]ボタンをクリックします。

ユーザー名
→入力する必要はありません。
パスワード
→PLANT　(半角大文字)
※パスワードを変更した場合は、
変更したパスワードを入力します。



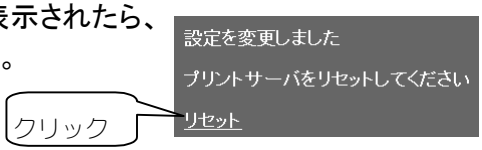
4 本製品のIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスを入力し、[設定更新]ボタンをクリックします。



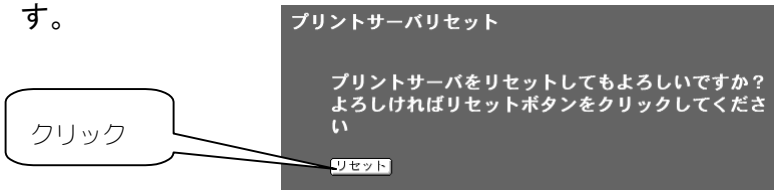
注意！

IP アドレス、サブネットマスクを変更する場合は、ゲートウェイアドレスも設定してください。通常、ネットワーク内に設置されたルータのアドレスを設定します。
ルータがネットワーク内に存在しない場合は、そのまま設定更新をクリックします。
その場合、エラー表示されますが、そのまま[リセット]をクリックしてください。

5 [設定を変更しました]と表示されたら、[リセット]をクリックします。



6 [プリントサーバリセット]という画面で、[リセット]をクリックします。

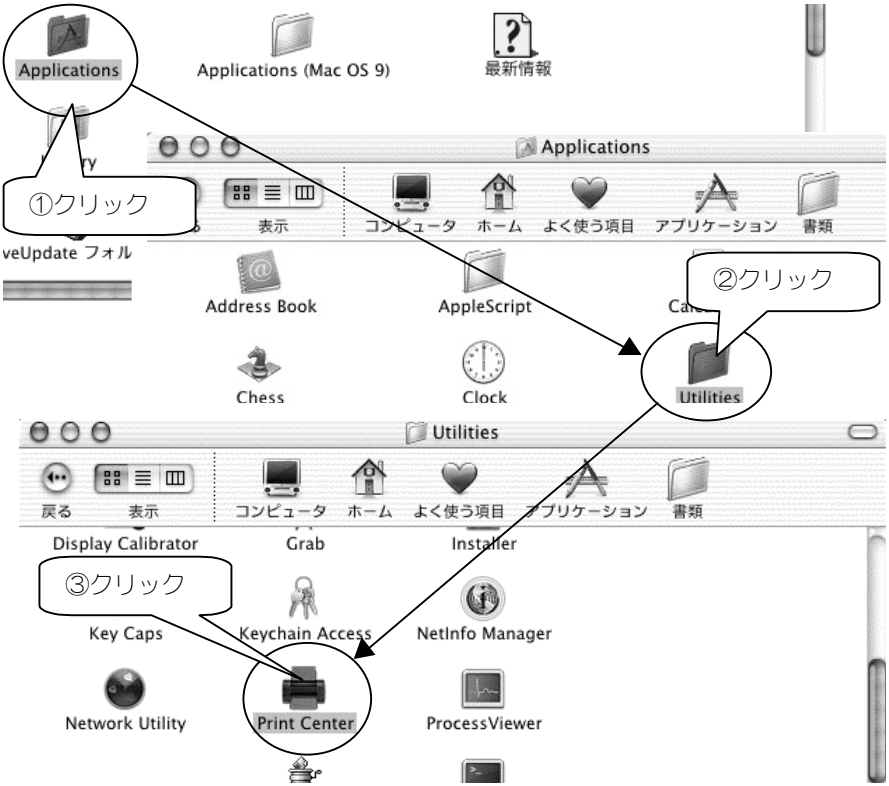


以上で、本製品のIPアドレスは変更されました。設定ページを閉じてください。

印刷設定をする

1 LPR 印刷に対応したプリンタドライバをインストールします。
インストール方法についてはプリンタメーカーの取扱説明書をご覧ください。

2 [Macintosh HD]→[Applications]→[Utilities]→[Print Center]をダブルクリックします。



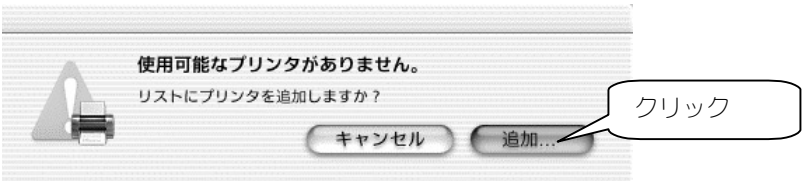
3 プリンタが登録されていない場合

…「使用可能なプリンタがありません。リストにプリンタを追加しますか？」と表示されますので、「追加」をクリックします。

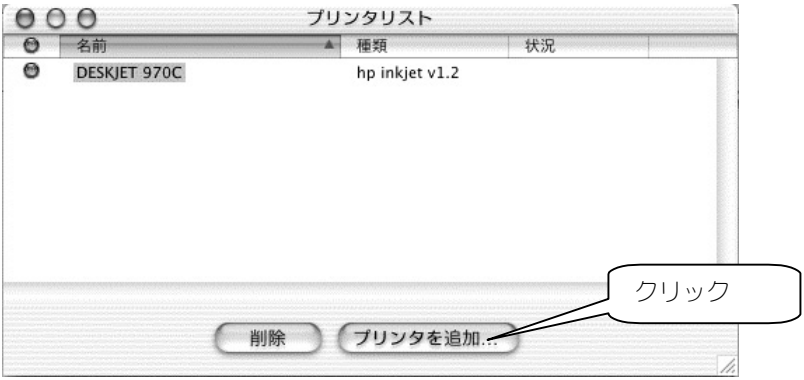
既にプリンタが登録済みの場合

…「プリンタリスト」画面で「プリンタを追加」ボタンをクリックします。

▼登録されていない場合

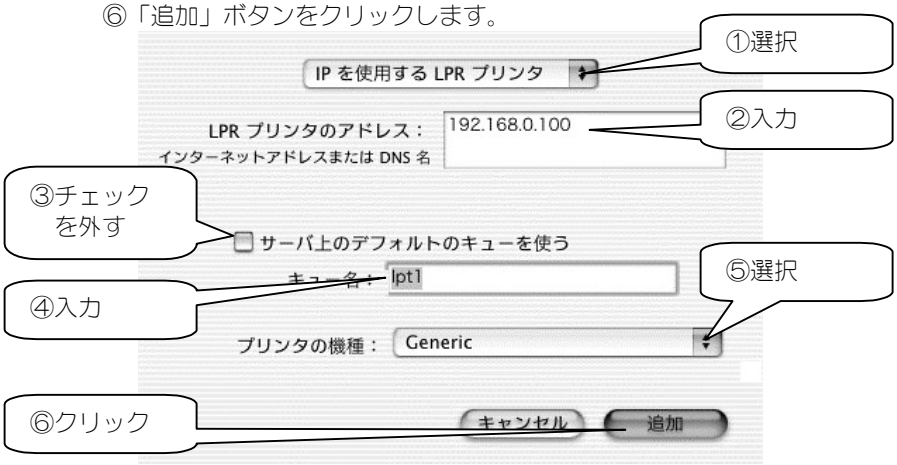


▼登録済みの場合



4 プリンタの追加をします。

①「IP を使用する LPR プリンタ」を選択します。
②「LPR プリンタのアドレス：」に本製品の IP アドレスを入力します。
③「サーバ上のデフォルトのキューを使う」のチェックを外します。
④「キュー名：」に「lpt1」と入力します。
⑤「プリンタの機種：」からご使用のプリンタを選択します。
⑥「追加」ボタンをクリックします。



5 プリンタリスト画面に戻りますので、プリンタが追加されていることを確認してください。



6 タイトルバーの（X）ボタンをクリックして画面を閉じます。

EtherTalkでの印刷

Mac OS Xで、EtherTalkプロトコルを使用して印刷する方法を説明しています。

1 EtherTalk 対応のプリンタドライバをインストールします。

インストール方法についてはプリンタメーカーの取扱説明書をご覧ください。

2 AppleTalk が使用可能になっていることを確認します。

《確認方法》

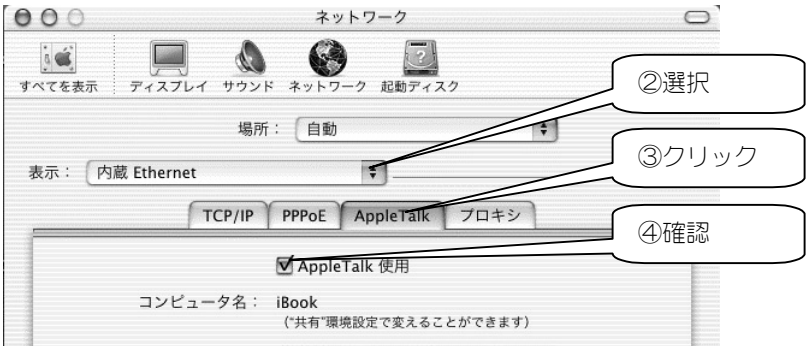
①[アップルメニュー]→[場所]→[ネットワーク環境設定]をクリックします。

②[表示:]でお使いの LAN アダプタを選択します。

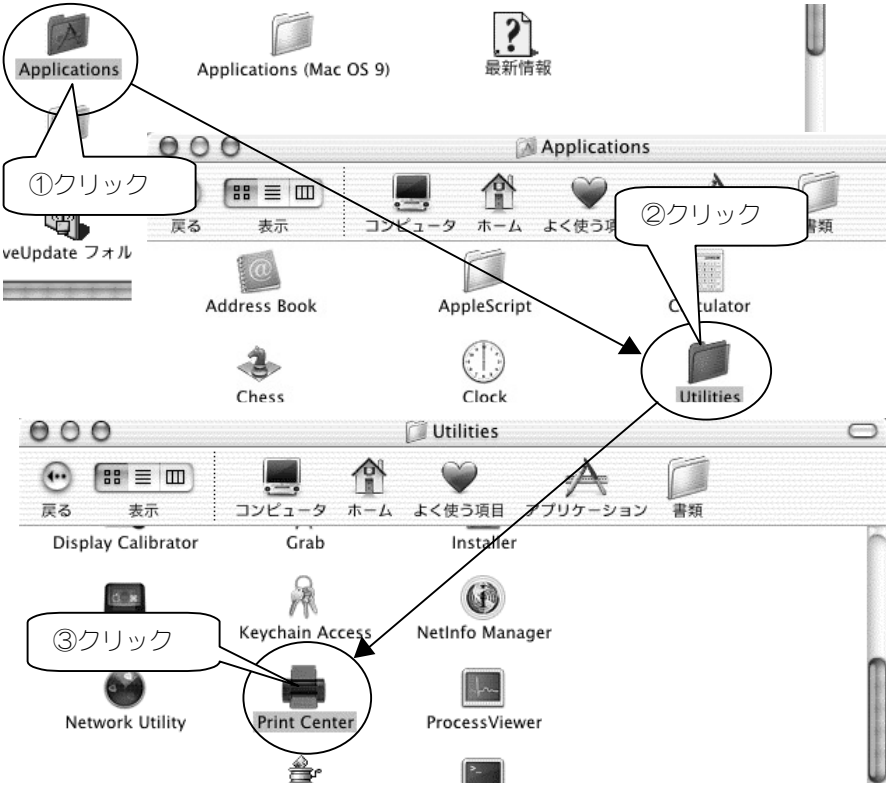
③[AppleTalk]タブをクリックします。

④[AppleTalk 使用]にチェックが付いていることを確認します。

⑤タイトルバーの(×)マークをクリックしてウィンドウを閉じます。



3 [Macintosh HD]→[Applications]→[Utilities]→[Print Center]をダブルクリックします。



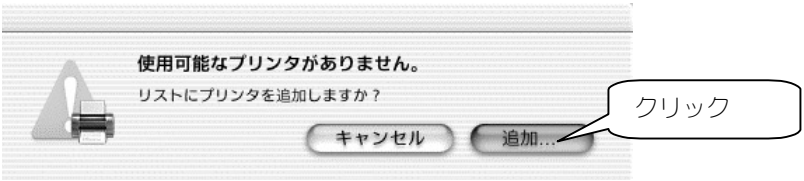
4 **プリンタが登録されていない場合は、**

「使用可能なプリンタがありません。リストにプリンタを追加しますか？」と表示されますので、「追加」をクリックします。

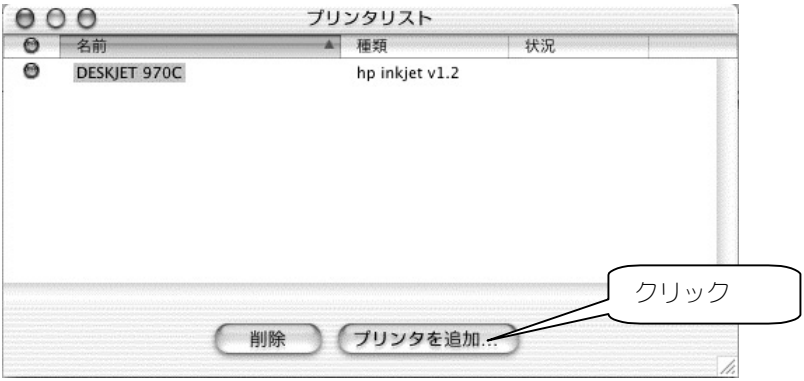
既にプリンタが登録済みの場合は、

「プリンタリスト」画面で「プリンタを追加」ボタンをクリックします。

▼登録されていない場合



▼登録済みの場合



5 プリンタの追加をします。

①[AppleTalk]を選択します。

②リストアップされた名前から IO_xxxxxx.LPT1 を選択します。

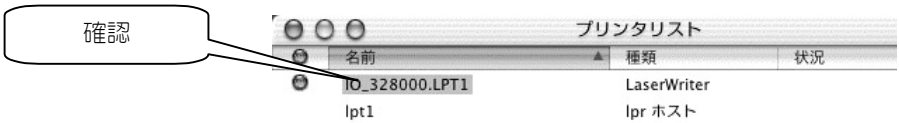
（工場出荷時の名前です。xxxxxx は本製品の MAC アドレスの下6桁を表します。MAC アドレスは、本製品底面のラベル面に記載されています。）

③[プリンタの機種：]から使用したいプリンタを選択します。

④[追加]ボタンをクリックします。



6 プリンタリストウィンドウに戻りますので、プリンタが登録されていることを確認してください。



7 タイトルバーの(×)ボタンをクリックしてウィンドウを閉じます。

7 Mac OS（Classic）から印刷する

AppleTalkが使用できることを確認する …… 102
- PostScriptプリンタへの印刷 …… 103
- キヤノン製プリンタへの印刷例 …… 104
- エプソン製プリンタへの印刷例 …… 107

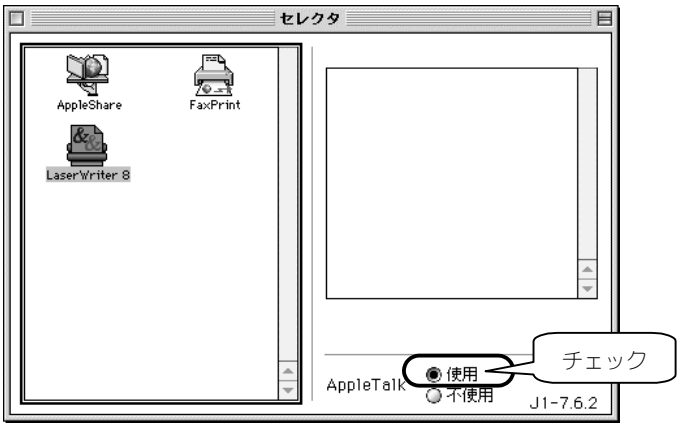
AppleTalkが使用できることを確認する

AppleTalkが正常に使用できることを確認します。

AppleTalkが使用できることを確認したら、それぞれの環境にて設定を行ってください。

1 [アップルメニュー]→[セレクタ]を順にクリックします。

2 [セレクタ]画面の[AppleTalk]の[使用]をチェックします。



これでAppleTalkが正常に使用できます。お使いの環境により、以下の必要なページをご覧ください。

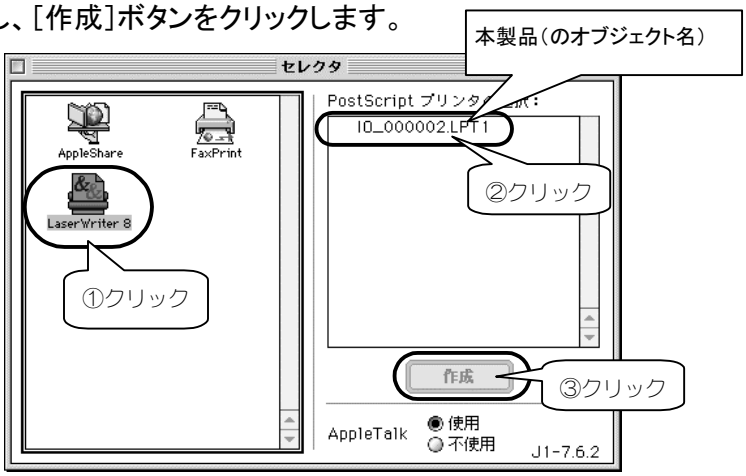
【PostScriptプリンタへの印刷】	→ 次ページを参照してください。
【キヤノン製プリンタへの印刷例】	→ 104ページを参照してください。
【エプソン製プリンタへの印刷例】	→ 107ページを参照してください。

PostScriptプリンタへの印刷

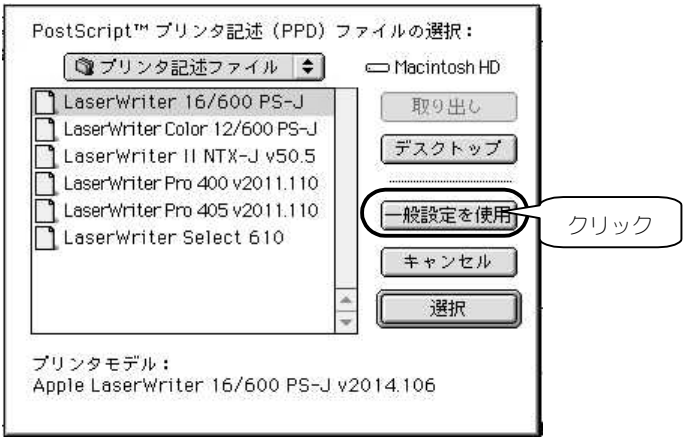
Mac OSで、EtherTalkを使用して、PostScriptプリンタへ印刷する方法を説明しています。［セレクタ］を設定して実際に印刷してみましょう。

※以下は、LaserWriter互換プリンタの場合の手順を説明します。

1 ［LaserWriter 8］アイコン、本製品（IO_xxxxxx.LPT1）を順にクリックし、［作成］ボタンをクリックします。



2 以下の画面で［一般設定を使用］ボタンをクリックします。



以上で設定は終了です。

デスクトップ上にアイコンが追加されますので、印刷してみてください。

キヤノン製プリンタへの印刷例

ここでは新潟キヤノテック製「Print Caddie 3」を用い、キヤノン製プリンタへ印刷する例を説明します。

あらかじめ以下のことをご確認ください。

① AppleTalkが正常に使用できること
② 新潟キヤノテック製「Print Caddie 3」が正常にインストールされていること※

※インストール方法は、「Print Caddie 3」付属の取扱説明書をご覧ください。

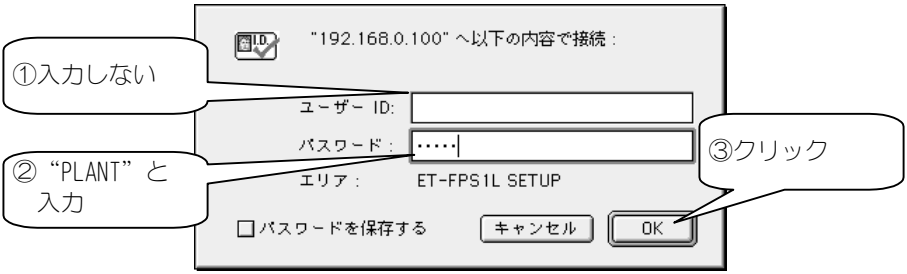
1 [設定ページ]画面の[EtherTalk]をクリックします。
⇒[EtherTalk設定]画面が表示されます。

2 [設定を変更する]をクリックします。

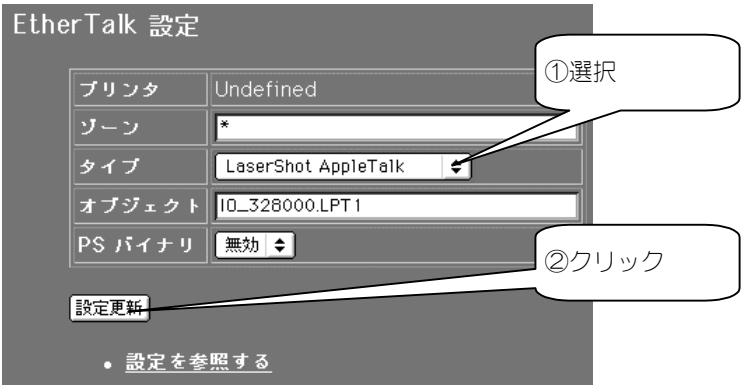
3 以下の画面が表示されますので、以下を入力後、[OK]ボタンをクリックします。

ユーザーID:入力する必要はありません。
パスワード: PLANT （半角大文字）

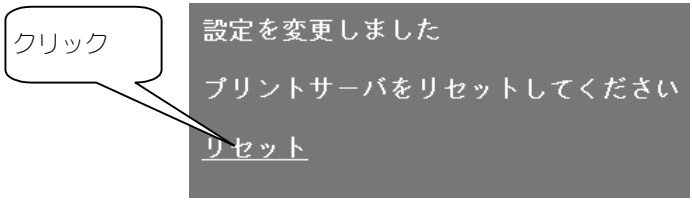
※パスワードを変更した場合は、変更したパスワードを入力します。



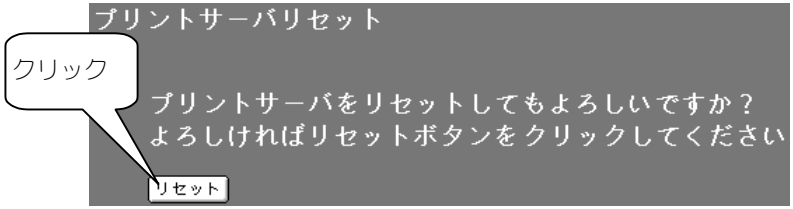
4 [タイプ名]で[LaserShot AppleTalk]を選択し、[設定更新]ボタンをクリックします。



5 変更を有効にするために[リセット]をクリックします。



6 以下の画面で[リセット]をクリックします。
⇒本製品を自動的にリセット(再起動)し、設定が反映されます。



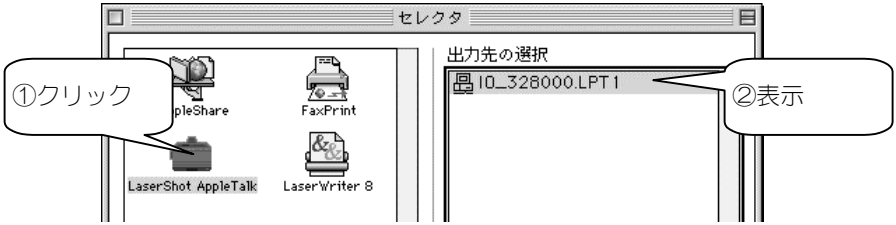
7 [設定ページ]画面が再度表示されたら、[EtherTalk設定]ページに移動し、正しく設定されていることを確認してください。
Webブラウザは終了して構いません。

8 [アップルメニュー]→[セレクタ]を順にクリックします。

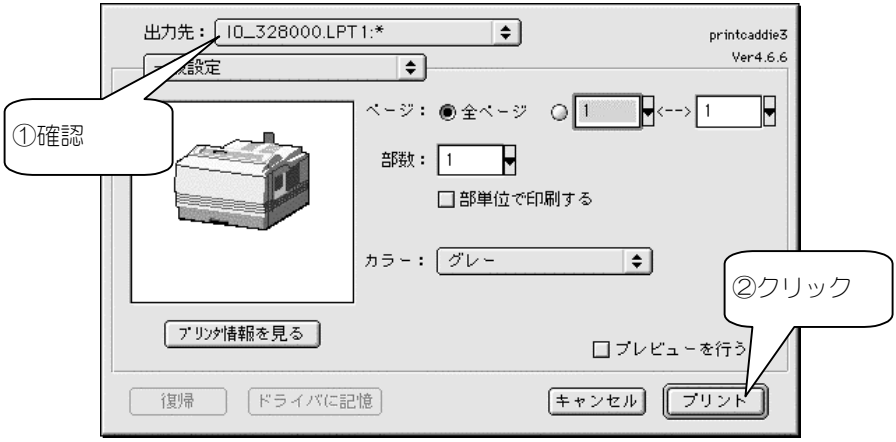
9 [セレクタ]画面で、[AppleTalk]の[使用]をクリックします。

10 [LaserShot AppleTalk]アイコンをクリックすると、「プリンタの選択:(または「出力先の選択」)リストにIO_xxxxxx.LPT1が表示されます。

※xxxxxxは本製品のMACアドレス下6桁です。MACアドレスは、本製品底面のラベル面に記載されています。「IO_xxxxxx.LPT1」は工場出荷時の場合です。



11 アプリケーションからプリントを選択した場合、「出力先:」が「IO_xxxxxx.LPT1:*」になっていることを確認し、「プリント」ボタンをクリックし印刷します。



エプソン製プリンタへの印刷例

ここではエプソン製プリンタへ印刷する例を説明します。

あらかじめ以下のことをご確認ください。

① AppleTalkが正常に使用できること
② EtherTalk対応ドライバが正常にインストールされていること※

※インストール方法は、**エプソン製 EtherTalk 対応ドライバ添付の取扱説明書**をご覧ください。

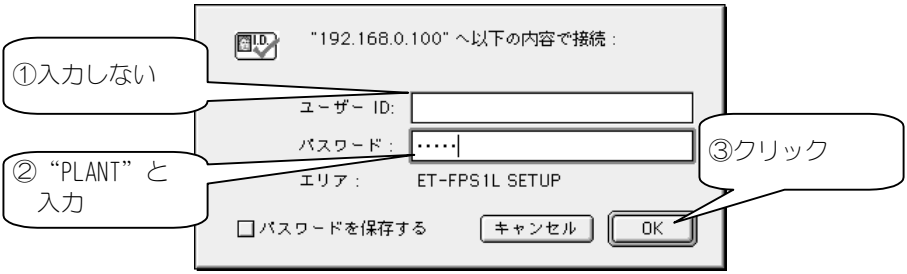
1 [設定ページ]画面の[EtherTalk]をクリックします。
⇒[EtherTalk設定]画面が表示されます。

2 [設定を変更する]をクリックします。

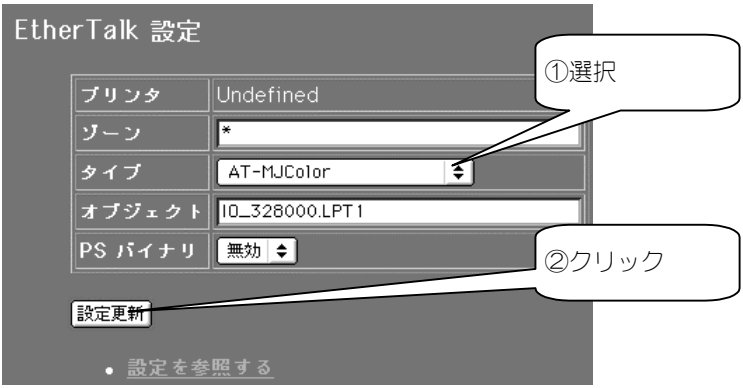
3 以下の画面が表示されますので、以下を入力後、[OK]ボタンをクリックします。

ユーザーID：入力する必要はありません。
パスワード： PLANT （半角大文字）

※パスワードを変更した場合は、変更したパスワードを入力します。



4 [タイプ名]で[AT-MJColor]を選択し、[設定更新]ボタンをクリックします。

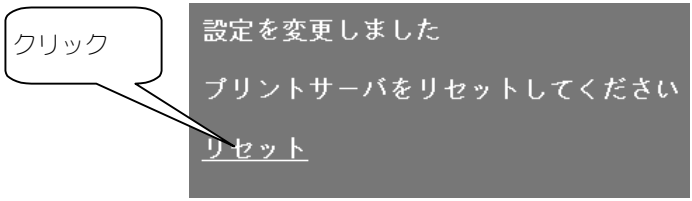


5 [プリンタタイプ]で使用するプリンタ名を入力し、[設定更新]ボタンをクリックします。

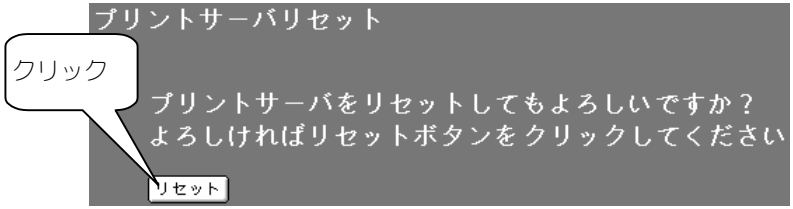
画面はMJ-900Cの例です。その他のエプソン製プリンタは、製品名を大文字で入力します。



6 変更を有効にするために[リセット]をクリックします。



7 以下の画面で[リセット]をクリックします。
⇒本製品を自動的にリセット(再起動)し、設定が反映されます。



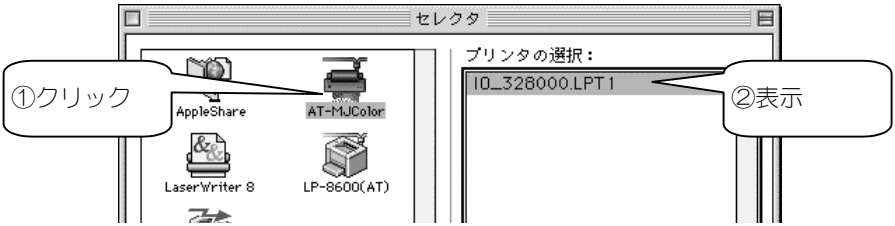
8 [設定ページ]画面が再度表示されたら、[EtherTalk設定]ページに移動し、正しく設定されていることを確認してください。
Webブラウザは終了して構いません。

9 [アップルメニュー]→[セレクタ]を順にクリックします。

10 [セレクタ]画面で、[AppleTalk]の[使用]をクリックします。

11 [AT-MJColor]アイコンをクリックすると、「プリンタの選択：（または「出力先の選択」）リストにIO_xxxxxx.LPT1が表示されます。

※xxxxxxは本製品のMACアドレス下６桁です。MACアドレスは、本製品底面のラベル面に記載されています。「IO_xxxxxx.LPT1」は工場出荷時の場合です。



12 アプリケーションからプリントを選択した場合、「Printer：」が「IO_xxxxxx.LPT1：＊」になっていることを確認し、「印刷」ボタンをクリックし印刷します。



8 インターネット経由で印刷する

IPP印刷 ····· 112



注意！

ファイヤウォールの設定によっては、インターネットを経由した先の本製品に接続できない場合があります。



参考

●IPP とは？

IPP（Internet Printing Protocol）とは、HTTPを使用して印刷データを送信することにより、インターネット経由でのリモートプリントを実現する機能です。
本製品は、標準で IPP Ver1.0(RFC2565-2569 の一部)の機能を実装していますので、Windows XP/2000 の標準クライアントを使用することでインターネットを経由した印刷が可能となります。

IPP印刷

本製品はIPP Ver1.0に対応していますので、Windows XP/2000に標準搭載されているIPPクライアントからの印刷が行えます。これにより、インターネット経由で印刷することができます。

本製品のIPアドレスを設定する

印刷設定の前に、本製品のIPアドレスの設定が必要です。
あらかじめ以下のことをご確認ください。

① 設定画面が正常に起動できること※
② 本製品へ割り当てるIPアドレスが決定されていること
③ 本製品を設置するネットワーク内のルータアドレスが分かっていること

※【3. 設定画面を起動する】（55ページ）をご覧ください。

本製品の初期値である192.168.0.100から変更の必要がない場合は、ゲートウェイアドレスの設定のみ行い、印刷設定を行ってください。

1 [設定ページ]画面の[TCP/IP]をクリックします。
⇒[TCP/IP設定]画面が表示されます。

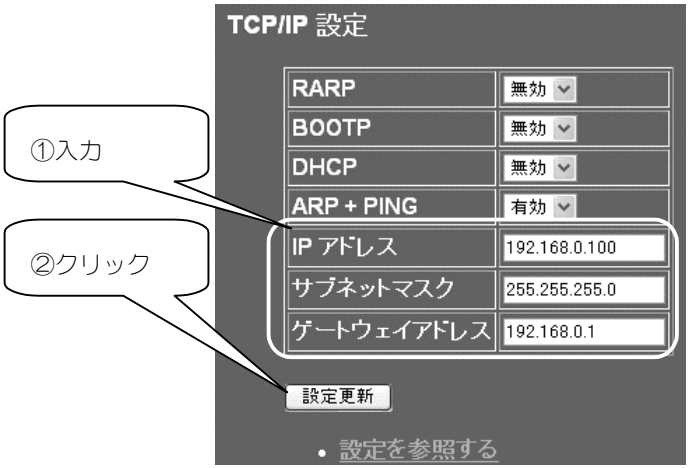
2 [設定を変更する]をクリックします。
⇒[パスワード入力]画面が表示されます。

3 以下を入力後、[OK]ボタンをクリックします。

ユーザー名
→入力する必要はありません。
パスワード
→PLANT　（半角大文字）
※パスワードを変更した場合は、
変更したパスワードを入力します。



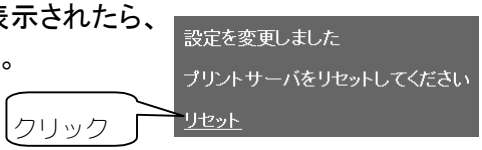
4 本製品のIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスを入力し、[設定更新]ボタンをクリックします。



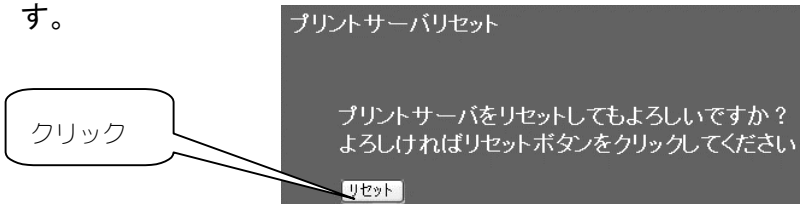
注意！

必ず、ネットワーク内のルータアドレスをゲートウェイアドレスとして設定してください。

5 [設定を変更しました]と表示されたら、[リセット]をクリックします。



6 [プリントサーバリセット]という画面で、[リセット]をクリックします。



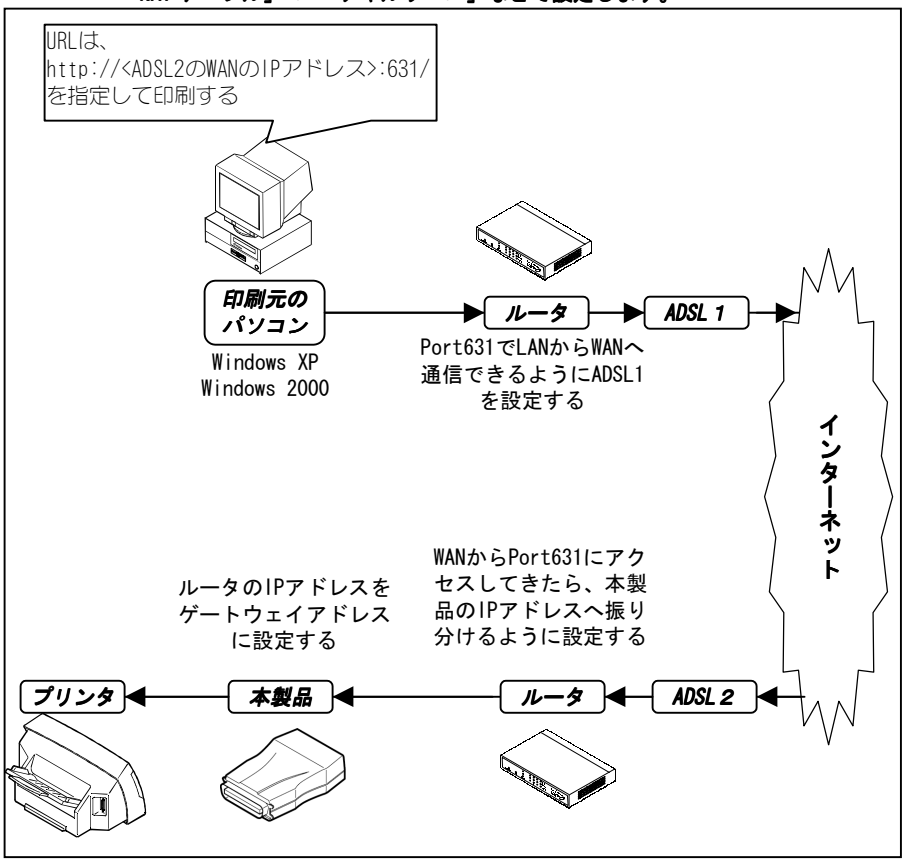
以上で、本製品のIPアドレスは変更されました。設定ページを閉じてください。

印刷設定はOSによって異なりますので、必要なページのみご覧ください。

・ Windows XPをお使いの場合	→ 115ページを参照してください。
・ Windows 2000をお使いの場合	→ 119ページを参照してください。

参考

下図は印刷例です。
ルータによって設定方法は異なりますが、通常は「IP マスカレードの詳細設定」「NAT テーブル」「バーチャルサーバ」などで設定します。

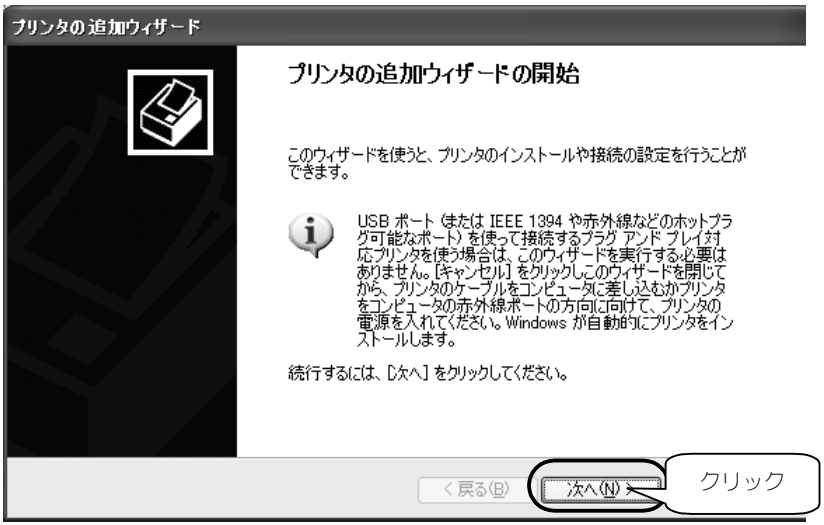


Windows XPで印刷する

1 [スタート]→[コントロールパネル]から[プリンタとFAX]を開き、[プリンタのインストール]をクリックします。



2 [次へ]ボタンをクリックします。



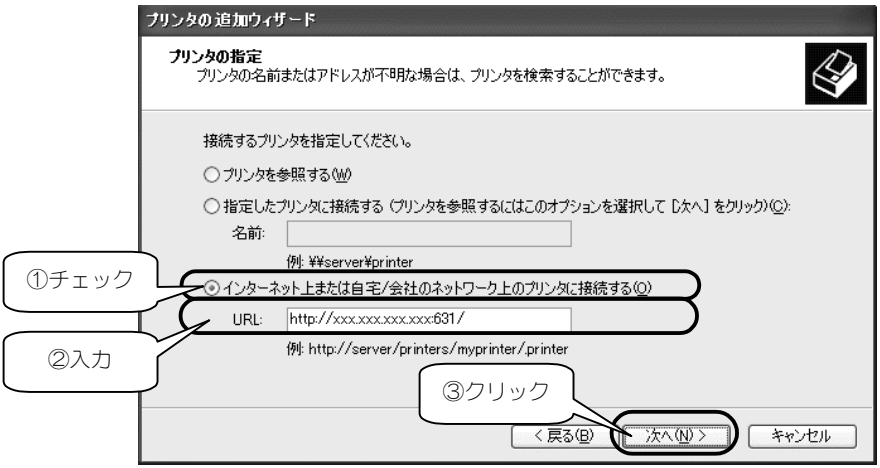
3 [ネットワークプリンタ…]をチェック後、
[次へ]ボタンをクリックします。



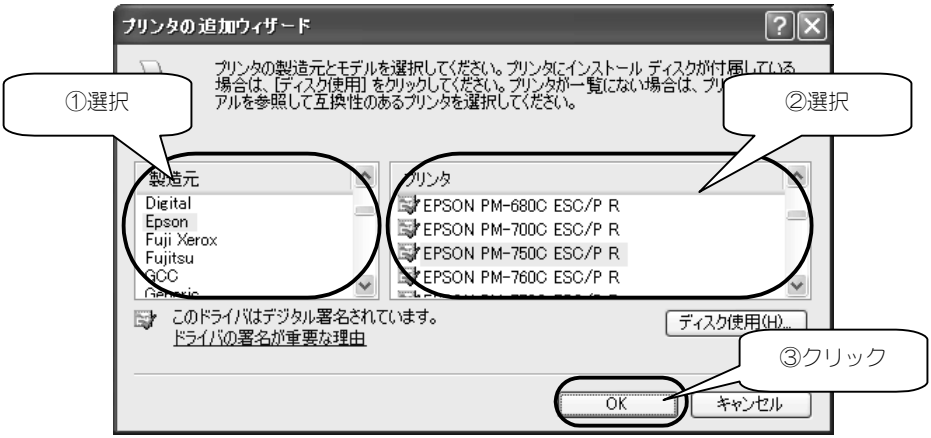
4 [インターネット上または…]をチェック後、
[URL]欄に以下を入力し、[次へ]ボタンをクリックします。

http://xxx.xxx.xxx.xxx:631/

(xxx.xxx.xxx.xxxは接続先のグローバルIPアドレスです。)



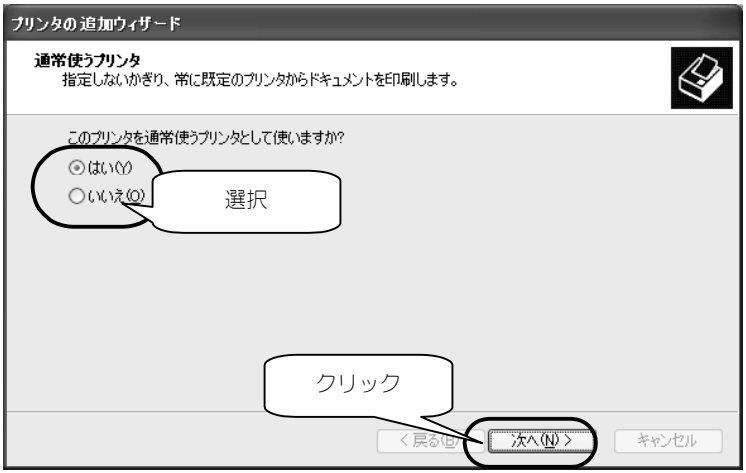
5 お使いのプリンタの[製造元]と[プリンタ]を選択して、[OK]ボタンをクリックします。



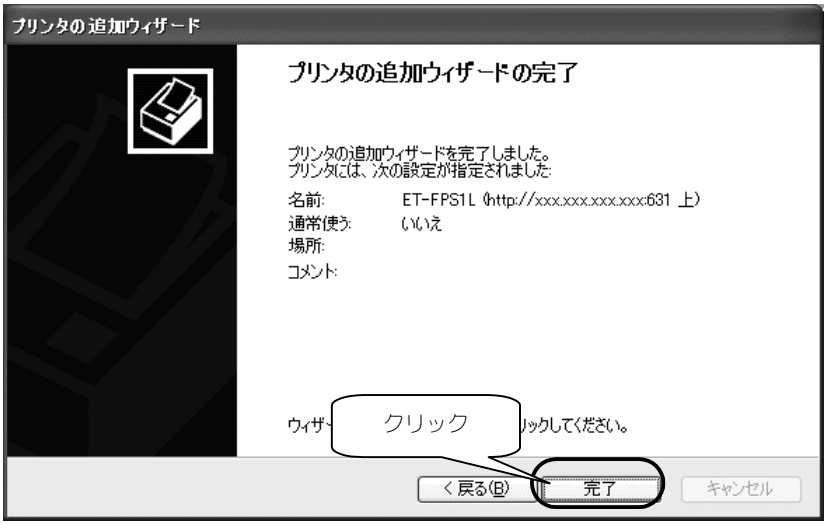
注意！

お使いのプリンタが表示されない場合は Windows XP にプリンタドライバが収録されておりません。
お使いのプリンタの取扱説明書を参照し、[ディスク使用]ボタンをクリックしてプリンタ ドライバのインストールを行ってください。

6 [はい]または[いいえ]を選択して、[次へ]ボタンをクリックします。



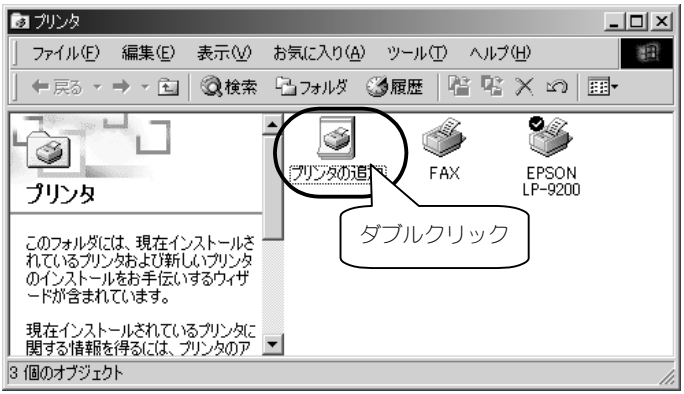
7 [完了]ボタンをクリックします。



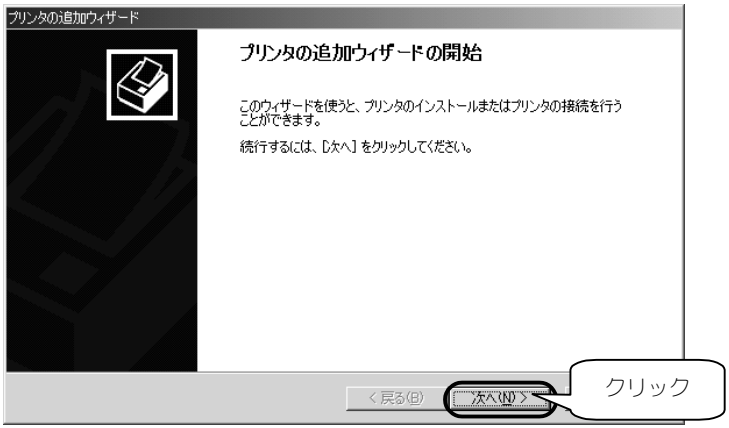
以上ですべての設定は終了です。
本製品を利用して実際に印刷できるかお試しください。

Windows 2000で印刷する

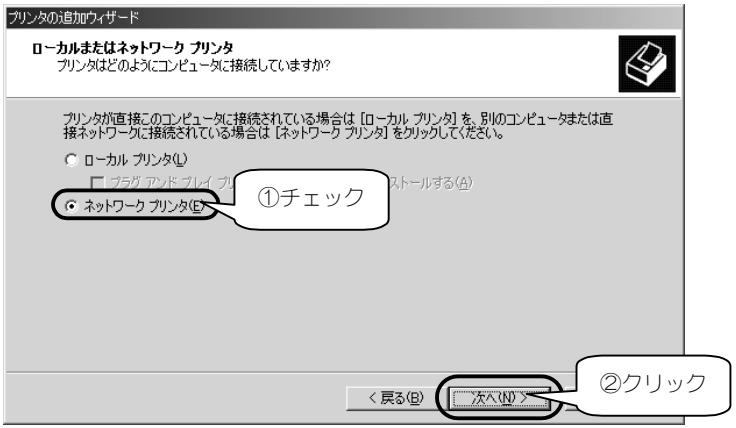
1 [スタート]→[設定]→[プリンタ]を順にクリック後、
[プリンタの追加]アイコンをダブルクリックします。



2 [次へ]ボタンをクリックします。



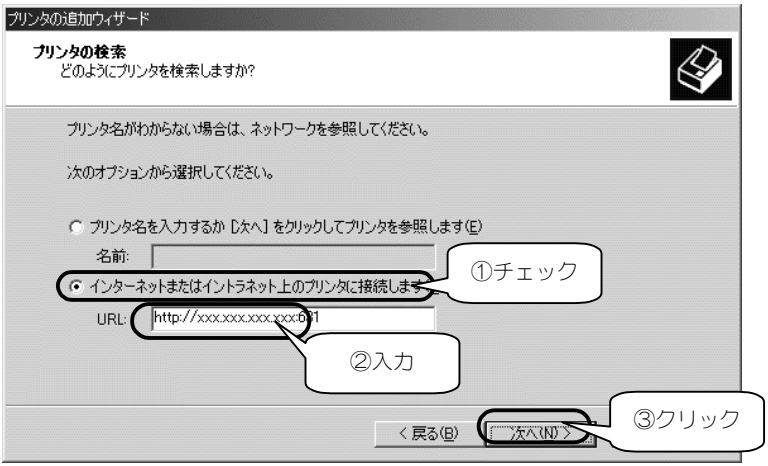
3 [ネットワークプリンタ]をチェック後、
[次へ]ボタンをクリックします。



4 [インターネットまたはイントラネット上の…]をチェック後、
[URL]欄に以下を入力し、[次へ]ボタンをクリックします。

http://xxx.xxx.xxx.xxx:631

（xxx.xxx.xxx.xxxは接続先のグローバルIPアドレスです。）



5 [OK]ボタンをクリックします。



注意！

本製品に接続されているプリンタと Compatible モードで接続されている場合はプリンタの情報が取得できないため、プリンタ名が「'unknown'」と表示されます。ECP/Nibble モードで接続されている場合は、下記のようにプリンタ名が表示されます。接続されているモードにつきましては、テスト印字などにて確認することができます。(テスト印刷方法については、[4. テスト印刷する] (31 ページ)を参照してください。)

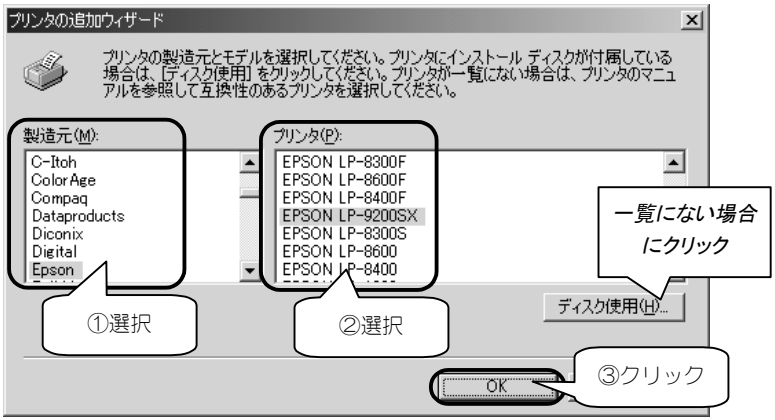


注意！

本製品と正しく通信が行えない場合は、次のような画面が表示されますので、4の手順で指定した内容が正しいかどうか、およびインターネットを経由した先に本製品が設置されている場合は、ファイヤウォールが正しく設定されているかを確認してください。



6 お使いのプリンタの[製造元]と[プリンタ]を選択して、
[OK]ボタンをクリックします。



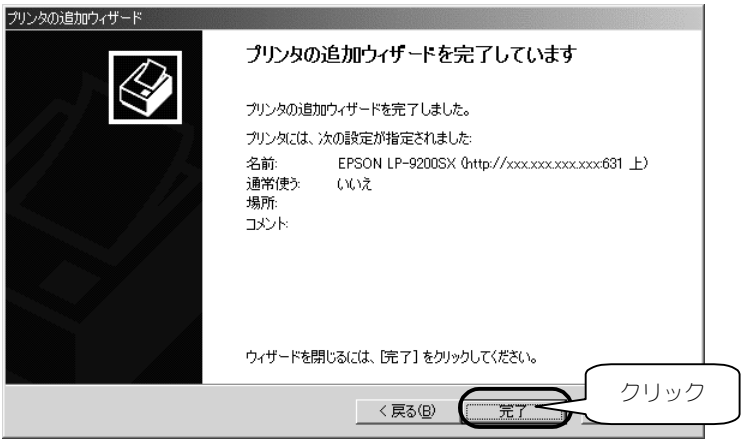
注意！

お使いのプリンタが表示されない場合は Windows 2000 にプリンタドライバが収録されておりません。
お使いのプリンタの取扱説明書を参照し、[ディスク使用]ボタンをクリックしてプリンタ ドライバのインストールを行ってください。

7 [はい]または[いいえ]を選択して、
[次へ]ボタンをクリックします。



8 [完了]ボタンをクリックします。



以上ですべての設定は終了です。
本製品を利用して実際に印刷できるかお試しください。

MEMO

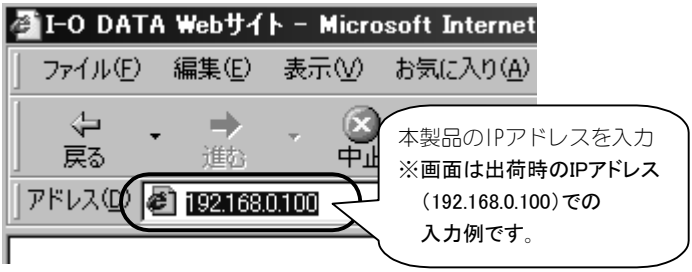
9 他の設定をする

設定画面の起動 …… 126
設定内容の概要 …… 127
基本的な変更手順 …… 129
[TCP/IP]の設定 …… 132
[EtherTalk]の設定 …… 136
[SMB]の設定 …… 142
[SNMP]の設定 …… 146
[ROM バージョン]の確認 …… 147
[イーサネットテータス]の設定 …… 148
[パラレルポート]の設定 …… 149
[エラーコード]の確認 …… 151
[印刷バッファクリア] …… 152
[プリントサーバリセット] …… 153
[プリンタステータス] …… 154
[ブートディレイ]の設定 …… 155
[パスワード変更] …… 156
ファームウェアのアップデート …… 157

設定画面の起動

Webブラウザの設定画面は以下の手順で起動します。

1 Webブラウザを起動し、本製品に設定したIPアドレス（出荷時の場合：192.168.0.100）を入力し、[Enter]キーを押します。



2 設定ページ画面（設定メイン画面）が表示されます。



次ページ以降を参照して設定してください。

設定内容の概要

設定ページ画面から、「ネットワーク設定」「ハードウェア設定」「パスワード設定」を行うことができます。

● *[ネットワーク設定]*

TCP/IP、EtherTalk、SMB、SNMPで本製品を使用する場合の設定の確認と変更を行うことができます。確認や変更を行いたいプロトコルをクリックします。

項目	設定内容	参照頁
TCP/IP	TCP/IPで通信するために必要なIPアドレスなどの設定値を確認および変更することができます。	132
EtherTalk	EtherTalkで通信するために必要なプリンタタイプ名などの設定値を確認および変更することができます。	136
SMB	SMBで通信するために必要な下位層プロトコル(TCP/IP、NetBEUI)の設定値を確認および変更することができます。	142
SNMP	SNMPで通信するために必要なコミュニティ名の設定値を確認および変更することができます。	146

● *[ハードウェア設定]*

本製品のハードウェアに関する設定の確認と変更を行うことができます。確認や変更を行いたい項目をクリックします。

項目	設定内容	参照頁
ROM バージョン	本製品で現在使用しているファームウェアのバージョンを確認できます。	147
イーサネット ステータス	本製品のイーサネットの設定を確認および変更することができます。	148
パラレルポート	本製品の電源を入れた時のプリンタとの接続確認時のモード(接続されているプリンタとネゴシエーションを行うためのモード)を確認および変更することができます。	149

項目	設定内容	参照頁
エラーコード	本製品で過去に発生したエラーの履歴を確認することができます。	151
印刷バッファクリア	本製品のバッファ内のデータを削除します。	152
プリントサーバリセット	本製品のソフトウェアリセットを行います。	153
プリンタステータス	接続したプリンタの現在の状態を表示します。	154
ブートディレイ	本製品の起動時の遅延時間を確認および変更することができます。	155

● *[パスワード設定]*

項目	設定内容	参照頁
パスワード変更	ブラウザで本製品にログインする時のパスワードの変更を行います。	156

● *ファームウェアのアップデート*

※本設定は、[設定ツール]メニュー内にはありません。

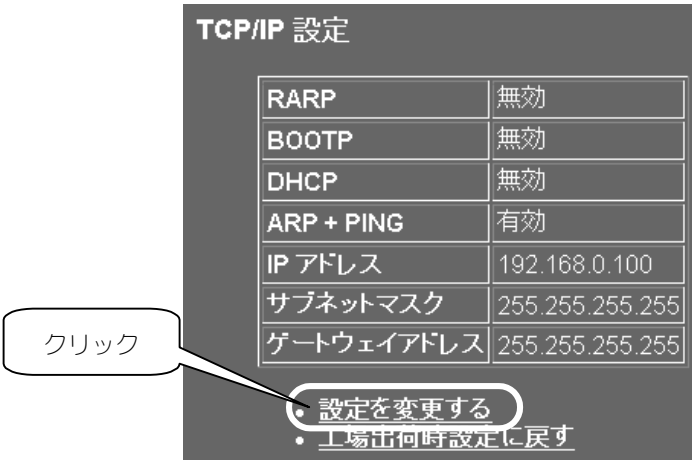
項目	設定内容	参照頁
ファームウェアのアップデート	本製品のファームウェアのアップデートを行います。	157

基本的な変更手順

ここでは、基本的な設定の変更手順の例をTCP/IPでの設定を例として説明します。
以下および次ページ以降の画面はすべてWindowsパソコンでの例です。

1 [設定ページ]画面の[TCP/IP]をクリックします。
⇒[TCP/IP設定]画面が表示されます。

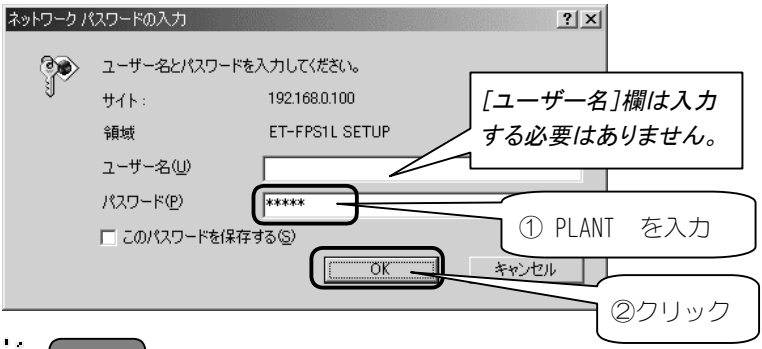
2 画面の[設定を変更する]をクリックします。



3 以下の画面が表示されます。
以下を入力後、[OK]ボタンをクリックします。

ユーザー名: 入力する必要はありません。
パスワード: PLANT （半角大文字）

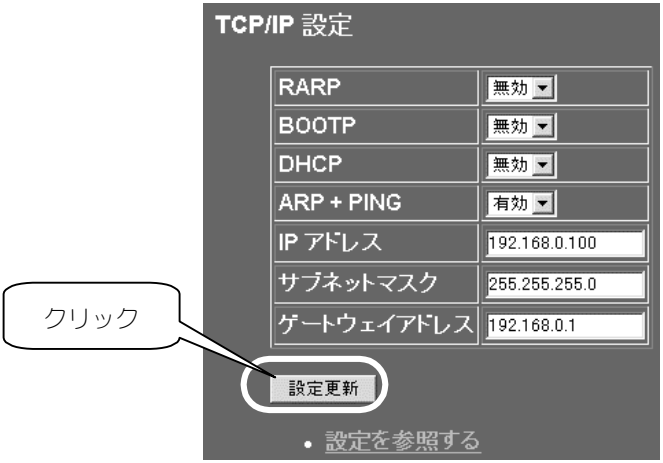
※パスワードを変更している場合は、変更したパスワードを入力します。



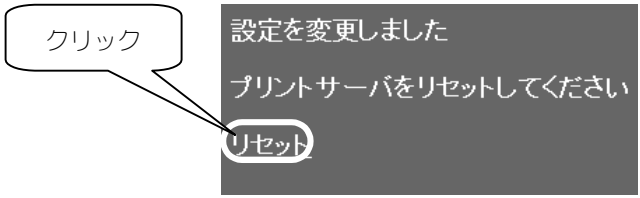
参考

[パスワード]は管理者以外が設定できないようにしたり、誤って設定することを防ぐためのものです。出荷時の[パスワード]は[PLANT]となっていますが、必要に応じて変更してください。変更方法は、156 ページを参照してください。

4 必要に応じて、設定を変更します。
変更後、[設定更新]ボタンをクリックします。



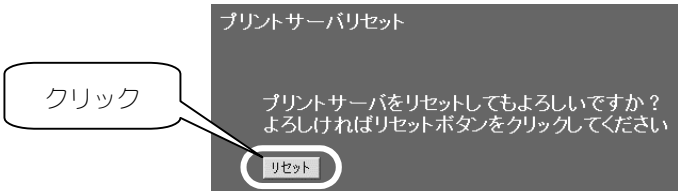
5 変更を有効にするために[リセット]をクリックします。
※再度設定を見なおしたり、設定をやり直す場合は、メニューバー上の[戻る]で設定をやり直してください。



注意！

修正した内容を本製品に反映するには、[設定更新]ボタンだけでは反映されません。上記の[リセット]をクリック後、次の手順の[リセット]ボタンをクリックすると、本製品が自動的に再起動(リセット)され、初めて設定した内容が本製品に反映されます。

6 以下の画面で[リセット]ボタンをクリックします。



本製品を自動的にリセット(再起動)し、設定が反映されます。
以上で設定終了です。

［TCP/IP］の設定

設定画面の［TCP/IP］をクリックすれば、本製品のTCP/IP環境の設定を変更することができます。



項目	内容
RARP	RARPサーバが存在する環境では、本製品のTCP/IP設定をRARPサーバから取得することができるようになります。 （有効/無効）
BOOTP	BOOTPサーバが存在する環境では、本製品のTCP/IP設定をBOOTPサーバから取得することができるようになります。 （有効/無効）
DHCP	DHCPサーバが存在する環境では、本製品のTCP/IP設定をDHCPサーバから取得することができるようになります。（次ページの【DHCPをご利用になる場合の注意】も参照してください。） （有効/無効）
ARP + PING	同一セグメント内において、“ARP”と“PING”によるIPアドレスの設定ができるようになります。 （有効/無効） 135ページの【WindowsでARP,PINGによるIPアドレスの設定手順】も参照してください。

項目	内容
IPアドレス	本製品に割り当てるIPアドレスを入力します。
サブネットマスク	ご使用になる環境にサブネットマスクが設定されている場合は、同一のマスクを入力する必要があります。
ゲートウェイ アドレス	ご使用になる環境にゲートウェイ（ルータ）が存在する場合には、ゲートウェイ（ルータ）のIPアドレスを入力する必要があります。 ゲートウェイ（ルータ）を使用していない場合でも空白にはできません。

設定を変更する	設定を変更する場合にクリックします。
工場出荷時設定に戻す	本製品のTCP/IP環境の設定を工場出荷時に戻します。

DHCPをご利用になる場合の注意

［DHCP］項目を［有効］に設定して、IPアドレスをDHCPサーバ（例：Windows 2000サーバおよびWindows NTサーバなど）から取得する設定にした場合は、DHCPサーバの設定時に本製品のIPアドレスを予約するようお薦めします。

DHCPを使用するとIPアドレスの管理が簡単になりますが、本製品を含め各DHCPクライアントが使用するIPアドレスが固定でなくなります。本製品の場合、本製品のIPアドレスが変わると印刷をするパソコンの印刷時の設定変更が必要になります。（各パソコンの印刷用設定時に本製品のIPアドレスを指定している場合）
このような事態を避けるため、DHCPサーバの中にはIPアドレスの予約ができるようになっているもの（例：Windows 2000サーバおよびWindows NTサーバなど）がありますので、予約ができる場合は、DHCPサーバの設定時に本製品のIPアドレスを予約してください。



注意！

ネットワーク上に WINS サーバが存在し、WINS による名前解決を行える環境で、以下の場合は IP アドレスの予約を行う必要はありません。
・［SMB］の設定で［WINS］項目を［有効］にしている
・［TCP/IP］の設定で［DHCP］項目を［有効］にしている

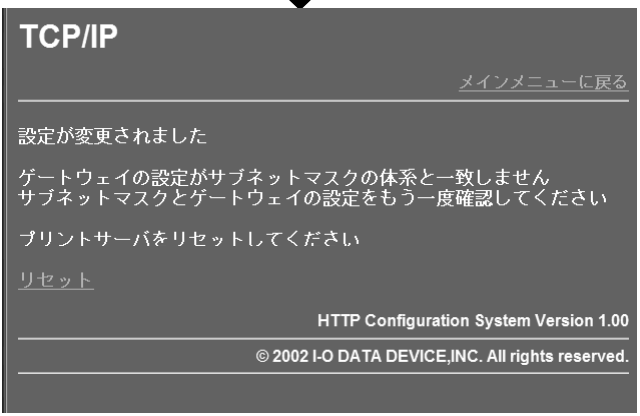
［サブネットマスク］のみ変更時の注意

出荷時の設定から以下の例のように［サブネットマスク］のみを変更した場合は以下の画面が表示されますが、問題なく［サブネットマスク］を設定できます。

・サブネットマスク変更例

出荷時の［サブネットマスク］		変更した［サブネットマスク］
255.255.255.255	→	255.255.255.0

・変更時に表示される画面例



WindowsでARP,PINGによるIPアドレスの設定手順

(1)設定したい本製品の MAC アドレスをメモしておきます。
（本製品底面のラベル面に記載されている[00A0B0]ではじまる数値が本製品の MAC アドレスです。）

(2)設定したい IP アドレスを決定します。

(3)MS-DOS プロンプト（またはコマンドプロンプト）より次のように入力します。

C:¥WINDOWS>arp -s xxx.xxx.xxx.xxx 00-a0-b0-yy-yy-yy

xxx.xxx.xxx.xxx ： 設定したい IP アドレス

yy-yy-yy ： 本製品の MAC アドレス下6桁

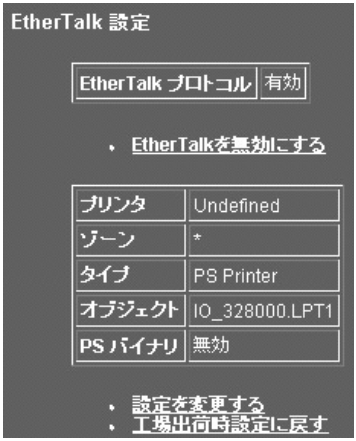
(4)さらに次のように入力します。

C:¥WINDOWS>ping xxx.xxx.xxx.xxx

(5)以上の手順で IP アドレスを割り振ることができます。

[EtherTalk]の設定

設定画面の[EtherTalk]をクリックすれば、本製品のEtherTalkに関する設定を変更することができます。



注意！

初期設定では EtherTalk を使用する設定（[EtherTalk プロトコル]項目が[有効]）になっています。
ご使用のネットワーク内に Macintosh パソコンがない場合など、EtherTalk でご使用にならない場合は、[EtherTalk プロトコル]項目を[無効]に設定してください。（【EtherTalk で使用しない場合の注意】139 ページ参照）

項目	内容
EtherTalk プロトコル	EtherTalkの環境下で本製品を使用する/しないを選択します。（有効/無効）
プリンタ	［タイプ］項目で［PS Printer］を選択した場合には、ご使用になられるプリンタの機種をリストから選択します。（【［プリンタ］項目に関する注意】（140ページ）も参照してください。） ※［サポートするパラレルポートモード］項目が、［ECPモード］または［NIBBLEモード］の場合はプリンタの情報を自動的に取得することがあります。その場合は変更を行わないでください。
ゾーン	ご使用になる環境にゾーンが設定されている場合は、本製品が所属するゾーンを割り当てることができます。
タイプ	本製品に接続したプリンタ用のプリンタドライバをリストから選択します。（【［タイプ］項目に関する注意】（141ページ）も参照してください。
オブジェクト	Macintoshのセレクタ上から見えるプリンタ名であり、任意に設定できます。 ※オブジェクト名として使用できるのは以下の文字以外のASCII文字で長さ32文字以内です。 =（イコール）、 *（アスタリスク）、 ~（チルダ）、 @（アットマーク）、 :（コロン）
PSバイナリ	［タイプ］項目で［PS Printer］を設定しているときに本項目［PSバイナリ］の設定内容が有効になります。 ［有効］：バイナリデータを印刷できます。（ASCIIデータも印刷できます）。 ［無効］：ASCIIデータのみとなります。 ※TBCP非対応のプリンタに対して、PSバイナリを［有効］にして印刷すると、正常に動作しません。 ※本製品はBCPには対応していません。

設定を変更する	設定を変更する場合にクリックします。
工場出荷時設定に戻す	本製品のEtherTalkの設定を工場出荷時に戻します。



参考

[ECP]、[PS バイナリ]、[TBCP]、[BCP]、[Nibble]、[Compatible]、[ASCII]、[バイナリ]とは

→ECP とは、

ECP(Extended Capability Port)は HP と Microsoft の 2 社より提案され、IEEE1284 で標準化されている規格です。データ圧縮転送(RLE)をサポートし、高速な転送が可能です。

→PS バイナリとは、

PostScript を使用して印刷データをバイナリで処理します。
別に[PS アスキー]も存在し、PostScript を使用して印刷データを ASCII で処理します。印刷に時間がかかります。

→TBCP とは、

TBCP(Tagged Binary Communications Protocol)はタグ付きバイナリ通信プロトコルです。BCP と互換性はありません。タグを使用して、送信側と受信側を接続し、通信を行います。ASCII より高速に印刷する事ができます。

→BCP とは、

BCP(Binary Communications Protocol)は 8 ビット値で表現できる任意の 256 種類のデータを転送する事ができます。バイナリイメージを含んだ PostScript ジョブの送信に一連の制御文字を含むデータを送信する事ができます。ASCII より高速に印刷する事ができます。

→Nibble(ニブル)とは、

Compatible を双方向に対応させたパラレルポートのモードです。

→Compatible(コンパチブル)とは、

片方向(出力)のみ通信可能な低速なパラレルポートのモードです。

→ASCII(アスキー)とは、

ASCII コードのみで記述されているテキストファイルなど

→バイナリとは

アプリケーション独自のデータなどで構成されるファイルなど

EtherTalkで使用しない場合の注意

本製品は起動すると、EtherTalkの仕様に基づき、定期的にパケットを送出します。これはネットワーク上でEtherTalkを使用していない場合にも行われます。(TCP/IPについては、設定により起動時にのみRARP/BOOTP/DHCPのパケットを送出します。起動後は要求がない限り送出しません。)

このため、本製品の接続されているネットワークが、ダイヤルアップ式のルータで他のネットワークに接続されている場合、これらのパケットが送出されるたびにダイヤルアップしてしまう可能性があります。(常時通話中になる場合もあります。)

※【お使いのネットワーク形態は？】（22ページ）の、タイプBのネットワーク形態でダイヤルアップルータを使用している場合がこれにあたります。

ルータを越えた先に印刷する必要が無い場合や、EtherTalkを使用しない場合には、この現象を回避するために以下のどちらかの設定を行う必要があります。

・*ルータに本製品からのパケットを通過させないよう設定する。*

設定方法については、ルータの取扱説明書などをご覧ください。



注意！

上記設定を行うと、ルータを越えた EtherTalk 経由の印刷はできなくなります。

・*本製品がEtherTalkのパケットを送出しないよう設定する。*

136ページの画面で［EtherTalkプロトコル］項目を［無効］に設定してください。

[プリンタ]項目に関する注意

ここでは、設定する[プリンタ]項目(137ページ)に関する注意を説明します。
本製品に接続するプリンタがPostScriptプリンタ、またはEPSON製カラーインクジェットプリンタおよびEPSON製レーザプリンタの場合はプリンタの機種名を設定しなければ、印刷できない場合があります。それ以外のプリンタを使用する場合はこの項目を設定する必要はありません。

使用するプリンタ	設定内容など
PostScriptプリンタ	[プリンタ]項目リストの中に使用するプリンタがある場合は選択します。 ***【注意】*** [PSバイナリ]項目(136ページ参照)が[無効]の場合は、PostScriptプリンタへのデータ出力はASCIIデータのみに限られます。
EPSON製カラーインクジェットプリンタ	[プリンタタイプ]でプリンタ名を入力します。
EPSON製レーザプリンタ	レーザプリンタの場合、ほとんどが[プリンタ]項目を設定する必要がありません。 プリンタが双方向通信可能な設定になっており、本製品の[サポートするパラレルモード]項目の設定(149ページ参照)が、自動/ECPモード/Nibbleモードに設定されていることを確認してください。

［タイプ］項目に関する注意

ここでは、設定する［タイプ］項目（137ページ参照）に関する注意を説明します。

使用プリンタ	設定内容など
PS printer	PostScriptプリンタをご使用の場合に選択します。 ［PSバイナリ］項目が［無効］の場合は、PostScriptプリンタへのデータ出力はASCIIデータのみに限られます。
AT-T1ESC/Page AT-T2ESC/Page AT-T3ESC/Page	EPSON製LP-8200以前のESC/Pageプリンタをご使用の場合に選択します。ご使用のプリンタがどの項目に対応するかについては、弊社プリンタ対応表をご覧ください。
AT-EP3Page	EPSON製LP-8200以降のESC/Pageプリンタをご使用の場合に選択します。
AT-MJColor	EPSON製カラーインクジェットプリンタをご使用の場合に選択します。［AT-MJColor］を選択した場合には、さらに［プリンタタイプ］でプリンタ名を入力する必要があります。 ***【注意】*** ［AT-MJColor］に設定した場合、EPSON製マッハジェットプリンタ以外ではプリンタのジョブランプが点滅し、本製品の電源を切ると印刷を実行しなくても、紙が排出されます。 これは、［AT-MJColor］で印刷するためのコマンドが印刷されるためです。動作異常ではありませんので、本製品の設定を確認して正しい設定を行ってください。
LaseShot AppleTalk	キヤノン製LIPSプリンタをご使用の場合に選択します。 新潟キヤノテック製「Print Caddie 3」で提供されるプリンタドライバを使用します。
Not used with EtherTalk	Macintosh環境で使用しない場合に選択します。
User settings	上記に当てはまらないプリンタ（EPSON製レーザープリンタの一部、EPSON製VPシリーズ、HP製プリンタなど）をご使用の場合に選択します。必要な入力内容については、弊社プリンタ対応表をご覧ください。

［SMB］の設定

設定画面の［SMB］をクリックすれば、本製品のWindows用のSMBに関する設定を変更することができます。



注意！

初期設定では SMB を使用する設定（［SMB プロトコル］項目が［有効］）になっています。ご使用のネットワーク内に Windows パソコンがない場合など、SMB でご使用にならない場合は、［SMB プロトコル］項目を［無効］に設定してください。（【SMB で使用しない場合の注意】145 ページ参照）

参考

［SMB］とは

→SMB（Server Message Block）とは、Windows でネットワークを通じてファイル・プリンタ共有を実現するプロトコルです。

項目	内容
SMBプロトコル	SMBを使用する/しないを選択します。(有効/無効)

ホスト名	ネットワーク上での本製品の名称を指定してください。 (半角英数字15文字以内) ※他の機器と同じ名前を使用することはできません。 必ず固有の名前を指定してください。
ワークグループ名	使用するドメイン名またはワークグループ名を指定してください。 (半角英数字15文字以内) ドメイン管理を使用していない場合は、特に入力する必要はありません。 ドメイン管理している場合は、使用するドメイン名を指定してください。
タイムサーバ名	本製品に設定したドメインのドメインコントローラを指定してください。(TCP/IP使用時のみ) タイムサーバ名を設定しなくても印刷には影響しませんが、プリントジョブ情報の時間が正しく表示されません。 Windows NT 4.0サーバを使用していない場合やドメインの設定をしない場合は、このタイムサーバ名は無効です。 ※下位プロトコルでTCP/IPを選択した場合のみ設定可能です。
プロトコル	SMBで使用する下位プロトコル(NetBEUIまたはTCP/IP)を選択します。
WINS	WINSを使用する場合に[有効]にしてください。 WINSをサポートしている環境では、WINSを有効にすることで本製品が起動時にWINSデータベースにホスト名とそのIPアドレスが自動的に登録され、ネットワーク内での名前の重複をさけることを可能にします。 ※ネットワーク上にWINSサーバが存在しない場合は、有効にする必要はありません。 ※ルータを越えた印刷を行う場合には、ゲートウェイアドレスとサブネットマスクを正しく設定(132ページ参照)する必要があります。

WINSサーバ アドレス	WINSを使用する場合には、WINSサーバのIPアドレスを設定する必要があります。 ※DHCPを使用してWINSサーバのIPアドレスを取得する場合は設定する必要はありません。(この場合には、DHCPを有効にする必要があります。) ただし、DHCPが有効であるにも関わらず、WINSサーバのIPアドレスを取得できない場合があります。この場合は、WINSサーバのIPアドレスを直接設定する必要があります。



注意！

SMB の仕様上、印刷中に別のクライアントより印刷要求があった場合には、後から印刷したデータはエラーとなり印刷できません。前の印刷が終了した後、再度印刷を行う必要があります。



注意！

ホスト名、ドメイン/ワークグループ名、タイムサーバ名は、下記の半角記号は入力禁止文字です。入力された場合は、カーソルが先頭に戻りますが、これは設定ツール側で入力されないように処理を行っているためです。

“”(ダブルクォーテーション)、 “=”(イコール)、 “|”(パイプ)、 “¥”(円マーク)、 “+”(プラス)、 “; ”(セミコロン)、 “*”(アスタリスク)、 “:”(コロン)、 “]”(大カッコ右)、 “[”(大カッコ左)、 “,”(カンマ)、 “<”(不等号小なり)、 “>”(不等号大なり)、 “?”(クエスチョンマーク)

設定を変更する	設定を変更する場合にクリックします。
工場出荷時設定に戻す	本製品のSMBの設定を工場出荷時に戻します。

SMBで使用しない場合の注意

本製品は起動すると、SMBの仕様に基づき、定期的にパケットを送出します。
これはネットワーク上でSMBを使用していない場合にも行われます。(TCP/IPについては、設定により起動時にのみRARP/BOOTP/DHCPのパケットを送出します。起動後は要求がない限り送出しません。)
このため、本製品の接続されているネットワークが、ダイヤルアップ式のルータで他のネットワークに接続されている場合、これらのパケットが送出されるたびにダイヤルアップしてしまう可能性があります。(常時通話中になる場合もあります。)
※【お使いのネットワーク形態は？】（22ページ）の、タイプBのネットワーク形態でダイヤルアップルータを使用している場合がこれにあたります。

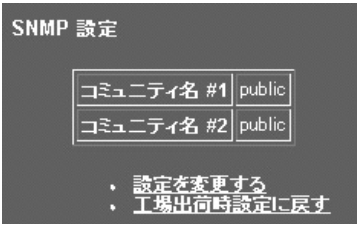
ルータを越えた先に印刷する必要が無い場合や、SMBを使用しない場合には、この現象を回避するために以下のどちらかの設定を行う必要があります。

・*ルータに本製品からのパケットを通過させないよう設定する。*
　設定方法については、ルータの取扱説明書などをご覧ください。

・*本製品が、SMBのパケットを送出しないよう設定する。*
　142ページの画面で[SMBプロトコル]項目を[無効]に設定してください。

［SNMP］の設定

設定画面の［SNMP］をクリックすれば、本製品のSNMPに関する設定を変更することができますが、特に変更する必要はありません。



参考

［SNMP］とは

→SNMP とは、簡易ネットワーク管理プロトコル（Simple Network Management Protocol）の略称で、ネットワーク上にある様々な機器を管理できる標準プロトコルです。

SNMP は、SNMP マネージャと SNMP エージェントから構成されています。基本的には、SNMP エージェントは管理されている機器に搭載されており、SNMP マネージャはエージェントから情報を得ます。マネージャ及びエージェントは、MIB（Management Information Base）と呼ばれる管理情報を持っており、この管理情報を基にして機器の管理を行います。

コミュニティ名＃1	本製品のSNMPコミュニティ名を設定できます。 （ASCII 31文字以内）
コミュニティ名＃2	本製品のSNMPコミュニティ名を設定できます。 （ASCII 31文字以内）

設定を変更する	設定を変更する場合にクリックします。
工場出荷時設定に戻す	本製品のSNMPの設定を工場出荷時に戻します。

［ROMバージョン］の確認

設定画面の［ROMバージョン］をクリックすれば、本製品のフラッシュROMと
EPROMで使用しているファームウェアのバージョン情報を表示します。



［イーサネットステータス］の設定

設定画面の［イーサネットステータス］をクリックすれば、本製品のイーサネットの設定を確認、変更することができます。

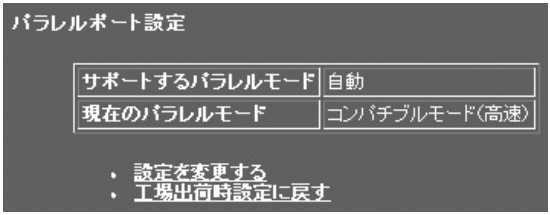


MACアドレス	本製品のMACアドレスを表示します。 ※詳しくは、用語集をご覧ください。
現在の接続速度	現在の接続速度を表示します。［イーサネットモード］の選択内容によって表示が異なります。 ・自動を選択した場合 → 100BASE-TXまたは10BASE-T ・100M(Full Duplex)または100M(Half Duplex)を選択した場合→100BASE-TX と表示されます。 ・10M(Full Duplex)または10M(Half Duplex)を選択した場合→10BASE-T と表示されます。
イーサネットモード	イーサネットに接続するスピードとモード(全二重/半二重)を表示します。

設定を変更する	設定を変更する場合にクリックします。
工場出荷時設定に戻す	本製品のイーサネットステータスの設定を工場出荷時に戻します。

［パラレルポート］の設定

設定画面の［パラレルポート］をクリックすれば、本製品のパラレルポートに関する設定を変更することができます。



サポートする パラレルモード	本製品の電源を入れた時に、接続されているプリンタとの接続確認（ネゴシエーション）の設定変更ができます。 ※ECP/Nibbleをサポートしているプリンタと接続確認（ネゴシエーション）を行うためにはプリンタの電源が先に入っている必要があります。 ※本製品を［ECPモード］もしくは［Nibbleモード］に固定した場合は、プリンタが［ECPモード］もしくは［Nibbleモード］をサポートしていて、かつ、プリンタの設定と本製品の設定が一致している必要があります。この条件を満たさない場合は、接続確認（ネゴシエーション）エラーとなり印刷が行えません。
現在の パラレルモード	現在のパラレルモードを表示します。 パラレルポートの現在のモードは、本製品が起動時にプリンタのモードを自動認識したものを確認するもので変更はできません。

設定を変更する	設定を変更する場合にクリックします。（次ページ参照）
工場出荷時設定に戻す	本製品のパラレルポートの設定を工場出荷時に戻します。

参考

［ECP］、［Nibble］、［コンパチブル］とは

→ECP とは、

ECP(Extended Capability Port)は HP と Microsoft の 2 社より提案され、IEEE1284 で標準化されている規格です。データ圧縮転送(RLE)をサポートし、高速な転送が可能です。

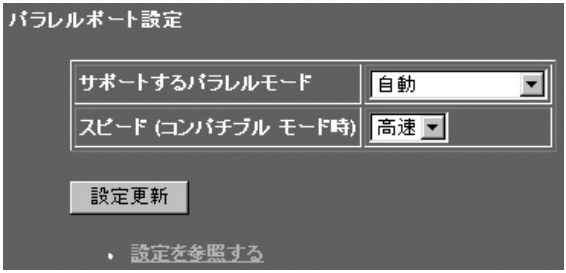
→Nibble（ニブル）とは、

Compatible を双方向に対応させたパラレルポートのモードです。

→コンパチブル（Compatible）とは、

片方向（出力）のみ通信可能な低速なパラレルポートのモードです。

●前ページ画面の［設定を変更する］をクリック後の画面



サポートする パラレルモード	前ページの本項目に関する説明を参照してください。
スピード	本製品のパラレルポートの転送速度を設定します。 パラレルポートへのデータの転送速度を2段階に設定できます。ただし、接続されているプリンタのパラレルポートの設定で「コウソク」などが選択できないプリンタの場合に、本製品の設定を［高速］に設定すると正常に印刷できないことがあります。 ※［スピード］項目の設定は、［サポートするパラレルポートモード］項目が、［ECPモード］の場合は無効です。

注意！

・自動、ECP、 NIBBLE モードを使用する場合は、必ずプリンタの電源を入れた後に本製品の電源を入れてください。
また、ECP・NIBBLE モード固定の場合はプリンタがサポートしていない場合、または、設定が一致していない場合はネゴシエーションエラーとなり印刷できません。

・スピード設定(通常/高速)の変更は、ECP モード時以外に有効です。

［エラーコード］の確認

設定画面の［エラーコード］をクリックすれば、本製品に過去に発生したエラーの履歴を確認することができます。



エラーコードが格納されている領域は40番地から始まります。上の列に表示されている番地はエラーコードがかかれるアドレスのオフセットを表しています。
通常エラーが発生した場合、40番地から45番地にエラーコードが書かれます。
各番地に対して、エラーが発生していない場合は ‘FF’ が表示されます。

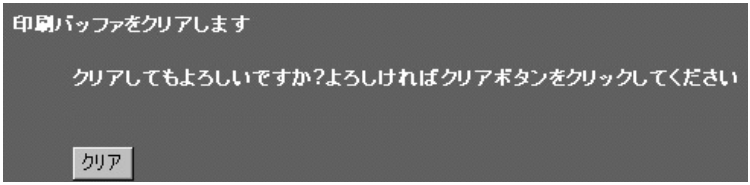
注意！

本製品はエラーが発生すると、クリアしない限り以前のエラーコードを保存しています。エラーが発生した後は、クリアしてからご使用ください。

工場出荷時設定に戻す	本製品のエラーコードの値を工場出荷時に戻します。

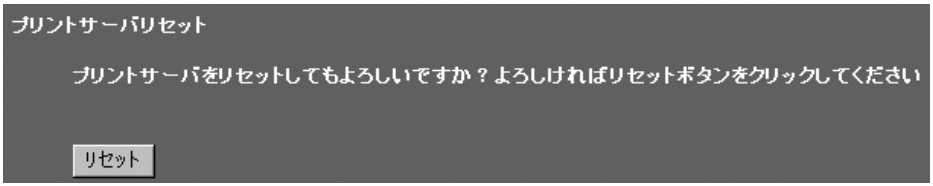
［印刷バッファクリア］

設定画面の［印刷バッファクリア］をクリックすれば、本製品本体の印刷バッファの内容を消去できます。画面の指示にしたがってください。



［プリントサーバリセット］

設定画面の［プリントサーバリセット］をクリックすれば、本製品を再起動できます。
（ソフトウェアリセット）
画面の指示にしたがってください。



［プリンタステータス］

設定画面の［プリンタステータス］をクリックすれば、プリンタに関する情報を表示します。



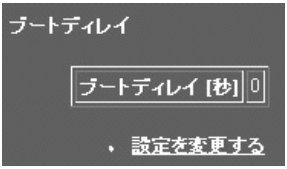
最新の情報に更新する	プリンタに関する情報を最新の情報に更新して表示します。 ※ただしこの機能を使用するためには、ブラウザ上でページの更新設定が必要になります。
印刷バッファのクリア	本製品本体の印刷バッファの内容を消去します。

［ブートディレイ］の設定

設定画面の［ブートディレイ］をクリックすれば、本製品の起動時の遅延時間を変更することができます。

注意！

通常は変更する必要はありません。

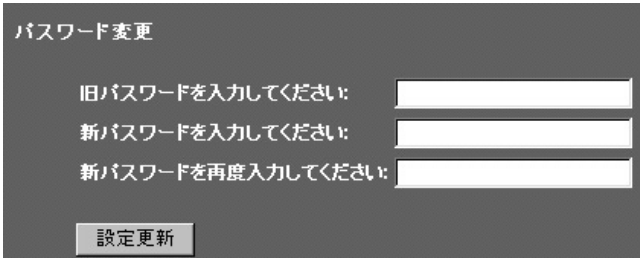


ブートディレイ	本製品起動時の遅延時間の確認と変更を行います。 通常は変更する必要はありません。 設定値：0～240（秒） ※本製品とアクセスポイントを同じコンセントにしている場合では、本製品とアクセスポイントは同時に電源が投入されます。 この場合、本製品の方が先に起動しますので、この時にDHCPなどの関係で不都合が生じる場合、ブートディレイが有効な手段となります。

設定を変更する	本製品の起動時遅延時間を変更する場合にはクリックします。

［パスワード変更］

設定画面の［パスワード変更］をクリックすれば、設定画面にログインするときのパスワードを変更することができます。



注意！

パスワードは 4 文字以上 15 文字以下で大文字小文字を区別し、半角 A～Z、a～z、0～9 を使用できます。パスワードは変更時より有効になります。
本製品をリセットまたは電源再投入する必要はありません。

ファームウェアのアップデート

本製品のファームウェアを最新のファームウェアにアップデートすることができます。
※設定ツール画面のメニュー項目内にはありません。

1 弊社ホームページ(http://www.iodata.co.jp/)から
本製品の最新のファームウェアファイルを入手してください。

2 Webブラウザのアドレス欄に以下を入力して[ENTER]キーを押すと以下の画面が表示されます。

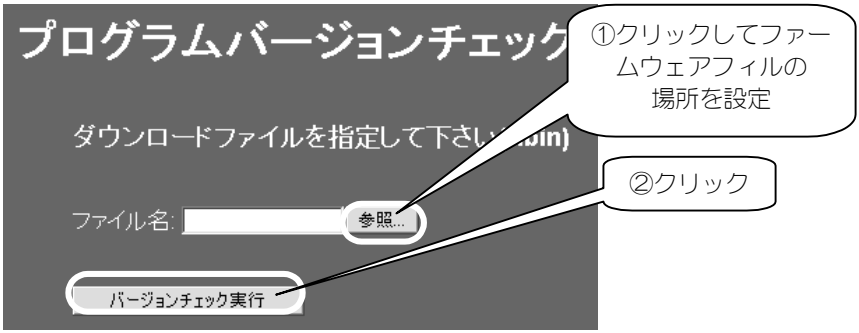
http://xxx.xxx.xxx.xxx/ver_up.htm

(xxx.xxx.xxx.xxxは本製品に設定したIPアドレス)

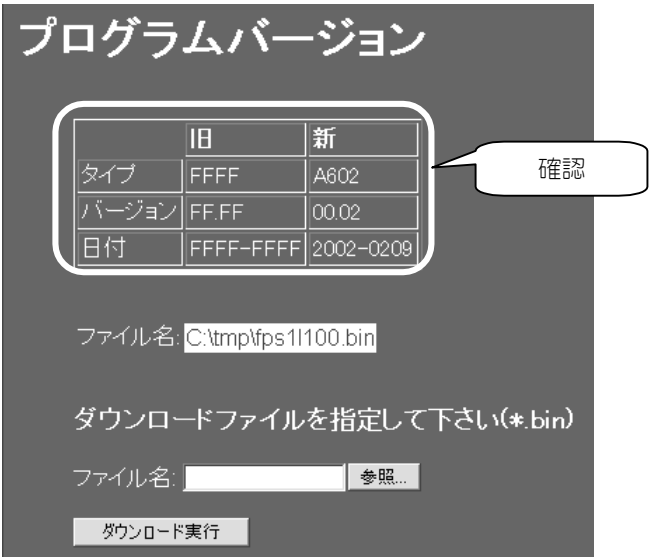
次ページ**3**の手順の画面が表示されるまでしばらくお待ちください。



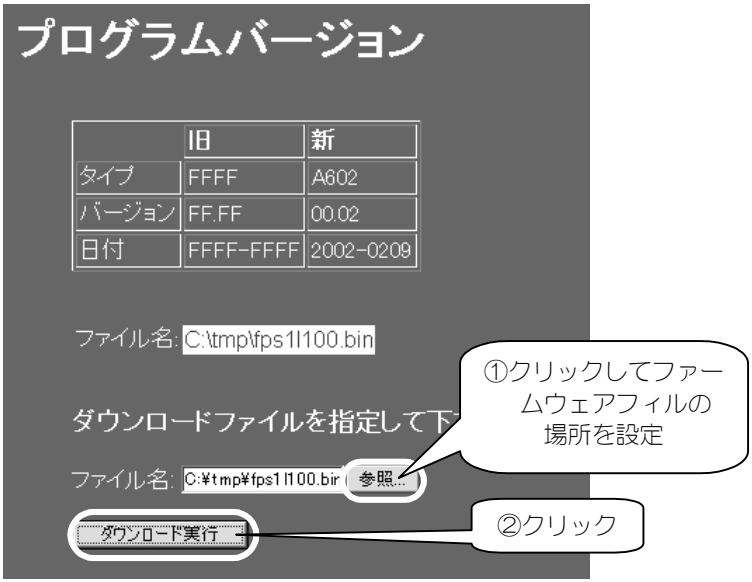
3 [参照]ボタンをクリック後、*1*の手順で入手したファームウェアファイルを選択します。
選択後、[バージョンチェック実行]ボタンをクリックします。



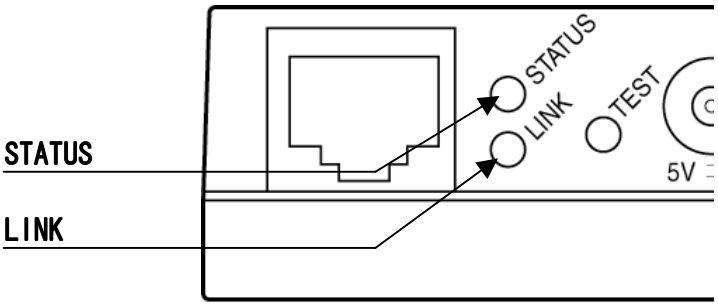
4 新旧ファームウェアのバージョンが表示されます。
表示されているかを確認します。



5 再度[参照]ボタンをクリック後、ファームウェアファイルを選択し、[ダウンロード実行]ボタンをクリックします。



6 本製品の[STATUS]ランプと[LINK]ランプが交互に点灯します。



7 以下の画面が表示されればファームウェアのアップデートは終了です。



参考

[ファームウェアのバージョンの確認方法]

上記の手順でファームウェアをアップデートした場合などに以下の手順でバージョンを確認することができます。

1. Internet Explorer の[アドレス]欄に以下を入力し、[Enter]キーを押します。

http://xxx.xxx.xxx.xxx/

(xxx.xxx.xxx.xxx は本製品に設定した IP アドレス)

2. 設定画面の[ROM バージョン]をクリックします。

3. ファームウェアのバージョンをご確認ください。

付録

困った時には ····· 162
用語集 ····· 170
テスト印刷仕様 ····· 175
工場出荷時設定 ····· 180
仕様 ····· 183

困った時には

本製品を使っていて異常があったときにご覧ください。

共通のトラブル

設定用パソコンで設定時のトラブル

状態	参照ページ
[LINK]ランプと[STATUS]ランプが3秒に1度消灯する	164
[LINK]ランプと[STATUS]ランプが点灯している	
[LINK]ランプが点滅する	
テスト印字されない	
テスト印字で1行目が文字化けする	165
Web 設定画面のパスワードを忘れた	
設定用パソコンで PING コマンドを実行するとエラーとなる（管理者用パソコンで本製品設定時）	

印刷用パソコンを設定時のトラブル

状態	参照ページ
印刷するパソコンで PING コマンドを実行するとエラーとなる（TCP/IP での印刷用パソコンでの通信確認時）	166

Windowsでのトラブル

プリンタ使用時のトラブル

状態	参照ページ
プリンタ付属のプログラムでエラーが発生する	167
IPP 印刷ができない	
SMB 印刷ができない	168
LPR 印刷ができない	
以下のプリンタで印刷できない EPSON MJ-1050,MJ-3000C,MJ-5000C,MJ-5100C,MJ-510C, MJ-6000C,MJ-8000C,MJ-800C,MJ-810C,MJ-830C,MJ-900C, MJ-910C,MJ-930C,PM-700C など	

Mac OSでのトラブル

プリンタ使用時のトラブル

状態	参照ページ
Macintosh 用プリンタドライバはインストールしたのに、 [セレクタ]に本製品が表示されない	168
Canon プリンタを使っていて、PrintCaddie も買ったがプリンタドライバを正常にインストールができない	169
EPSON 製プリンタで、AppleTalk 対応ドライバを使っているがドライバの設定がうまくできない	
Macintosh からルータを越えて印刷できない	
Mac OS X から LPR 印刷ができない	

共通のトラブル

設定用パソコンで設定時のトラブル

[LINK]ランプと[STATUS]ランプが3秒に1度消灯する

原因1	本製品がプリンタとの接続確認（ネゴシエーション）に失敗している
対処	プリンタの電源を入れてから、本製品の電源を入れるようにしてください。

原因2	エプソンのインクジェットプリンタで使用する際に本製品を[ECP]固定に設定している
対処	エプソンのインクジェットプリンタで使用する際には、本製品を[ECP]固定以外の設定に変更してください。（【[パラレルポート]の設定】(149 ページ)参照）

[LINK]ランプと[STATUS]ランプが点灯している

対処	本製品の故障が考えられます。 弊社 PLANT コールセンターへお問い合わせください。

[LINK]ランプが点滅する

原因1	LINK できていない
対処	ケーブルの接続を確認してください。ハブと本製品の接続スピードを確認してください。

テスト印字されない

原因	プリンタドライバを必ず使用しないと印刷できないプリンタである
対処	プリンタの仕様によりテスト印字は行えません。（テスト印字はプリンタドライバを介さずに独自にプリンタを制御しているため）

テスト印字で1行目が文字化けする

原因	本製品の仕様です
対処	本製品のテスト印字では、PostScript プリンタでテスト印字をするための制御コードが含まれているため、PostScript プリンタ以外のプリンタでは文字化けしたような行が印刷されます。

Web 設定画面のパスワードを忘れた

対処	工場出荷時設定に戻すことにより、パスワードは「PLANT」に戻ります。ただし、以前に設定した内容は消去されます。

設定用パソコンで PING コマンドを実行するとエラーとなる

（管理者用パソコンで本製品設定時）

原因1	IP アドレス、サブネットマスクが正しく設定されていない
対処	パソコンの IP アドレス、サブネットマスクの設定を本製品の工場出荷時（IP アドレス：192.168.0.100、サブネットマスク：255.255.255.0）と同じクラスの設定になっているか確認してください。 *＜パソコンの設定手順＞* 設定手順については、【1. IP アドレスを設定する】（34 ページ）をご覧ください。 *＜設定する IP アドレス値＞* *192.168.0.xxx* （xxx は 1～99、101～255 のいずれかの値） ※192.168.0.100 以外 192.168.0.1 192.168.0.2 192.168.0.3 …… …… 192.168.0.99 192.168.0.101 192.168.0.102 …… …… 192.168.0.255 *＜設定するサブネットマスク値＞* *255.255.255.0*

原因2	LAN アダプタが正常に動作していない
対処	LAN アダプタの取扱説明書を参照して LAN アダプタが正常に動作しているかを確認してください。

原因3	本製品の電源が入っていない
対処	本製品の電源が入っているか（[STATUS]ランプが点灯または点滅しているか）を確認してください。

印刷用パソコンを設定時のトラブル

印刷するパソコンで PING コマンドを実行するとエラーとなる
（TCP/IP での印刷用パソコンでの通信確認時）

原因1	IP アドレス、サブネットマスクが正しく設定されていない
対処	パソコンの IP アドレス、サブネットマスクの設定を本製品に設定した IP アドレスやサブネットマスクが同じクラスの設定になっているか確認してください。 *＜パソコンの設定手順＞* 設定手順については、【1. IP アドレスを設定する】(34 ページ)をご覧ください。 *＜設定する IP アドレス値＞* たとえば、本製品を出荷時の IP アドレス(192.168.0.100)で使用する場合、各パソコンは以下の設定にする必要があります。 *192.168.0.xxx* (xxx は 1～99、101～255 のいずれかの値) ※192.168.0.100 以外 192.168.0.1 192.168.0.2 192.168.0.3 …… …… 192.168.0.99 192.168.0.101 192.168.0.102 …… …… 192.168.0.255 また、同一ネットワーク内のすべてのパソコンや IP アドレスを使用するネットワーク機器は別の IP アドレスに設定する必要があります。 例） 本製品: 192.168.0.100 1 台目のパソコン 192.168.0.101 2台目のパソコン 192.168.0.102 3台目のパソコン 192.168.0.103 …… *＜設定するサブネットマスク値＞* *ネットワークに応じたサブネットマスク値* *例）255.255.255.0*

原因2	LAN アダプタが正常に動作していない
対処	LAN アダプタの取扱説明書を参照して LAN アダプタが正常に動作しているかを確認してください。

原因3	本製品の電源が入っていない
対処	本製品の電源が入っているか([POWER]ランプが点灯しているか)を確認してください。

原因4	本製品の IP アドレスを[DHCP サーバを使用する]に設定しているのに、本製品に IP アドレスを予約していない
対処	[DHCP サーバを使用する]に設定している場合は、DHCP サーバから IP アドレスを割り当てられるため IP アドレスが固定でなくなります。 その場合は、DHCP サーバ側で IP アドレスを予約するか(詳細は DHCP サーバとしているパソコンや機器の取扱説明書を参照)、あるいは、[DHCP サーバを使用する]のチェックを外して本製品に IP アドレスを設定し直してください。

プリンタ使用時のトラブル

プリンタ付属のプログラムでエラーが発生する

対処	パソコン本体のプリンタポートとプリンタケーブルで接続されていることを前提としてプリンタの状態を監視しているプログラム、また、プリンタメーカー純正オプションの LAN ボードを使用することを前提としているプログラムには、本製品は対応していません。 印刷に支障が出るようであれば、それらのプリンタ付属のプログラムをアンインストール(削除)してください。

IPP 印刷ができない

原因	ルータの設定が正しくない
対処	本製品が属している LAN のルータの設定を再度確認し、WAN 側(インターネットに接続している側)から TCP ポート 631 にアクセスがあった場合に、本製品へパケットが振り分けられるように設定してください。

SMB 印刷ができない

対処	複数のパソコンからの同時印刷要求には非対応です。再度印刷してみてください。

LPR 印刷ができない

原因	本製品を DHCP を使用する設定にしてあり、異なる IP アドレスが割り振られた
対処1	DHCP サーバで本製品にいつも同じ IP アドレスが割り当てられるよう設定してください。
対処2	DHCP サーバの IP アドレス割当範囲外の IP アドレスに固定して本製品を使用してください。

以下のプリンタで印刷できない

EPSON MJ-1050,MJ-3000C,MJ-5000C,MJ-5100C,MJ-510C, MJ-6000C,MJ-8000C,MJ-800C,MJ-810C,MJ-830C,MJ-900C, MJ-910C,MJ-930C,PM-700C　など

対処	①EPSON メニューの[スプールマネージャ]を起動します。 ②メニューの[プリントキュー]→[セットアップ]を選択します。 ③[プリントマネージャを使用する]をチェックし、[OK]ボタンをクリックしてください。

Mac OSでのトラブル

プリンタ使用時のトラブル

Macintosh 用プリンタドライバはインストールしたのに、[セレクタ]に本製品が表示されない

原因 1	AppleTalk 対応ドライバを使用していない (「MacOS 用であること」と「AppleTalk 対応」とは異なります。)
対処	自分の使用したいプリンタに AppleTalk 対応ドライバが用意されているか確認してください。 あればそのドライバをお使いください。 無い場合は、プリンタメーカーにお問い合わせください。

原因 2	Web 設定で EtherTalk を Disable にしている
対処	EtherTalk を Enable にしてください。

原因 3	Mac OS の AppleTalk が「切」になっている
対処	AppleTalk を「入」にしてください。

Canon プリンタを使っていて、PrintCaddie も買ったがプリンタドライバを正常にインストールができない

対処	販売店または、新潟キヤノテック(株)にお問い合わせください。 ※弊社では、プリンタドライバに関するお問い合わせはお受けいたしかねます。

EPSON 製プリンタで、AppleTalk 対応ドライバを使っているがドライバの設定がうまくできない

対処	エプソン販売(株)にお問い合わせください。 ※弊社では、プリンタドライバに関するお問い合わせはお受けいたしかねます。

Macintosh からルータを越えて印刷できない

対処	本製品を利用して Macintosh からルータを越えて印刷することはできません。

Mac OS X から LPR 印刷ができない

原因	本製品を DHCP を使用する設定にしてあり、異なる IP アドレスが割り振られた
対処1	DHCP サーバで本製品にいつも同じ IP アドレスが割り当てられるよう設定してください。
対処2	DHCP の IP アドレス割当範囲外の IP アドレスで固定して使用してください。

用語集

10BASE-T

ツイストペアケーブルを使用するEthernetのIEEE仕様です。
伝送速度は10Mbpsです。

100BASE-TX

100Mbpsイーサネット接続で使用するIEEE規格の1つで、非シールドまたはシールドのツイストペアケーブルを使用します。

ARP（Address Resolution Protocol）

IPアドレスからEthernetアドレスを求めるためのプロトコルのことです。

BCP（Binary Communications Protocol）

8ビット値で表現できる任意の256種類のデータを転送する事ができます。
バイナリイメージを含んだPostScriptジョブの送信に一連の制御文字を含むデータを送信する事ができます。アスキーより高速に印刷する事ができます。

BOOTP（Bootstrap Protocol）

TCP/IPネットワークのクライアントマシンにおいて、IPアドレスやホスト名、ドメイン名、ネットマスク、デフォルトゲートウェイ、ネームサーバアドレスなどのパラメータをサーバから自動的にロードしてくるためのプロトコルです。クライアントがBOOTPをサポートしていれば、各クライアントごとにTCP/IPのコンフィギュレーションを行なう必要がなくなります。
サーバ側では、クライアント側のネットワークカードのMACアドレスを管理するだけです。

Compatible［コンパチブル］

片方向（出力）のみ通信可能な低速なパラレルポートのモードです。

DHCPサーバ(Dynamic Host Configuration Protocol Server)

DHCPとは各クライアントやEthernet機器へ起動時に動的にIPアドレスを割り当て、終了時にIPアドレスを回収するためのプロトコルです。
同時にゲートウェイアドレスやドメイン名、サブネットマスクその他の情報をネットワーク上のクライアントやEthernet機器へ通知することもできます。

この動的にIPアドレスの割当を行う側の機器がDHCPサーバと呼ばれます。
ダイアルアップルータ等の機器もDHCPサーバの機能を持っています。

ECP(Extended Capability Port)

HP(ヒューレットパッカード)とMicrosoftの2社より提案され、IEEE1284で標準化されている規格です。
データ圧縮転送(RLE)をサポートし、高速な転送が可能です。

Ethernet[イーサネット]

米国ゼロックス社、ディジタル・イクイップメント社、インテル社によって開発されたネットワーク通信方式です。当初この方式は、基礎帯域伝達、CSMA/CDアクセス、論理バストポロジー、同軸ケーブルを使用して構成されていました。
後にIEEE 802.3として規格化され、光ファイバー、広周波数帯域、ツイストペアで運用するリピータなどを使って拡張する追加機能が定義されました。

Full Duplex

受信と送信が片方向ずつの半二重通信(Half Duplex)に対して、
受信と送信を同時に行なうことで、既存のケーブル上で理論値として2倍の伝送速度を実現するのが全二重通信(Full Duplex)です。

Half Duplex

Full Duplex参照

IEEE 1284

米国電気電子協会(IEEE)が定めた高速なパラレルインターフェイスの規格です。
プリンタ専用の低速なポートであったものを改良し、高速かつ双方向通信を実現したものです。

IPP（Internet Printing Protocol）

HTTPを使用して印刷データを送信することにより、インターネット経由でのリモートプリントを実現する機能です。

LPR（Line Printer Remote）［エルピーアール］

印刷プロトコルのひとつです。UNIXの印刷コマンドとして知られています。パソコンネットワークの普及にともなって、パソコン上のOSもこの印刷プロトコルによる印刷ができるようになってきました。
Windows 2000やWindows NTでは標準でLPR機能を持っています。（詳細はWindows 2000やWindows NTのヘルプを参照してください。）

MACアドレス（Media Access Control Address）

Ethernet機器ごとの固有の物理アドレスです。
MACアドレスは、先頭からの3バイトのベンダーコードと残り3バイトのユーザコードの6バイトで構成されています。
ベンダーコードはIEEEが管理／割当を行っており、ユーザコードは、Ethernet機器のメーカが独自の番号（重複することのない）で管理を行い、世界中で単一のアドレスが割り当てられています。Ethernetではこのアドレスを元にしてフレームの送受信を行っています。

Mbps（Megabits per second）［メガビーピーエス］

1秒間に伝送するデータの単位です。
10Mbpsは1秒間に10メガビットのデータを伝送できます。

NetBEUI（NetBios Extended User Interface）［ネットビューイ］

IBMにより、1985年に開発されたプロトコルの名称。
Microsoft Network/LANmanagerやIBM LANserverなどに採用されています。
TCP/IPより高速で、Windows NTやOS/2 Warp Serverなどでは今でも使用できますが、NetBEUIにはルーティングできないという致命的な欠点がありネットワークの分割が不可能なため、大規模なネットワークでは事実上使用する事ができません。

Nibble[ニブル]

Compatibleを双方向通信に対応させたパラレルポートのモードです。

PSバイナリ

PostScriptを使用して印刷データをバイナリで処理します。
別に「PSアスキー」も存在し、PostScriptを使用して印刷データをアスキーで処理します。印刷に時間がかかります。

RARP(Reverse Address Resolution Protocol)

ARPプロトコルの逆で、自ノードのMACアドレスから「自分の」IPアドレスを求めるためのプロトコルです。

SMB(Server Message Block)

ファイルサービスやプリントサービスを実現するためのネットワークプロトコルです。
MicrosoftネットワークやLAN Managerなどで採用されています。

SNMP(MIB含む)(Simple Network Management Protocol)

TCP/IPネットワーク環境での管理プロトコルです。
管理する側の「SNMPマネージャ」と管理される側の「SNMPエージェント」の2つでMIBと呼ばれる管理情報を交換することで、機器の管理が行なわれます。
MIBとは、SNMPによって管理される項目を定義したもので、自機の状態を保持する変数のことです。

TBCP(Tagged Binary Communications Protocol)

タグ付きバイナリ通信プロトコルです。
BCPと互換性はありません。タグを使用して、送信側と受信側を接続し、通信を行います。アスキーより高速に印刷する事ができます。

TCP/IP(Transmission Control Protocol/Internet Protocol)

主にインターネット上などで使用される基本プロトコルの1つです。

WINS（Windows Internet Name Service）

Windows環境で、ネームサーバ（コンピュータ名からIPアドレスに変換するためのサーバ）を呼び出すためのサービスです。

ピアツーピア接続

サーバ／クライアントのような上下関係の無い対等な関係で行う通信のことです。

プリントキュー

プリントジョブをプリンタに転送する前に一時的に保存して置く場所です。この一時的に保存して置く動作を「キューイング」といいます。プリントキューにはプリントキュー名があります。

テスト印刷仕様

テスト印刷すれば、本製品の現在の状態をプリンタや通信状態などを印刷し、設定を確認することができます。
本製品の設定を忘れてしまった場合など、必要に応じて印刷してください。
テスト印刷の方法は【４．テスト印刷をする】(31 ページ) をご覧ください。

注:(D)は工場出荷時の初期設置値

No	項目	印刷される値
1	TCPIP settings	
	IP Address	192.168.0.100(D) ユーザ設定値が表示されます
	Subnet mask	255.255.255.0(D) ユーザ設定値が表示されます
	Gateway IP Address	255.255.255.255(D) ユーザ設定値が表示されます
	RARP	Enable Disable(D)
	BOOTP	Enable Disable(D)
	DHCP	Enable Disable(D)
	ARP+PING	Enable(D) Disable

No	項目	印刷される値
2	EtherTalk settings	
	Status	Enable(D) Disable
	LPT1 Printer (EtherTalkがDisableの場合は表示されません。)	TypeがPS Printer時 Undefined(D) OKI MICROLINE 800 PS II LT OKI MICROLINE 801 PS OKI MICROLINE 801 PS +F OKI MICROLINE 801 PS II OKI MICROLINE 801 PS II +F OKI MICROLINE 803 PS II OKI MICROLINE 803 PS II +F EPSON LP-9000PS2 F2 EPSON LP-9000PS2 F5 Tektronix Phaser 140 Canon LASER SHOT A404PS Canon LASER SHOT A404PS-Lite Canon LASER SHOT B406PS Canon LASER SHOT B406PS-Lite TypeがAT-MJColor時 ユーザが設定した値が表示されます
	Zone (EtherTalkがDisableの場合は表示されません。)	*(Zoneが存在しない時) Zoneが存在する場合はZone名が表示されます

No	項目	印刷される値
2	Type (EtherTalk が Disable の場合は表示されません。)	PS Printer AT-T1ESC/Page AT-T2ESC/Page AT-T3ESC/Page AT-EP3Page AT-MJColor LaserShot AppleTalk Not used with EtherTalk ユーザが設定した場合は設定した値が表示されます
	Object (EtherTalk が Disable の場合は表示されません。)	IO_******.LPT1(D) ユーザ設定値が表示されます
	Time Server Name	(None)(D) ユーザ設定値が表示されます
	PsBinary (EtherTalk が Disable の場合は表示されません)	Enable Disable(D)

No	項目	印刷される値
3	SMB settings	
	Status	Enable(D) Disable
	Protocol	NetBEUI TCP/IP(D)
	Host Name	IO******(D) ユーザ設定値が表示されます
	Domain Name	(None)(D) ユーザ設定値が表示されます
	Time Server Name	(None)(D) ユーザ設定値が表示されます
	WINS	255.255.255.255(Disable) (D) ***.***.***.***(Enable) ユーザ設定値が表示されます

No	項目	印刷される値
4	SNMP settings	
	Community Name 1	public (D) ユーザ設定値が表示されます
	Community Name 2	public (D) ユーザ設定値が表示されます

5	Current Status	
	Current Datarate	No Link 100BASE-TX(Full Duplex) 100BASE-TX(Half Duplex) 10BASE-T(Full Duplex) 10BASE-T(Half Duplex)
	Parallel I/F Mode	Compatible Mode(Normal) Compatible Mode(Fast) NIBBLE Mode ECP Mode Get Device ID Negotiation Error! (ECP) Negotiation Error! (NIBBLE)

No	項目	印刷される値
6	**Printer Status**	
	Manufacturer	unknown 双方向通信で情報が取得できた場合はメーカ名が表示されます
	Model	unknown 双方向通信で情報が取得できた場合はモデル名が表示されます
	Command Set	unknown 双方向通信で情報が取得できた場合はプリンタコマンドの名称が表示されます

7	Other Information	
	Ether Address	00A0B0****** （製品のMACアドレス）
	FLASH-ROM Type	A602 （固定値）
	Version	0100 （出荷時期により異なります。）
	Date	2002-03-XX （出荷時期により異なります。）
	BOOT-ROM Type	A602 （固定値）
	Version	0100 （出荷時期により異なります。）
	Date	2002-03-XX （出荷時期により異なります。）
	Error Code	ff ff ff ff ff ff （Errorが発生していない時）
	Boot Delay Time	0 sec. (D) 0～240の値を取ります
	Parallel I/F Speed	Normal(for non ECP/NIBBLE printing) Fast(for non ECP printing) (D)

工場出荷時設定

メニュー	サブメニュー	工場出荷時設定値	設定有効タイミング
TCP/IP	IPアドレス	192.168.0.100	“arp” & “ping”、WEP_SETは設定直後有効、 その他はリセット(RESET)後有効
	サブネットマスク	255.255.255.0	
	デフォルトルータ	255.255.255.255	
	RARP	無効(Disable)	SNMPは設定後有効、 その他はリセット(RESET)後有効
	BOOTP	無効(Disable)	
	DHCP	無効(Disable)	
	ARP+PING	有効(Enable)	
	SNMP	public public	
EtherTalk	プリンタ	未定義	リセット(RESET)後有効
	ゾーン	未設定 (デフォルトゾーン)	
	タイプ	PS printer	
	オブジェクト	IO_xxxxxxx.LPT1	
	PSバイナリ	無効(Disable)	
	有効/無効	有効	

メニュー	サブメニュー	工場出荷時設定値	設定有効タイミング
SMB	ホスト名	Ioxxxxxx	リセット(RESET)後有効
	ワークグループ名	未設定	
	タイムサーバ名	未設定	
	プロトコル	TCP/IP	
	WINS	無効(Disable)	
	WINSサーバ IPアドレス	255.255.255.255	
	有効/無効	有効	
パスワード		PLANT (半角大文字)	設定直後有効
ハードウェア	パラレルポート	高速(FAST)	リセット(RESET)後有効
	ブートディレイ	0 (秒)	電源再投入後
	サポートパラレル モード	自動(AUTO)	
	エラーステータス		設定直後有効
	0x40	FF	
	0x41	FF	
	0x42	FF	
	0x43	FF	
	0x44	FF	
	0x45	FF	

●SNMPについて

本製品はネットワーク管理プロトコルのSNMPに対応しており、SNMPマネージャソフトウェアにより管理することができます。

SNMPバージョン	SNMPv1(RFC1157)準拠 (SNMPv2には対応していません。)
トランスポートプロトコル	UDP/IP
コミュニティ名	Read-Onlyコミュニティ名および Read-Writeコミュニティ名を設定可
対応MIB	MIB-Ⅱ(RFC-1213)の一部 I-O DATA Private MIBの一部
対応PDU	GetRequest 、GetNextRequest 、SetRequest 、 GetResponse

※SNMPでの管理方法については、各SNMPマネージャソフトウェアの操作マニュアルをご覧ください。

仕様

本製品の仕様です。

一般仕様

商品名	直結型コンパクト・プリントサーバ
製品型番	ET-FPS1L
LED表示	LINK、STATUSランプ
外形寸法	63(W)x96(D)x27(H)mm(突起部含まず)
質量	約80g(ACアダプタ含まず)
使用温度範囲	5～40℃
使用湿度範囲	20～90%(結露しないこと)
ACアダプタ	入力:AC 100V 出力:DC 5V 1.5A
電源電圧	DC +5V±5%
消費電流(MAX)	5V/650mA
取得規格	VCCI Class B

ネットワーク部

準拠規格	IEEE802.3、IEEE802.3u
インターフェイス	RJ-45(10BASE-T/100BASE-TX) x 1

プリンタ部

準拠規格	IEEE 1284 ECP対応
インターフェイス	セントロニクス準拠 アンフェノール36ピンオス x 1

※Microsoft Windows Printing System(WPS)専用のプリンタは、仕様上本製品でのご利用はできません。
※プリンタメーカーが独自に採用しているプリンティングシステムには対応していない場合があります。

PLANTコールセンターへのお問い合わせ

お知らせいただく事項

PLANTコールセンターへのお問い合わせの際は、【お問い合わせ時にお知らせいただく事項】（188ページ）の情報をご記入の上、“オンライン”“郵便”“電話”“FAX”のいずれかでお知らせください。（FAXや郵送の場合には拡大コピーしてご利用ください。）
お知らせいただいた情報が多ければ、より迅速に問題を解決できます。

オンライン

インターネット　http://www.iodata.co. jp/support/
「PLANTコールセンターお問い合わせ」内のフォームを使用して、E-Mailをお送りください。

郵便

〒920-8513　石川県金沢市桜田町2丁目84番地　ｱｲ･ｵｰ･ﾃﾞｰﾀ第２ビル
株式会社アイ・オー・データ機器
PLANTコールセンター「ET-FPS1L」係宛

電話

電話番号　金沢　076-260-3644
東京　03-3254-1144
受付時間　9:30～19:00　月～金曜日（祝祭日を除く）

FAX

FAX 番号　金沢　076-260-3360
東京　03-3254-9055
宛先　株式会社アイ･オー･データ機器
PLANT コールセンター「ET-FPS1L」係　宛

本製品に関するお問い合わせは、PLANT コールセンターのみで行っています。
予めご了承ください。

ファームウェアのバージョンアップ

「ファームウェア」がバージョンアップした場合は、以下の方法で入手できます。

オンライン

サポートライブラリ　　http://www.iodata.co.jp/lib/

ご注意

●インターネットによるダウンロードはお客様の責任のもとで行ってください。

修理について

修理の前に

故障かな？と思ったときは、
①本書をもう一度ご覧いただき、設定などをご確認ください。
②弊社PLANTコールセンターへお問い合わせください。
（【PLANTコールセンターへのお問い合わせ】をご覧ください）

明らかに故障の場合は、下記内容を参照して、本製品をお送りください。

修理について

本製品の修理をご依頼される場合は、以下の事項をご確認ください。

●お客様が貼られたシールなどについて

修理の際に、製品ごと取り替えることがあります。
その際、表面に貼られているシールなどは失われますので、ご了承ください。

●修理金額について

・保証期間中は、無償にて修理いたします。
ただし、ハードウェア保証書に記載されている「保証規定」に該当する場合は、有償となります。
※保証期間については、ハードウェア保証書をご覧ください。

・保証期間が終了した場合は、有償にて修理いたします。
※弊社が販売終了してから一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。

・お送りいただいた後、有償修理となった場合のみ、往復はがきにて修理金額をご案内いたします。
修理するかをご検討の上、検討結果を記入してご返送ください。
（ご依頼時にFAX番号をお知らせいただければ、修理金額をFAXにて連絡させていただきます。）

修理品の依頼

本製品の修理をご依頼される場合は、以下を行ってください。

●メモに控え、お手元に置いてください

お送りいただく製品の製品名、お送りいただいた日時をメモに控え、お手元に置いてください。

●これらを用意してください

・必要事項を記入した本製品のハードウェア保証書（コピー不可）
　※ただし、保証期間が終了した場合は、必要ありません。
・下の内容を書いたもの
　返送先［住所/氏名/(あれば)FAX番号］, 日中にご連絡できるお電話番号,
　ご使用環境（機器構成、OSなど）, 故障状況（どうなったか）

●修理品を梱包してください

・上で用意した物を修理品と一緒に梱包してください。
・輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材にて梱包してください。
　※ご購入時の箱・梱包材がない場合は、厳重に梱包してください。

●修理をご依頼ください

・修理は下の送付先までお送りくださいますようお願いいたします。
　※ 原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様ご負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。
・送付の際は、紛失等を避けるため、宅配便か書留郵便小包でお送りください。

送付先　〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器　修理係　宛

修理品の返送

・修理品到着後、通常約１週間ほどで弊社より返送できます。
　※ただし、有償の場合や、修理内容によっては、時間がかかる場合があります。
・修理品の返送日については以下の窓口にお問い合わせください。

●サービス窓口

お問い合わせの際は、ご依頼の際にメモに控えた内容をお伝えください。

電話番号　076-260-3663
受付時間　9:30～12:00　13:00～17:00
月～金曜日（祝祭日を除く）

お問い合わせ時にお知らせいただく事項

1. お客様の住所・氏名・郵便番号・連絡先の電話番号およびFAX番号

氏名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

住所：〒＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

電話：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

FAX ：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

2. ご使用の弊社製品名とハードウェアシリアルNo.

製品名：ET-FPS1L

S/N No. ：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

3. ご使用の本体のメーカー名および型番

メーカー：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

型番：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

4. ご使用のプリンタのメーカー名および型番

メーカー：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

型番：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

5. ご使用のOSとアプリケーションの名称、バージョンおよびメーカー名

OS：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿バージョン：＿＿＿＿＿＿＿＿

アプリケーション：＿＿＿＿＿＿＿＿バージョン：＿＿＿＿＿＿＿＿

6. [TEST]スイッチによるテスト印刷が可能ですか？

☐ 印刷可能　☐ 印刷不可能

7. プリンタのプロパティによるテスト印刷が可能ですか？

☐ 印刷可能　☐ 印刷不可能　☐ 試せない(Macintoshのみ)

8. 設定画面が表示可能ですか？

☐ 表示可能　☐ 表示不可能

9. 他のパソコンで印刷可能ですか？

☐ 印刷可能　☐ 印刷不可能

10. 他のOS上から印刷可能ですか？

☐ 印刷可能　☐ 印刷不可能　☐ 試せない

11. 他のアプリケーションから印刷可能ですか？

☐ 印刷可能　☐ 印刷不可能

12. その他、現在の状態(どのようなときに、どうなり、今はどうなっているか。画面の状態やエラーメッセージに内容)

ET-FPS1L取扱説明書
2002.Mar.06　109823-01
発 行　株式会社アイ・オー・データ機器
〒920-8512 石川県金沢市桜田町３丁目１０番地

© 2002 I-O DATA DEVICE,INC. All rights reserved.
本製品及び本書は著作権法により保護されておりますので
無断で複写、複製、転載、改変することは禁じられています。